

付録 3

令和元(2019年度)気象情報に関する 利活用状況調査

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、一般における気象情報の利活用状況を把握し、今後の気象業務の改善に資することを目的とする。

2. 調査概要

1) 調査対象

全国に居住する 20 才～79 才の男女

2) 調査方法

インターネット上の WEB 画面に用意した質問に回答する方式(WEB 調査)

3) 有効回収数

配付：2,000／有効回収：2,000 サンプル（回収率：100%）

性別、年齢、居住地の分布は、平成 27 年国勢調査 人口等基本集計の人口分布に基づき、割付。回収数は次の通りである。

I. 調査概要

回収数	男性					女性					計
	20代	30代	40代	50代	60-70代	20代	30代	40代	50代	60-70代	
北海道	5	7	8	7	15	5	7	8	8	18	88
青森県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
岩手県	1	2	2	2	4	1	1	2	2	4	21
宮城県	3	3	3	3	6	2	3	3	3	6	35
秋田県	1	1	1	1	3	1	1	1	2	4	16
山形県	1	1	1	2	3	1	1	1	2	3	16
福島県	2	2	3	3	5	2	2	2	3	6	30
茨城県	3	4	5	4	8	3	4	4	4	9	48
栃木県	2	3	3	3	5	2	2	3	3	6	32
群馬県	2	2	3	3	5	2	2	3	3	6	31
埼玉県	8	10	13	10	19	8	9	12	9	21	119
千葉県	7	8	10	8	17	6	8	10	8	18	100
東京都	16	21	24	18	29	16	20	23	16	32	215
神奈川県	10	13	16	12	22	10	12	15	11	24	145
新潟県	2	3	3	3	7	2	3	3	3	7	36
富山県	1	1	2	1	3	1	1	2	1	3	16
石川県	1	1	2	1	3	1	1	2	1	3	16
福井県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
山梨県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
長野県	2	3	3	3	6	2	2	3	3	6	33
岐阜県	2	2	3	3	6	2	2	3	3	6	32
静岡県	4	5	6	5	10	3	4	5	5	11	58
愛知県	9	11	13	9	18	8	10	12	9	19	118
三重県	2	2	3	2	5	2	2	3	2	5	28
滋賀県	2	2	2	2	3	1	2	2	2	4	22
京都府	3	3	4	3	7	3	3	4	3	8	41
大阪府	9	11	14	11	22	9	11	15	11	25	138
兵庫県	5	7	8	7	14	5	7	9	7	16	85
奈良県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
和歌山県	1	1	1	1	3	1	1	1	1	3	14
鳥取県	1	1	1	1	2	0	1	1	1	2	11
島根県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
岡山県	2	2	3	2	5	2	2	3	2	6	29
広島県	3	4	4	4	7	3	4	4	4	8	45
山口県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	5	23
徳島県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
香川県	1	1	1	1	3	1	1	1	1	3	14
愛媛県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
高知県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
福岡県	5	7	7	6	13	5	7	8	7	15	80
佐賀県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
長崎県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
熊本県	2	2	2	2	5	2	2	2	3	5	27
大分県	1	1	2	1	3	1	1	2	2	4	18
宮崎県	1	1	1	1	3	1	1	1	2	3	15
鹿児島県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	5	23
沖縄県	2	2	2	2	3	2	2	2	2	3	22
合計	134	168	197	165	328	128	160	193	167	360	2,000

◆地方予報区に該当する都道府県

地方予報区	都道府県
北海道地方	北海道
東北地方	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
関東甲信地方	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 山梨県 長野県
東海地方	岐阜県 静岡県 愛知県 三重県
北陸地方	新潟県 富山県 石川県 福井県
近畿地方	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
中国地方	鳥取県 島根県 岡山県 広島県
四国地方	徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州北部地方	山口県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県
九州南部・奄美地方	宮崎県 鹿児島県
沖縄地方	沖縄県

4) 実施期間

2019年12月19日(木)～2019年12月24日(火)

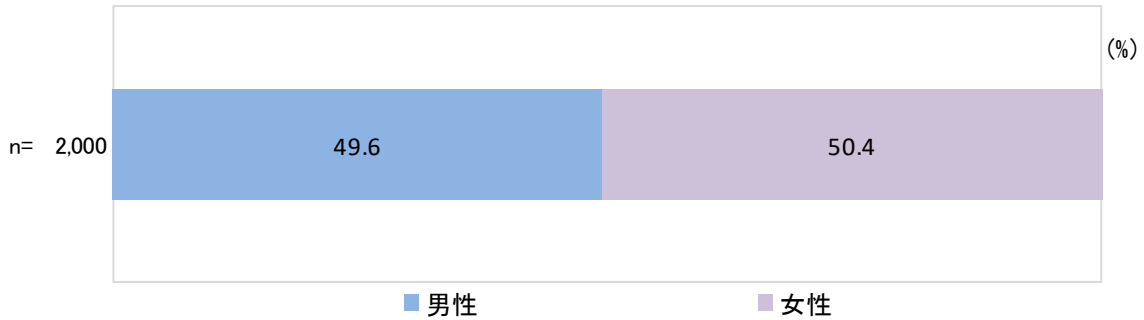
3. 集計・分析の記述について

- 図表中のnは回答者の数（母数）であり、回答比率（%）算出の基数を表している。
- 回答比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表示している。このため、回答比率の合計が100%にならないことがある。
- 2つ以上の複数回答ができる設問では、回答比率の合計は原則として100%を超える。
- 調査数（n値）が30未満のものは、統計上、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

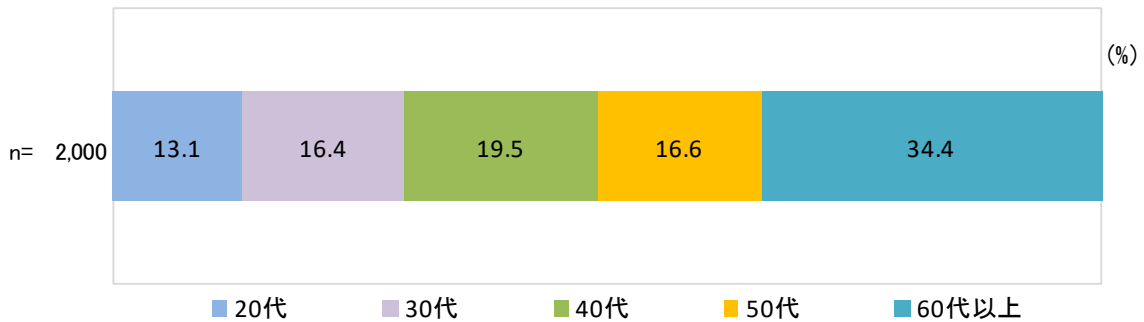
Ⅱ. アンケート調査結果

1. 対象者属性

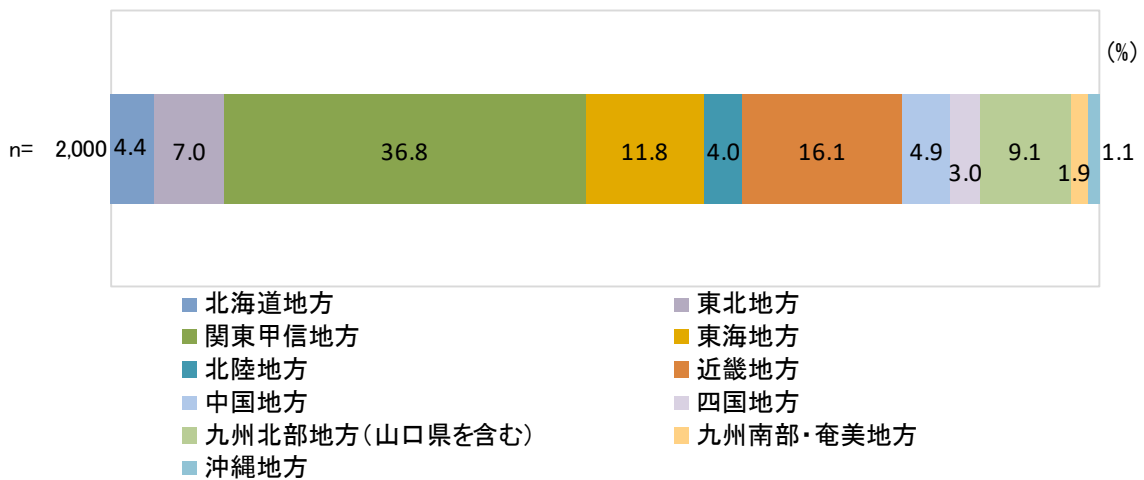
性



年代



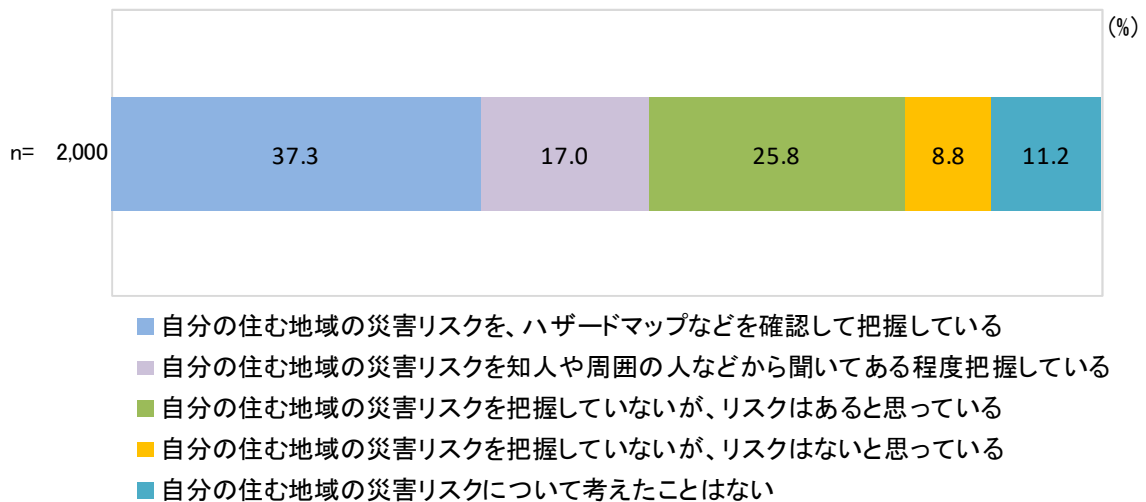
居住地



2. 防災についての意識等

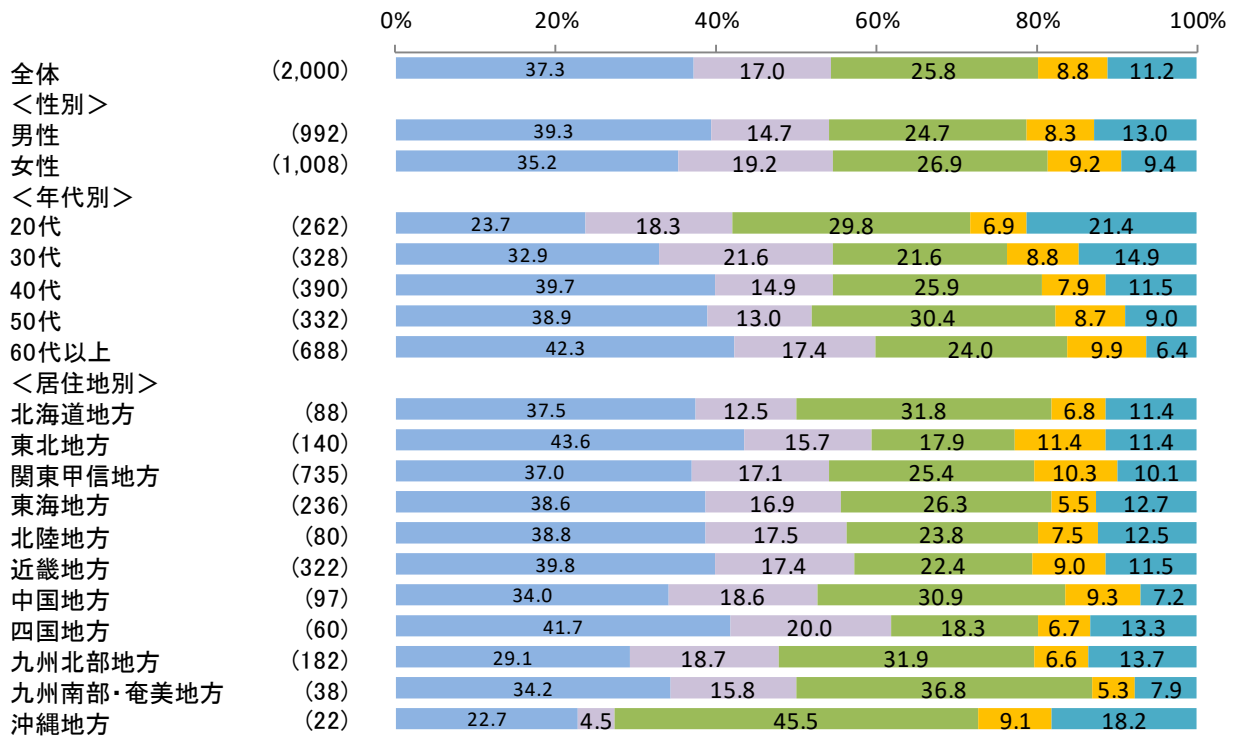
(1) 居住地の災害リスク把握

Q1. 大雨や台風などに伴い自分の住んでいる地域に災害リスクがあるかどうか知っていますか。あなたの状況に最も近いものを1つ選んでください。



居住地の災害リスク把握について、「自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している」が4割弱、「自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している」が2割弱となり、合わせた居住地の災害リスクを何らかの手段で把握している方は5割台半ばとなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



- 自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している
- 自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している
- 自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている
- 自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている
- 自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない

※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

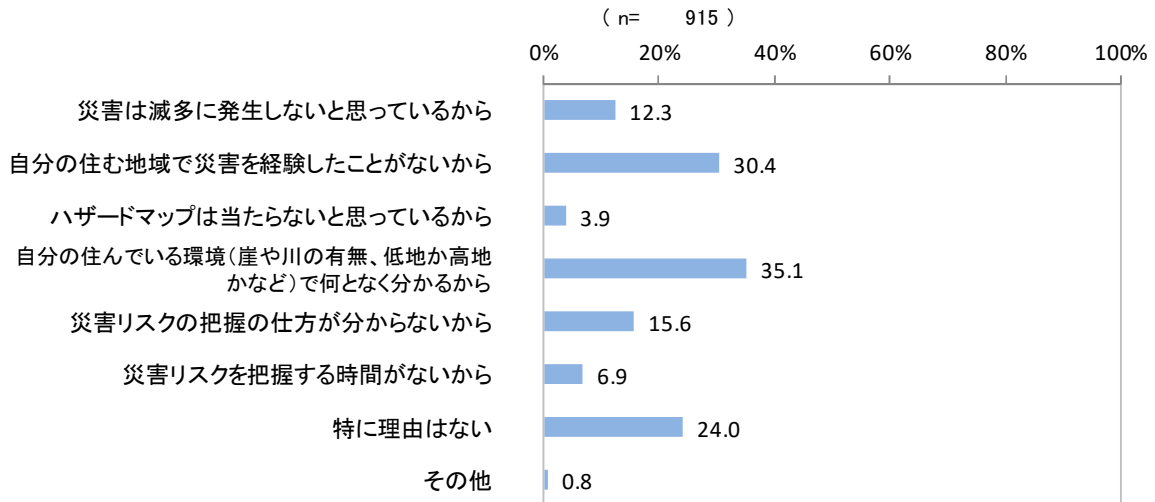
年代別にみると、おおむね高齢層ほど、「自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している」と「自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している」を合わせた居住地の災害リスクを何らかの手段で把握している方の割合が高くなっている。一方で、若年層ほど「考えたことがない」の割合が高くなっている。

居住地別にみると、東北地方、四国地方では、「自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している」と「自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している」を合わせた居住地の災害リスクを何らかの手段で把握している方が他居住地と比べ、高くなっている。

(2) 居住地の災害リスクを把握していない理由

Q2. あなたが自分の住む地域の災害リスクを把握していない・災害リスクについて考えたことはない理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

n=915 ベース：居住地の災害リスク把握で、把握していない・考えたことはないと回答した人



居住地の災害リスクを把握していない理由について、「自分の住んでいる環境（崖や川の有無、低地か高地かなど）で何となく分かるから」が3割台半ば、次いで、「自分の住む地域で災害を経験したことがないから」が約3割となっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	災害は減多に発生しないと	自分の住む地域で災害を経験したことがないから	自分の住んでいる環境（崖や川の有無、低地か高地かなど）で何となく分かるから	ハザードマップは当たらないと	自分の住んでいる環境（崖や川の有無、低地か高地かなど）で何となく分かるから	災害リスクの把握の仕方が	災害リスクを把握する時間	特に理由はない	その他
全体		915	12.3	30.4	3.9	35.1	15.6	6.9	24.0	0.8	
性別	男性	456	14.5	28.7	5.0	36.2	11.4	7.9	26.3	0.4	
	女性	459	10.2	32.0	2.8	34.0	19.8	5.9	21.8	1.1	
年代別	20代	152	11.2	30.9	3.9	24.3	20.4	13.8	28.9	0.7	
	30代	149	14.1	30.2	6.0	27.5	18.8	10.1	28.9	0.0	
	40代	177	11.3	33.3	2.3	30.5	14.7	8.5	23.7	0.6	
	50代	160	15.0	31.3	3.8	36.9	14.4	4.4	23.1	1.9	
	60代以上	277	11.2	27.8	4.0	46.9	12.6	1.8	19.5	0.7	
	居住地別	北海道地方	44	13.6	20.5	6.8	38.6	20.5	4.5	27.3	0.0
東北地方		57	14.0	14.0	5.3	22.8	17.5	5.3	33.3	1.8	
関東甲信地方		337	12.2	33.2	3.9	37.1	13.6	8.0	22.3	0.3	
東海地方		105	11.4	35.2	6.7	36.2	12.4	4.8	21.0	1.9	
北陸地方		35	11.4	31.4	5.7	37.1	11.4	8.6	25.7	2.9	
近畿地方		138	13.0	21.7	2.2	36.2	19.6	8.7	28.3	0.0	
中国地方		46	10.9	45.7	2.2	47.8	13.0	0.0	19.6	0.0	
四国地方		23	8.7	34.8	0.0	17.4	21.7	17.4	30.4	4.3	
九州北部地方		95	14.7	29.5	3.2	32.6	15.8	4.2	22.1	0.0	
九州南部・奄美地方		19	0.0	31.6	0.0	26.3	21.1	5.3	26.3	5.3	
沖縄地方		16	18.8	50.0	6.3	18.8	25.0	12.5	12.5	0.0	

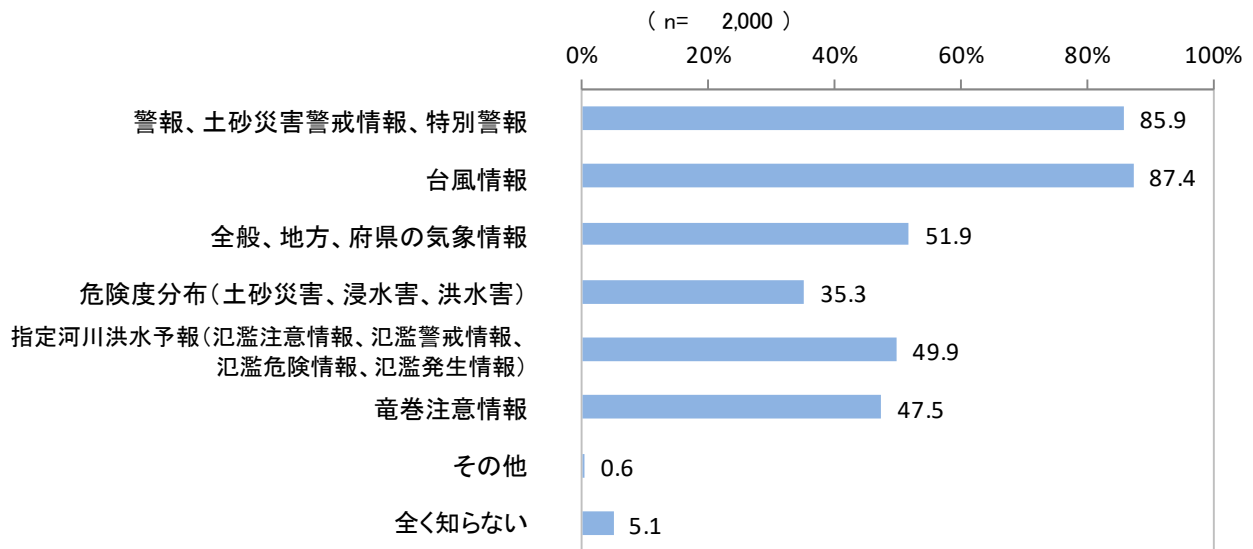
性別にみても、傾向に変化は見られない。

年代別にみると、高齢層ほど、「自分の住んでいる環境（崖や川の有無、低地か高地かなど）で何となく分かるから」の割合が高くなっている。

居住地別にみると、中国地方では、「自分の住む地域で災害を経験したことがないから」および「自分の住んでいる環境（崖や川の有無、低地か高地かなど）で何となく分かるから」がいずれも4割以上と、他居住地と比べ高くなっている。また、北海道地方、東北地方、近畿地方では、「自分の住む地域で災害を経験したことがないから」が他居住地と比べ、低くなっている。

(3) 防災気象情報の認知度

Q3. あなたは、大雨や台風による災害から身を守るために気象庁から発表される防災気象情報を知っていますか。あてはまるものを全て選んでください。



防災気象情報の認知度について、何らかの防災気象情報を認知する方は9割以上となっており、「台風情報」、「警報、土砂災害警戒情報、特別警報」が8割以上と最も高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	特別警報、土砂災害警戒情報、	台風情報	報全般、地方、府県の気象情報	危険度分布（土砂災害、浸水、洪水）	危険情報、氾濫警戒情報、氾濫発生情報	指定河川洪水予報（氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報）	竜巻注意情報	その他	全く知らない
全体		2000	85.9	87.4	51.9	35.3	49.9	47.5	0.6	5.1	
性別	男性	992	84.0	87.4	53.1	35.2	48.4	43.3	1.0	4.7	
	女性	1008	87.7	87.3	50.7	35.3	51.4	51.6	0.2	5.5	
年代別	20代	262	77.9	78.2	42.7	33.2	44.3	40.8	0.8	9.2	
	30代	328	88.1	83.8	45.7	32.9	48.2	42.4	0.6	7.3	
	40代	390	85.9	86.4	46.7	36.4	54.6	48.2	0.5	6.7	
	50代	332	86.4	88.9	54.2	35.5	50.9	47.6	0.9	3.6	
	60代以上	688	87.5	92.3	60.2	36.3	49.7	52.0	0.4	2.3	
	居住地別	北海道地方	88	86.4	84.1	54.5	31.8	44.3	51.1	1.1	8.0
東北地方		140	89.3	87.1	59.3	37.1	54.3	45.0	0.0	1.4	
関東甲信地方		735	85.3	87.5	47.9	35.5	50.7	46.8	0.5	5.3	
東海地方		236	85.6	87.7	53.0	35.2	50.8	51.3	0.4	5.5	
北陸地方		80	86.3	90.0	60.0	37.5	62.5	55.0	0.0	5.0	
近畿地方		322	88.8	88.8	55.0	34.2	48.1	51.9	0.6	3.4	
中国地方		97	85.6	84.5	44.3	30.9	41.2	34.0	1.0	5.2	
四国地方		60	88.3	91.7	61.7	45.0	56.7	35.0	1.7	3.3	
九州北部地方		182	80.2	83.5	50.0	33.5	46.7	45.1	1.1	8.8	
九州南部・奄美地方		38	84.2	86.8	65.8	42.1	47.4	55.3	0.0	5.3	
沖縄地方		22	81.8	95.5	40.9	31.8	36.4	40.9	0.0	4.5	

性別にみると、女性では、「竜巻注意情報」が男性に比べ、5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、高齢層ほど、「台風情報」、「全般、地方、府県の気象情報」を認知する割合が高くなっている。

居住地別にみると、北陸地方では、「指定河川洪水予報（氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報）」が6割強と、他居住地と比べ、高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	警報、土砂災害警戒情報、特別	台風情報	全般、地方、府県の気象情報	危険度分布（土砂災害、浸水害、洪水害）	報、氾濫発生情報	報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報	指定河川洪水予報（氾濫注意情報）	竜巻注意情報	その他	全く知らない
全体	2000	85.9	87.4	51.9	35.3	49.9	47.5	0.6	5.1		
Q1・災害リスク把握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	745	93.3	93.8	62.4	50.1	65.8	56.8	0.9	0.8	
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	340	90.3	90.6	52.9	33.5	49.7	46.5	0.6	1.2	
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	516	86.4	88.8	49.2	29.7	44.2	47.1	0.4	3.5	
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	175	82.9	88.0	49.7	22.9	37.7	42.3	0.0	2.3	
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	224	55.4	57.1	23.2	11.2	20.1	23.2	0.4	31.3	

居住地の災害リスク把握別にみると、いずれの情報においても災害リスク把握の度合いが高まるほど、防災気象情報の認知度が高くなっている。また、「自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない」では「全く知らない」が3割以上と、他災害リスク把握と比べ高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

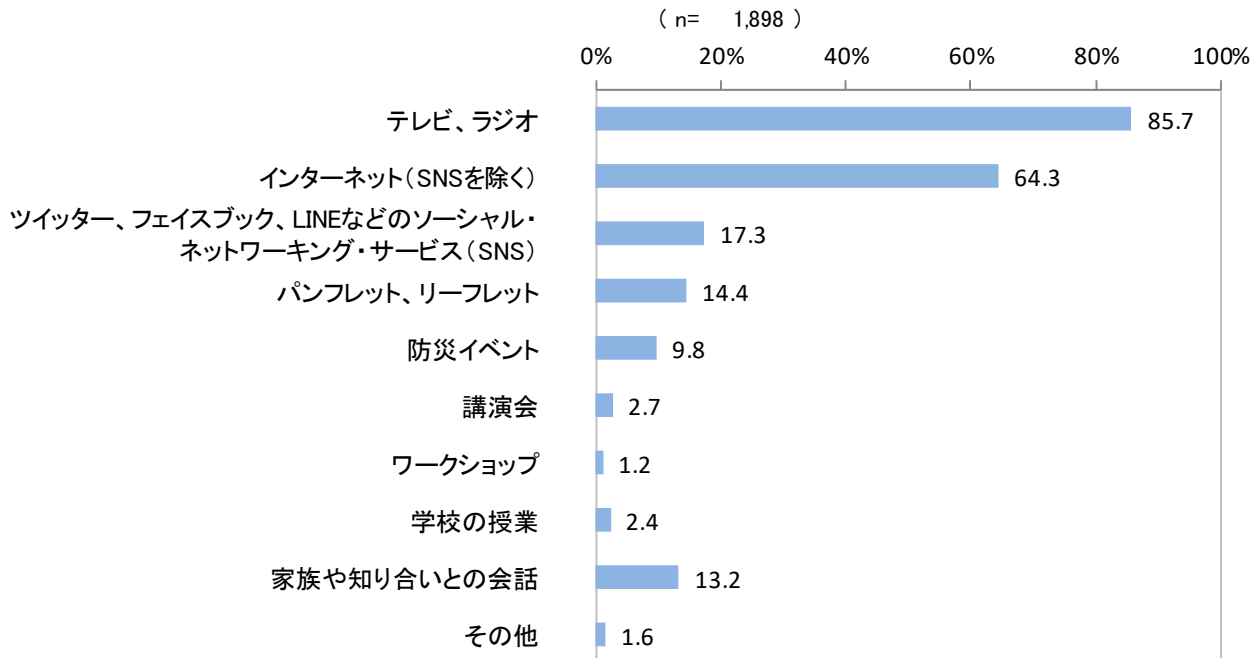
		n	情報 を 1 つ 知 っ て い る	情報 を 2 つ 知 っ て い る	情報 を 3 つ 知 っ て い る	情報 を 4 つ 知 っ て い る	情報 を 5 つ 知 っ て い る	情報 を 6 つ 知 っ て い る	情報 を 7 つ 知 っ て い る	全 く 知 ら な い
全体		2000	8.6	15.9	19.7	15.9	14.1	20.4	0.4	5.1
Q 1 ・ 災 害 リ ス ク 把 握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	745	5.4	11.5	17.2	15.0	18.1	31.3	0.7	0.8
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	340	7.6	18.2	21.2	19.7	15.0	16.8	0.3	1.2
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	516	8.7	17.8	24.0	17.1	12.4	16.3	0.2	3.5
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	175	12.0	21.1	23.4	17.7	12.6	10.9	0.0	2.3
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	224	17.9	18.3	12.5	8.9	4.5	6.3	0.4	31.3

防災気象情報の回答個数について居住地の災害リスク把握別にみると、「自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している」では、「情報を6つ知っている」が3割以上と、他災害リスク把握と比べ高くなっている。一方、「自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない」では、「全く知らない」が3割以上と、他災害リスク把握と比べ高くなっている。

(4) 防災気象情報の認知機会

Q4. あなたは、そのような防災気象情報があることをどのような機会を通じて知りましたか。あてはまるものを全て選んでください。

n=1,898 ベース：防災気象情報の認知度で、何らかの防災気象情報を認知していると回答した人



防災気象情報の認知経路について、「テレビ、ラジオ」が8割台半ばと最も高くなっており、次いで「インターネット（SNSを除く）」が6割台半ばとなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	テレビ、ラジオ	インターネット（SNSを除く）	LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）	ツイッター、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネット	パンフレット、リーフレット	防災イベント	講演会	ワークショップ	学校の授業	家族や知り合いとの会話	その他
全体	1898	85.7	64.3	17.3	14.4	9.8	2.7	1.2	2.4	13.2	1.6	
性別												
男性	945	83.1	69.0	16.2	11.9	11.5	3.2	1.4	1.5	7.9	1.9	
女性	953	88.2	59.7	18.4	17.0	8.1	2.3	0.9	3.3	18.5	1.3	
年代別												
20代	238	80.3	62.2	43.3	11.3	5.9	2.1	1.7	7.1	13.4	0.4	
30代	304	83.2	70.1	29.3	16.4	10.5	2.0	1.3	3.3	17.1	1.6	
40代	364	83.2	66.5	16.2	12.1	6.3	1.4	1.1	2.7	10.2	1.4	
50代	320	83.8	64.1	10.6	12.5	9.1	2.5	1.6	1.6	11.9	1.6	
60代以上	672	90.9	61.5	6.4	16.8	13.1	4.2	0.7	0.4	13.7	2.1	
居住地別												
北海道地方	81	92.6	58.0	19.8	18.5	3.7	1.2	1.2	0.0	13.6	0.0	
東北地方	138	85.5	60.1	18.1	15.9	11.6	5.1	2.2	2.9	12.3	2.9	
関東甲信地方	696	85.3	66.8	19.7	10.5	7.0	1.4	1.1	2.0	14.4	1.4	
東海地方	223	86.5	65.5	16.6	16.1	16.6	3.6	0.0	2.2	13.0	0.9	
北陸地方	76	84.2	57.9	15.8	19.7	13.2	5.3	1.3	1.3	18.4	1.3	
近畿地方	311	86.2	66.2	17.4	17.7	10.6	2.9	1.3	3.9	12.5	1.9	
中国地方	92	88.0	67.4	12.0	10.9	7.6	4.3	0.0	1.1	8.7	2.2	
四国地方	58	86.2	53.4	13.8	29.3	15.5	5.2	3.4	1.7	17.2	1.7	
九州北部地方	166	81.9	63.3	12.7	14.5	9.0	2.4	0.6	3.0	10.2	1.2	
九州南部・奄美地方	36	83.3	52.8	13.9	13.9	11.1	2.8	5.6	5.6	11.1	5.6	
沖縄地方	21	81.0	61.9	9.5	9.5	14.3	4.8	0.0	0.0	9.5	0.0	

性別にみると、女性では「家族や知り合いとの会話」が2割弱と、男性と比べ10ポイント以上高くなっている。

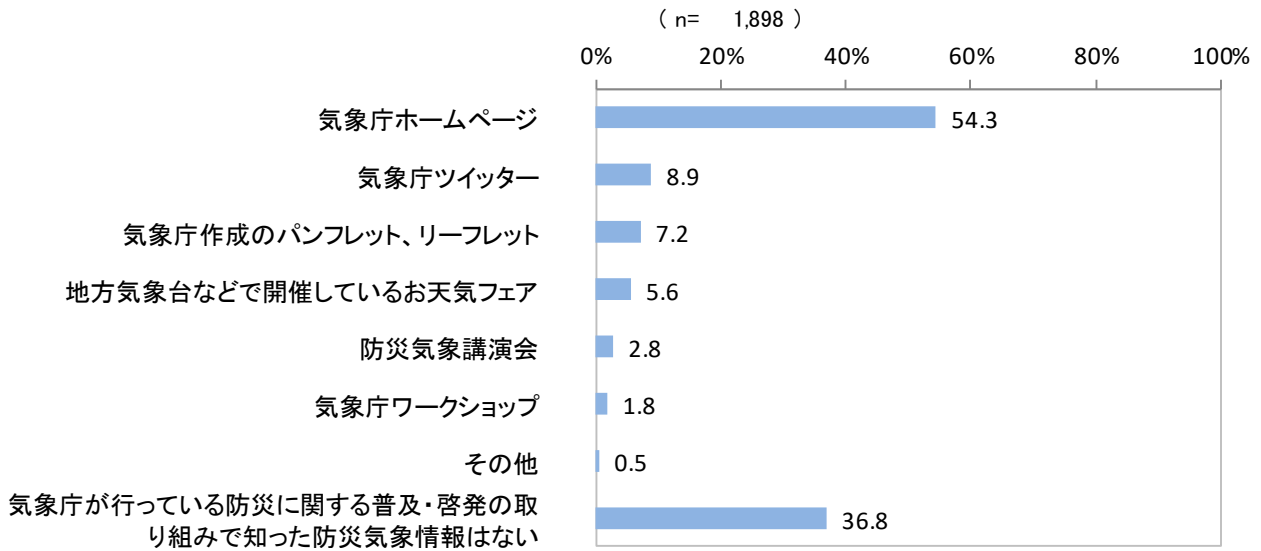
年代別にみると、高齢層ほど、「テレビ、ラジオ」が高くなっている。また、「ツイッター、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」は若年層ほどその割合が高くなっている。

居住地別にみると、北海道地方では「テレビ、ラジオ」が9割強と、他居住地と比べ、高くなっている。

(5) 防災気象情報の認知機会（気象庁による広報・普及の取組）

Q5. あなたが前質問で回答した機会の中で、気象庁が行っている防災に関する広報・普及に関する取り組みはありますか。あてはまるものを全て選んでください。

n=1,898 ベース：防災気象情報の認知度で、何らかの防災気象情報を認知していると回答した人



防災気象情報の認知した機会として、気象庁による広報・普及の取組によるものでは、「気象庁ホームページ」が5割台半ばと最も高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	気象庁ホームページ	気象庁ツイッター	気象庁作成のパンフレット、リーフレット	地方気象台などで開催しているお天気フェア	防災気象講演会	気象庁ワークショップ	その他	気象庁が行っている防災に関する普及・啓発の取り組みで知った防災気象情報はない
全体		1898	54.3	8.9	7.2	5.6	2.8	1.8	0.5	36.8
性別	男性	945	59.2	9.0	8.4	6.3	3.7	2.3	0.5	31.9
	女性	953	49.5	8.7	6.0	4.8	1.9	1.4	0.5	41.7
年代別	20代	238	44.5	22.7	7.6	3.4	4.2	3.8	0.0	38.7
	30代	304	55.3	16.1	10.9	3.0	1.3	3.0	0.0	33.9
	40代	364	57.7	7.4	4.1	3.6	1.9	1.1	0.3	36.8
	50代	320	55.0	6.9	5.3	4.1	3.1	2.2	0.3	39.4
	60代以上	672	55.2	2.4	7.9	9.4	3.3	0.9	1.2	36.2
居住地別	北海道地方	81	51.9	8.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	43.2
	東北地方	138	56.5	7.2	8.7	5.8	2.9	2.2	0.0	38.4
	関東甲信地方	696	52.7	10.8	6.9	5.6	2.3	1.4	0.4	37.1
	東海地方	223	58.7	9.9	7.6	6.3	3.1	2.2	0.4	32.3
	北陸地方	76	52.6	10.5	9.2	9.2	3.9	1.3	1.3	40.8
	近畿地方	311	52.7	9.0	6.8	3.5	2.9	1.3	0.3	38.6
	中国地方	92	46.7	5.4	7.6	6.5	3.3	1.1	0.0	41.3
	四国地方	58	53.4	3.4	8.6	10.3	8.6	8.6	3.4	32.8
	九州北部地方	166	58.4	6.0	4.8	7.2	3.0	2.4	1.2	33.7
	九州南部・奄美地方	36	69.4	2.8	5.6	2.8	2.8	0.0	0.0	25.0
沖縄地方	21	61.9	0.0	0.0	9.5	0.0	9.5	0.0	33.3	

性別にみると、男性では「気象庁ホームページ」が6割弱と、女性と比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、「気象庁ツイッター」が若年層ほど高くなっており、20代では2割強と、他年代と比べ高くなっている。

地方予報区別にみると、九州南部・奄美地方では、「気象庁ホームページ」が7割弱と、他居住地と比べ、高くなっている一方、「気象庁が行っている防災に関する普及・啓発の取り組みで知った防災気象情報はない」が2割台半ばと、他居住地と比べ、低くなっている。

II. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

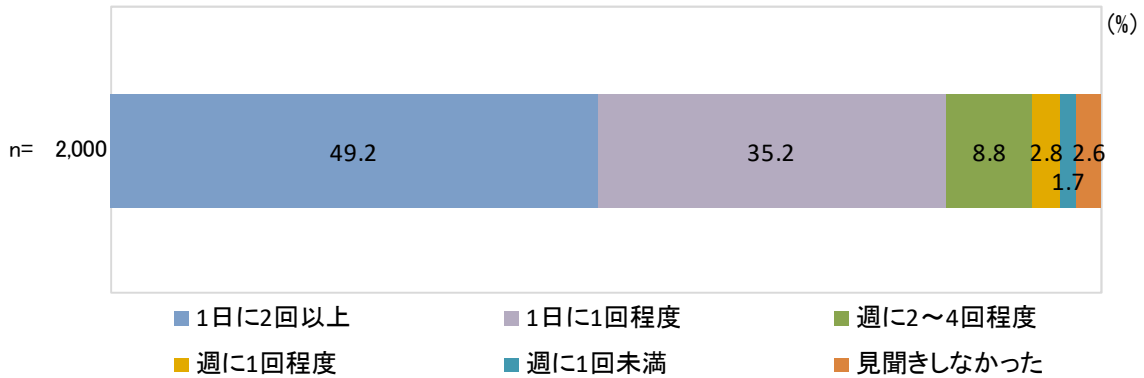
	n	気象庁ホームページ	気象庁ツイッター	気象庁作成のパンフレット、リーフレット	お天気フエア	地方気象台などで開催している	防災気象講演会	気象庁ワークショップ	その他	気象庁が行っている防災に関する取り組みで知らない
全体	1898	54.3	8.9	7.2	5.6	2.8	1.8	0.5	36.8	
Q1・災害リスク把握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	739	65.4	9.6	9.9	7.0	3.8	1.9	0.7	26.8
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	336	51.2	9.5	8.6	5.4	3.9	2.7	0.0	39.0
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	498	49.6	9.4	3.8	4.4	1.4	1.2	0.4	41.2
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	171	37.4	4.7	4.1	5.8	1.2	1.2	1.2	53.2
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	154	42.2	6.5	5.2	2.6	1.9	2.6	0.6	47.4

居住地の災害リスク把握別にみると、居住地の災害リスク把握度合いが高まるほど、「気象庁ホームページ」の割合が高くなっている。一方、リスク把握度合いが低いほど、「気象庁が行っている防災に関する普及・啓発の取り組みで知った防災気象情報はない」の割合が高くなっている。

3. 天気予報

(1) 天気予報の見聞きの頻度

Q6. あなたは、過去1年間に「天気予報」をどの程度見聞きしましたか。
あてはまるものを1つ選んでください。

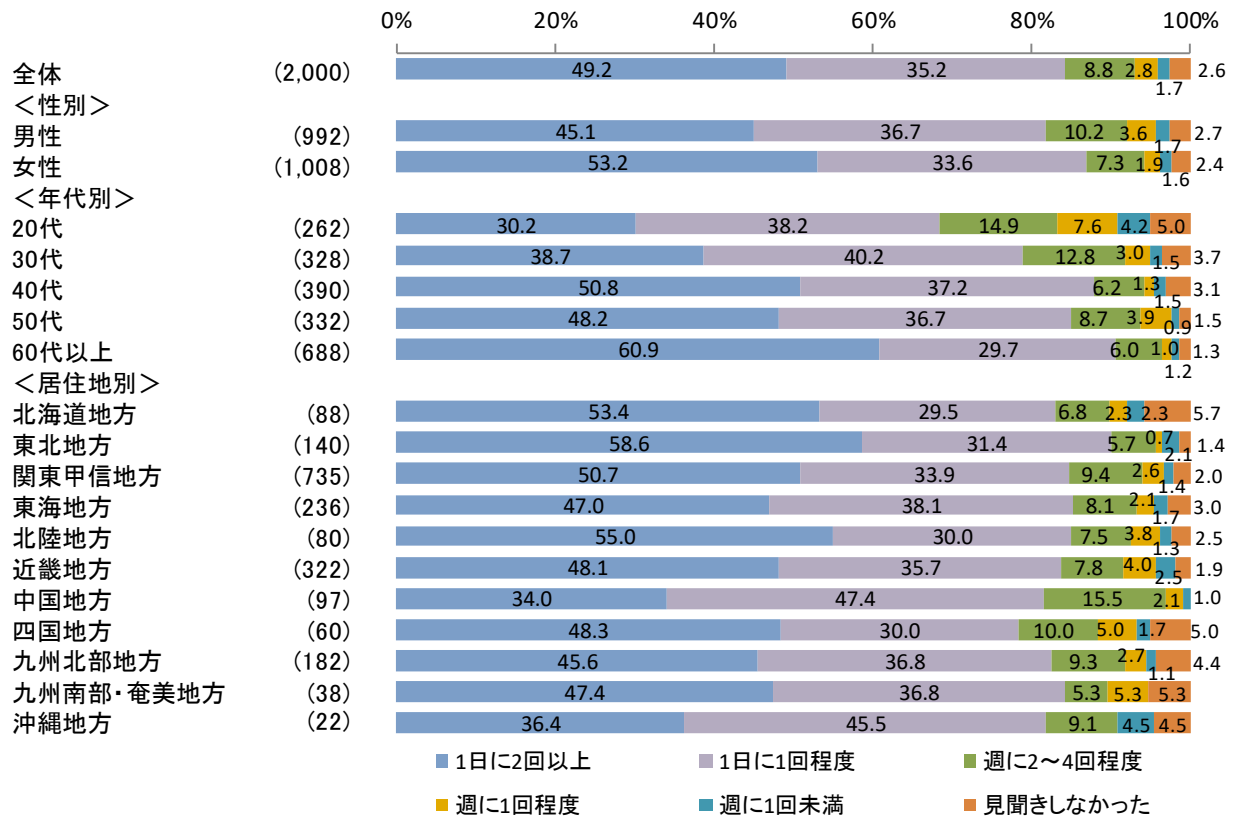


天気予報の見聞きの頻度について、「1日に2回以上」が5割弱、「1日に1回程度」が3割台半ばとなり、合わせた1日に1回程度以上、天気予報を入手している方は8割台半ばとなっている。

		(%)					
	n	1日に2回以上	1日に1回程度	週に2~4回程度	週に1回程度	週に1回未満	見聞きしなかった
R1	2000	49.2	35.2	8.8	2.8	1.7	2.6
H29	2000	48.5	36.9	9.0	2.2	1.0	2.6

今年度の単純集計結果と過年度結果（平成29年度）を比較しても、傾向に変化は見られない。

II. アンケート調査結果



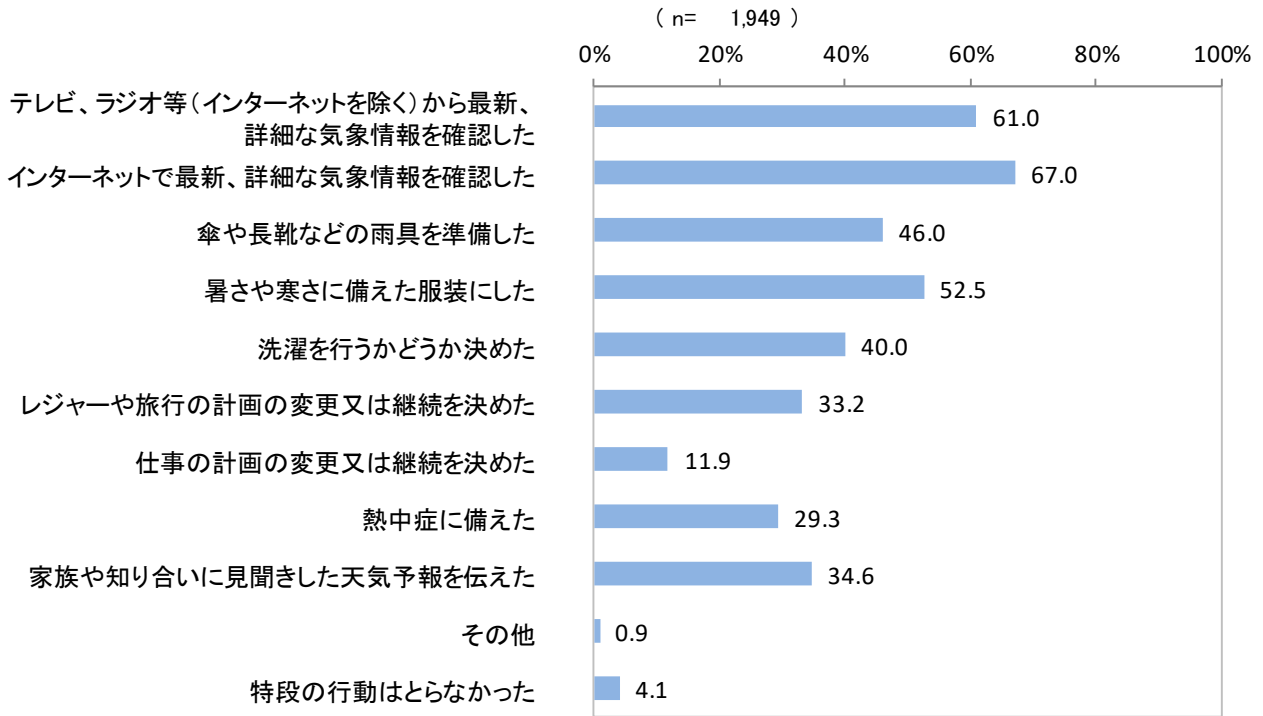
※ベースがn=29以下は参考値

性別にみると、女性では「1日に2回以上」が5割台半ばと、男性と比べ5ポイント以上高くなっている。
 年代別にみると、60代以上では「1日に2回以上」が約6割と、他年代と比べ高くなっている。
 居住地別にみると、東北地方では「1日に2回以上」が6割弱と、他居住地と比べ高くなっている。

(2) 天気予報の見聞き時の行動

Q7. あなたは、過去1年間に天気予報を見聞きした後にどのような行動をとりましたか。あてはまるものを全て選んでください。

n=1,949 ベース：天気予報を見聞きしたと回答した人



天気予報の見聞き時の行動について、「インターネットで最新、詳細な気象情報を確認した」が7割弱、次いで「テレビ、ラジオ等(インターネットを除く)から最新、詳細な気象情報を確認した」が6割強となっている。

		* 緑は全体+10ポイント以上、黄は+5ポイント以上、青は-10ポイント以下、赤は-5ポイント以下											(%)	
	n	細 な 気 象 情 報 を 確 認 し た (R1のみ)	テ レ ビ 、 ラ ジ オ 等 か ら 最 新 、 詳 細 な 気 象 情 報 を 確 認 し た	イ ン タ ー ネ ッ ト で 最 新 、 詳 細 な 気 象 情 報 を 確 認 し た	テ レ ビ 、 ラ ジ オ 等 か ら 最 新 、 詳 細 な 気 象 情 報 を 確 認 し た	傘 や 長 靴 な ど の 雨 具 を 準 備 し た	暑 さ や 寒 さ に 備 え た 服 装 に し た	洗 濯 を 行 う か ど う か 決 め た	レ ジャー や 旅 行 の 計 画 の 変 更 又 は 継 続 を 決 め た	仕 事 の 計 画 の 変 更 又 は 継 続 を 決 め た	熱 中 症 に 備 え た	家 族 や 知 り 合 い に 見 聞 き し た 天 気 予 報 を 伝 え た	そ の 他	特 段 の 行 動 は と ら な か つ た
R1	1949	61.0	67.0	67.0	46.0	52.5	40.0	33.2	11.9	29.3	34.6	0.9	4.1	
H29	1948			73.2	49.9	56.0	37.9	28.5	9.8	17.9	31.1	0.6	4.1	

※R1、H29のN数はともに天気予報を見聞きしたと回答した人

今年度の単純集計結果と過年度結果(平成29年度)と比較すると、今年度では「熱中症に備えた」が3割弱と、過年度に比べ10ポイント以上高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	細 な 気 象 情 報 を 確 認 し た	テ レ ビ 、 ラ ジ オ 等 （ イ ン タ ー ネ ッ ト を 除 く ） か ら 最 新 、 詳 細	イ ン タ ー ネ ッ ト で 最 新 、 詳 細	傘 や 長 靴 な ど の 雨 具 を 準 備 し	暑 さ や 寒 さ に 備 え た 服 装 に し	洗 濯 を 行 う か ど う か 決 め た	レ ジ ヤ ー や 旅 行 の 計 画 の 変 更 又 は 継 続 を 決 め た	決 め た 仕 事 の 計 画 の 変 更 又 は 継 続 を	熱 中 症 に 備 え た	天 気 予 報 を 伝 え た 家 族 や 知 り 合 い に 見 聞 き し た	そ の 他	特 段 の 行 動 は と ら な か つ た
全体	1949	61.0	67.0	46.0	52.5	40.0	33.2	11.9	29.3	34.6	0.9	4.1	
性別													
男性	965	59.6	69.3	40.6	44.1	25.9	31.5	14.7	22.9	27.0	0.8	5.2	
女性	984	62.3	64.7	51.2	60.7	53.8	34.9	9.0	35.6	42.1	1.0	3.0	
年代別													
20代	249	46.2	60.6	46.6	52.2	37.8	35.3	12.9	24.1	24.9	0.8	7.6	
30代	316	53.5	69.3	51.3	57.0	49.1	39.9	13.3	32.9	38.3	0.3	3.8	
40代	378	61.9	72.0	50.3	54.2	40.5	32.3	12.4	28.8	37.6	1.6	3.4	
50代	327	60.6	68.8	45.3	51.7	40.4	27.2	11.0	28.1	40.1	0.3	4.3	
60代以上	679	69.5	64.7	41.2	49.9	36.1	32.7	10.9	30.3	32.3	1.2	3.2	
居住地別													
北海道地方	83	60.2	66.3	37.3	54.2	18.1	25.3	9.6	16.9	38.6	0.0	7.2	
東北地方	138	65.2	63.0	42.0	47.8	28.3	31.2	13.8	30.4	34.1	1.4	5.8	
関東甲信地方	720	63.2	66.5	50.3	56.4	45.1	34.7	11.9	29.6	34.9	1.3	3.9	
東海地方	229	63.8	68.1	47.6	55.0	42.8	40.2	11.8	31.4	32.3	0.9	4.4	
北陸地方	78	64.1	66.7	50.0	52.6	25.6	26.9	9.0	30.8	34.6	0.0	5.1	
近畿地方	316	57.3	69.0	44.9	48.7	38.6	31.0	10.8	30.4	38.6	0.6	3.2	
中国地方	97	54.6	66.0	40.2	50.5	36.1	33.0	12.4	24.7	26.8	0.0	4.1	
四国地方	57	56.1	68.4	43.9	42.1	47.4	36.8	24.6	26.3	33.3	0.0	3.5	
九州北部地方	174	62.6	70.1	36.8	48.3	40.8	29.3	10.3	30.5	33.3	1.1	3.4	
九州南部・奄美地方	36	36.1	55.6	47.2	47.2	50.0	27.8	8.3	36.1	33.3	0.0	2.8	
沖縄地方	21	42.9	66.7	47.6	52.4	42.9	38.1	14.3	23.8	33.3	4.8	4.8	

性別にみると、女性では「洗濯を行うかどうか決めた」が5割台半ばと、男性と比べ20ポイント以上高くなっている。

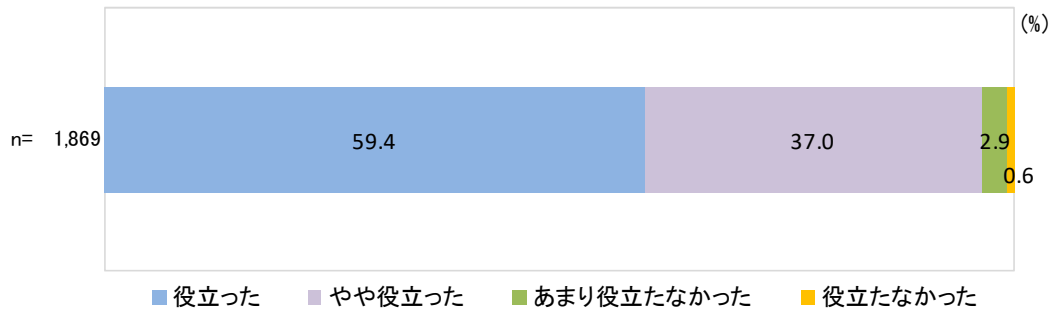
年代別にみると、60代では「テレビ、ラジオ等（インターネットを除く）から最新、詳細な気象情報を確認した」が7割弱と、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、四国地方では、「仕事の計画の変更又は継続を決めた」が2割台半ばと、他居住地と比べ高くなっている。また、九州南部・奄美地方では、「洗濯を行うかどうか決めた」が約5割と、他居住地と比べ高くなっている。

(3) 天気予報の役立ち度

Q8. あなたが過去 1 年間に天気予報を見聞きした後にとった行動の結果から、天気予報はどの程度役立ちましたか。あなたの考えにもっとも近いものを 1 つ選んでください。

n=1,869 ベース：天気予報の見聞き時の行動で、なんらかの行動をとったと回答した人



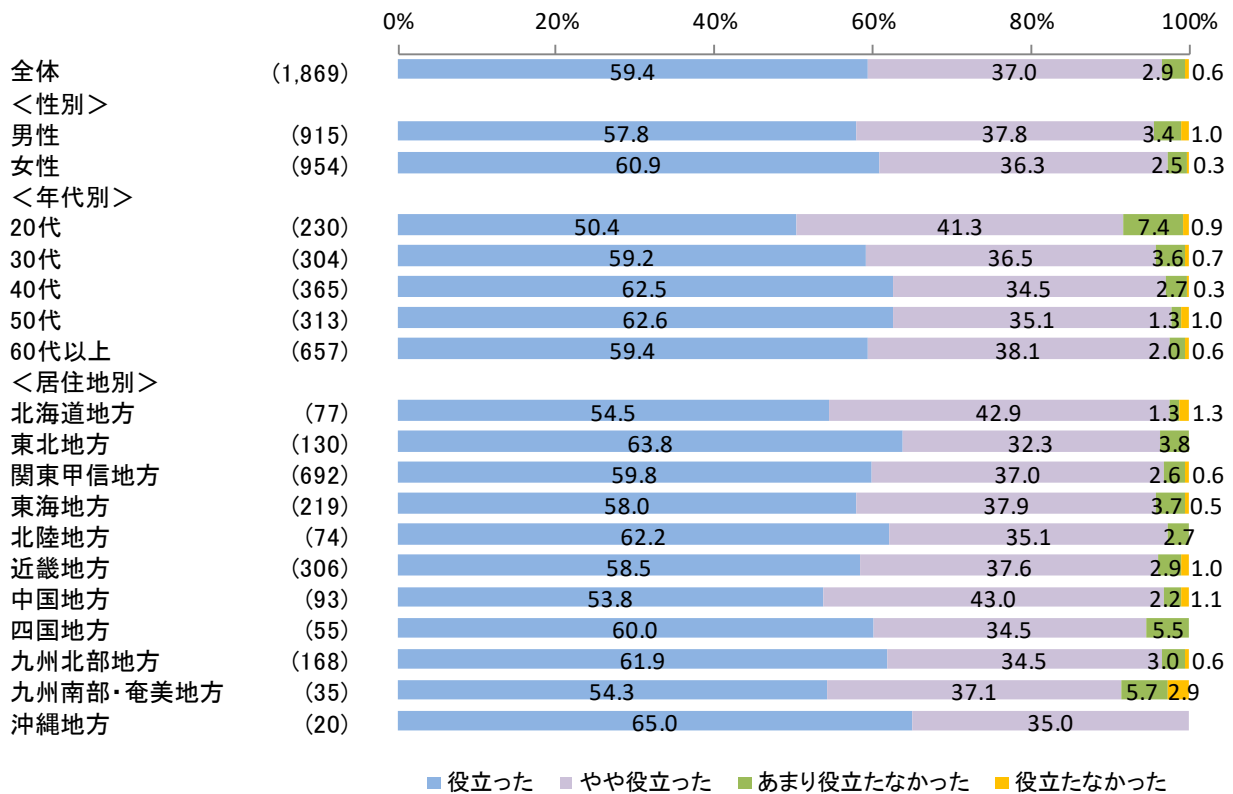
天気予報の役立ち度について、「役に立った」が 6 割弱、「やや役に立った」が 4 割弱となり、合わせた天気予報が役に立ったと感じている方は 9 割台半ばとなっている。

		(%)			
		役に 立 つ た	や や 役 立 つ た	か あ っ ま た り 役 立 た な か つ た	役 立 た な か つ た
n					
R1	1869	59.4	37.0	2.9	0.6
H29	1868	61.2	37.1	1.3	0.3

※R1、H29 の N 数は天気予報を見聞きして何らかの行動をとったと回答した人

今年度の単純集計結果と過年度結果（平成 29 年度）を比較しても、傾向に変化は見られない。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

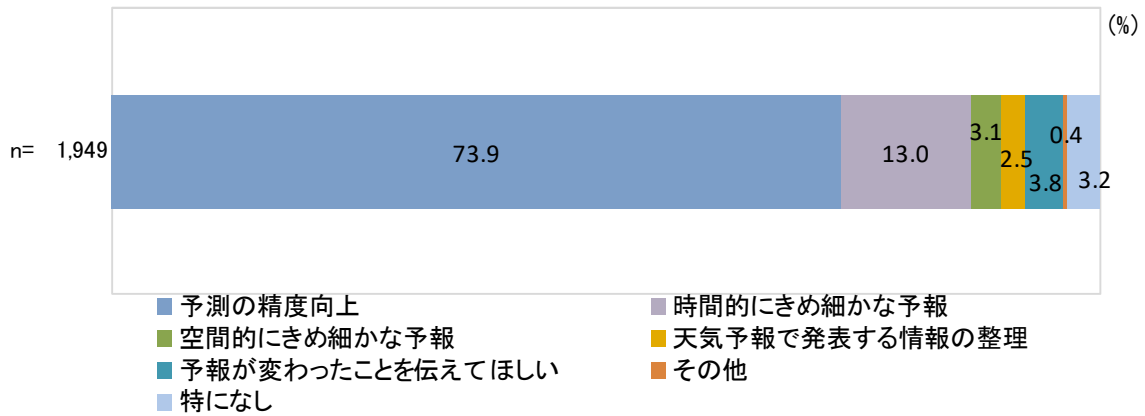
年代別にみると、40代、50代では「役に立った」が6割強と、他年代に比べ高くなっている。

居住地別にみると、東北地方、北陸地方、四国地方、九州北部地方では「役に立った」が6割以上と、他居住地と比べ高くなっている。

(4-1) 天気予報に期待すること【最も期待すること】

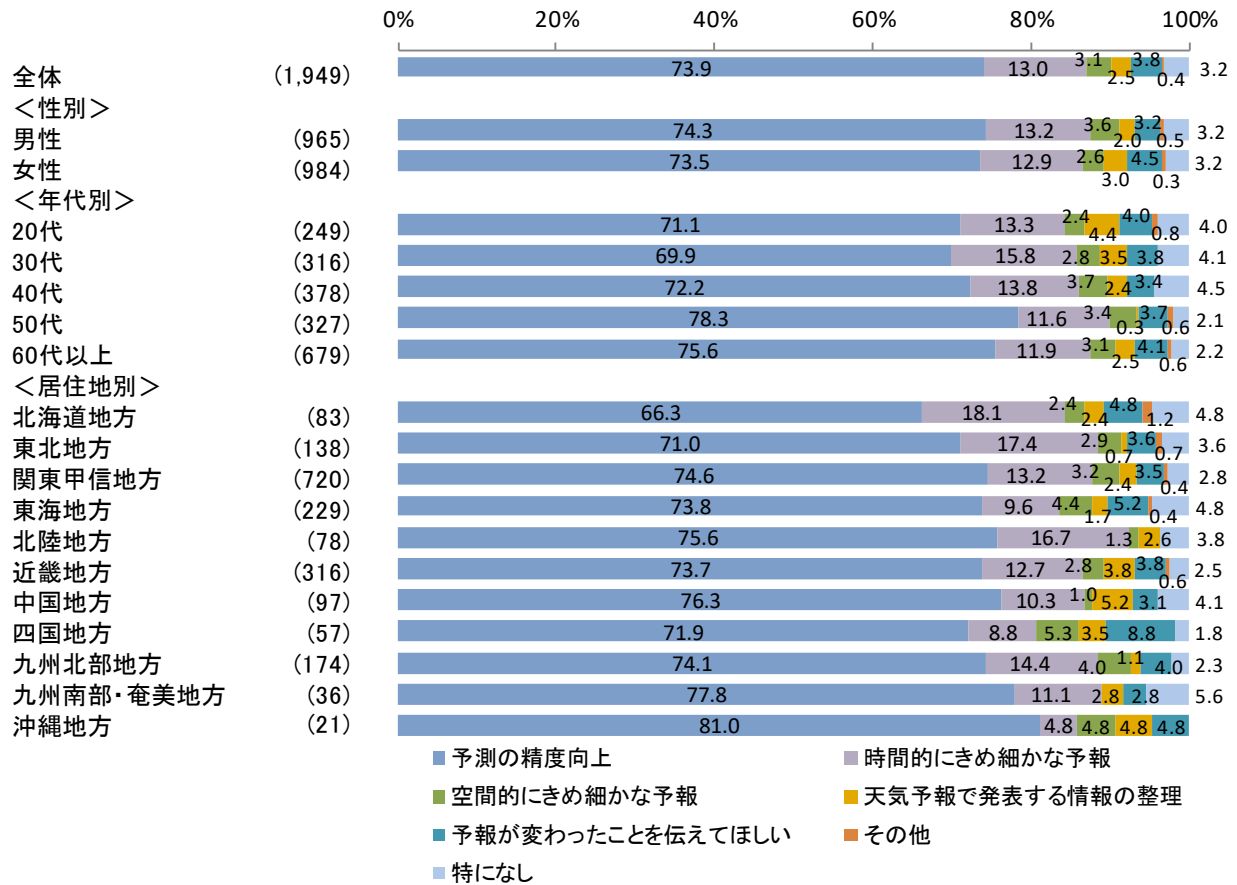
Q9. あなたが天気予報について期待することは何ですか。
最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。

n=1,949 ベース：天気予報を見聞きしたと回答した人



天気予報に最も期待することについて、「予測の精度向上」が7割台半ばと多数を占め、次いで、「時間的にきめ細かな予報」が1割台半ばとなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

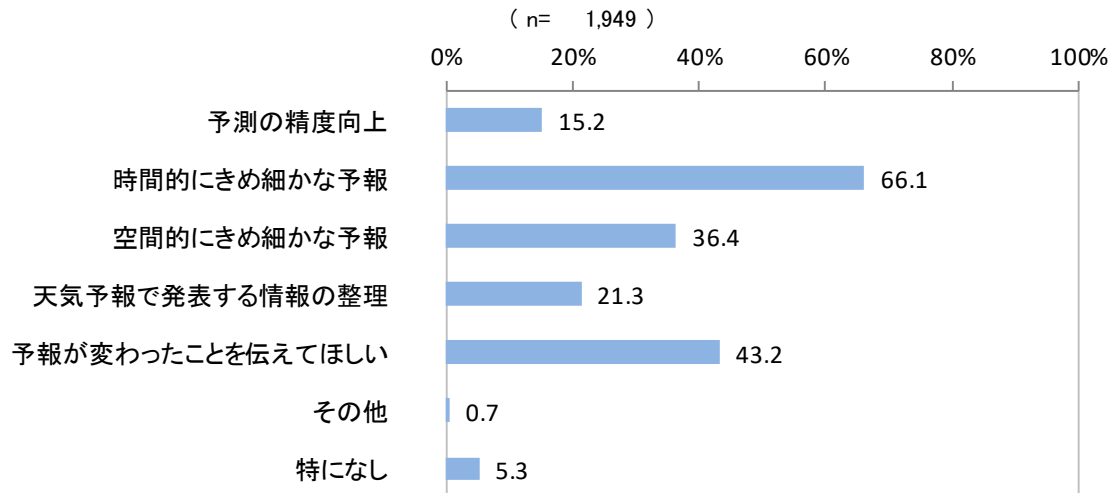
年代別にみると、50代以上では「予測の精度向上」が7割台半ば以上と、他年代に比べ高くなっている。

居住地別にみると、北海道地方、東北地方では「時間的にきめ細かな予報」が2割弱と、他居住地に比べ高くなっている。

(4-2) 天気予報に期待すること【2番目、3番目に期待すること(複数回答)】

Q9. あなたが天気予報について期待することは何ですか。
最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。

n=1,949 ベース：天気予報を見聞きしたと回答した人

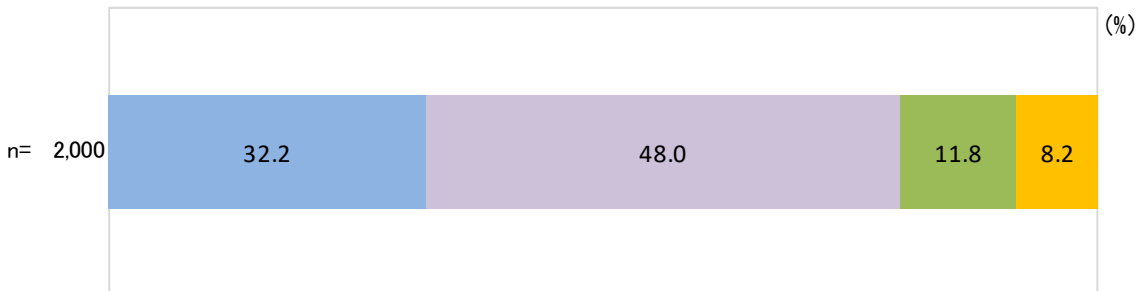
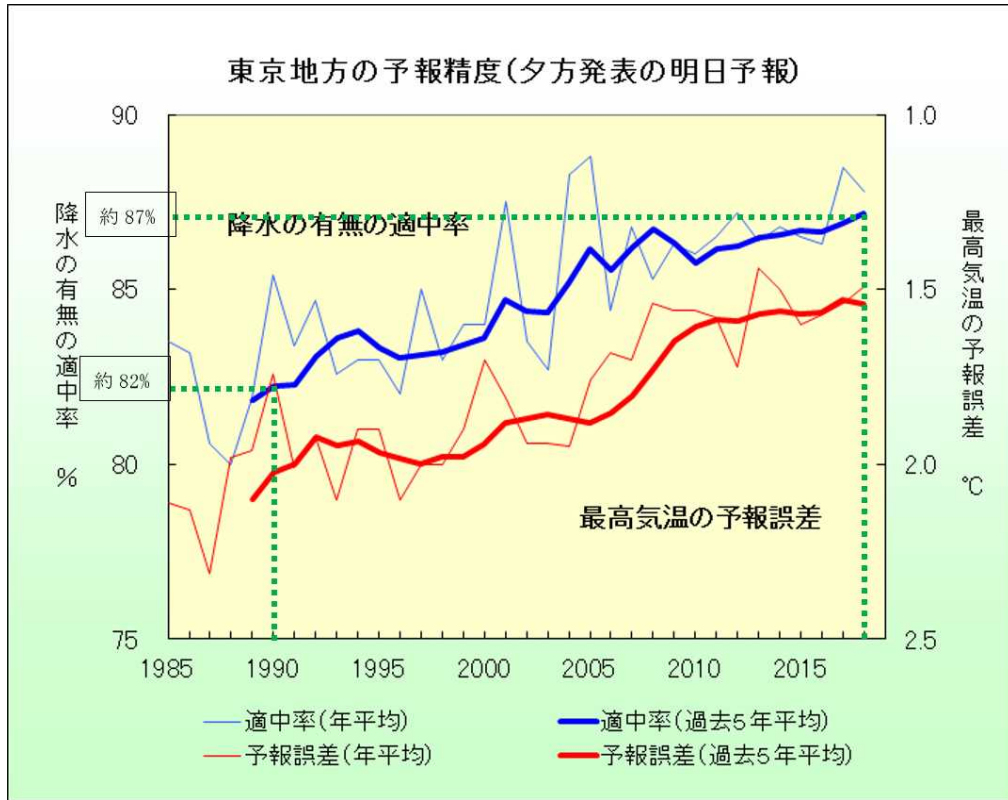


※選択肢は2番目と3番目の期待することの合算の値で、「特になし」のみ、2番目、3番目のどちらも回答した方の割合とした。

天気予報に2番目以降に期待することについて、「時間的にきめ細かな予報」が6割台半ばと最も高く、次いで、「予報が変わったことを伝えてほしい」が4割台半ば、「空間的にきめ細かな予報」が3割台半ばとなっている。

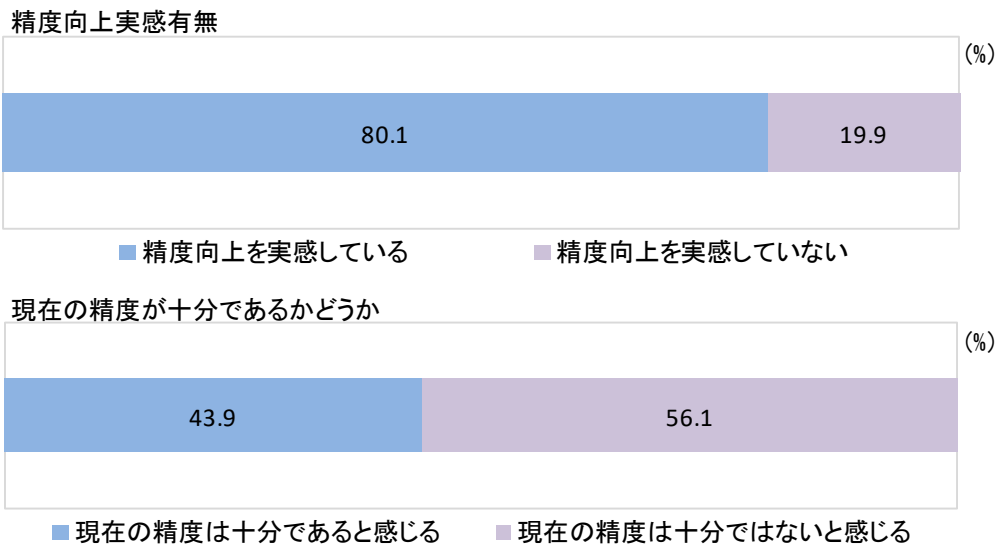
(5) 天気予報精度の年ごとの変化図を見て感じたこと

Q10. 次の図は、気象庁が発表する天気予報の精度の年ごとの変化です。
 例えば、「降水の有無の適中率」は1990年は約82パーセントで2018年は約87パーセントであることを示しています（図中青太線）。この図を見てどのように感じますか。
 あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。



- 天気予報の精度の向上を実感しており、現在の精度は十分であると感じる
- 天気予報の精度の向上を実感しているが、現在の精度は十分ではないと感じる
- 天気予報の精度が向上している実感は無いが、現在の精度は十分であると感じる
- 天気予報の精度が向上している実感は無いし、現在の精度も十分ではないと感じる

天気予報精度の年ごとの変化図を見て感じたことについて、「天気予報の精度の向上を実感しており、現在の精度は十分であると感じる」が3割強、「天気予報の精度の向上を実感しているが、現在の精度は十分ではないと感じる」が5割弱となり、合わせた天気予報の精度の向上を実感している方は約8割となっている。



精度向上実感有無、現在の精度は十分であるかどうかについて選択肢を2群にまとめると、精度向上を実感している方の割合は8割と多数を占めるものの、現在の精度は十分でないと感じる方は5割台半ばとなっている。

※精度向上実感有無

・精度向上を実感している：「天気予報の精度の向上を実感しており、現在の精度は十分であると感じる」「天気予報の精度の向上を実感しているが、現在の精度は十分ではないと感じる」

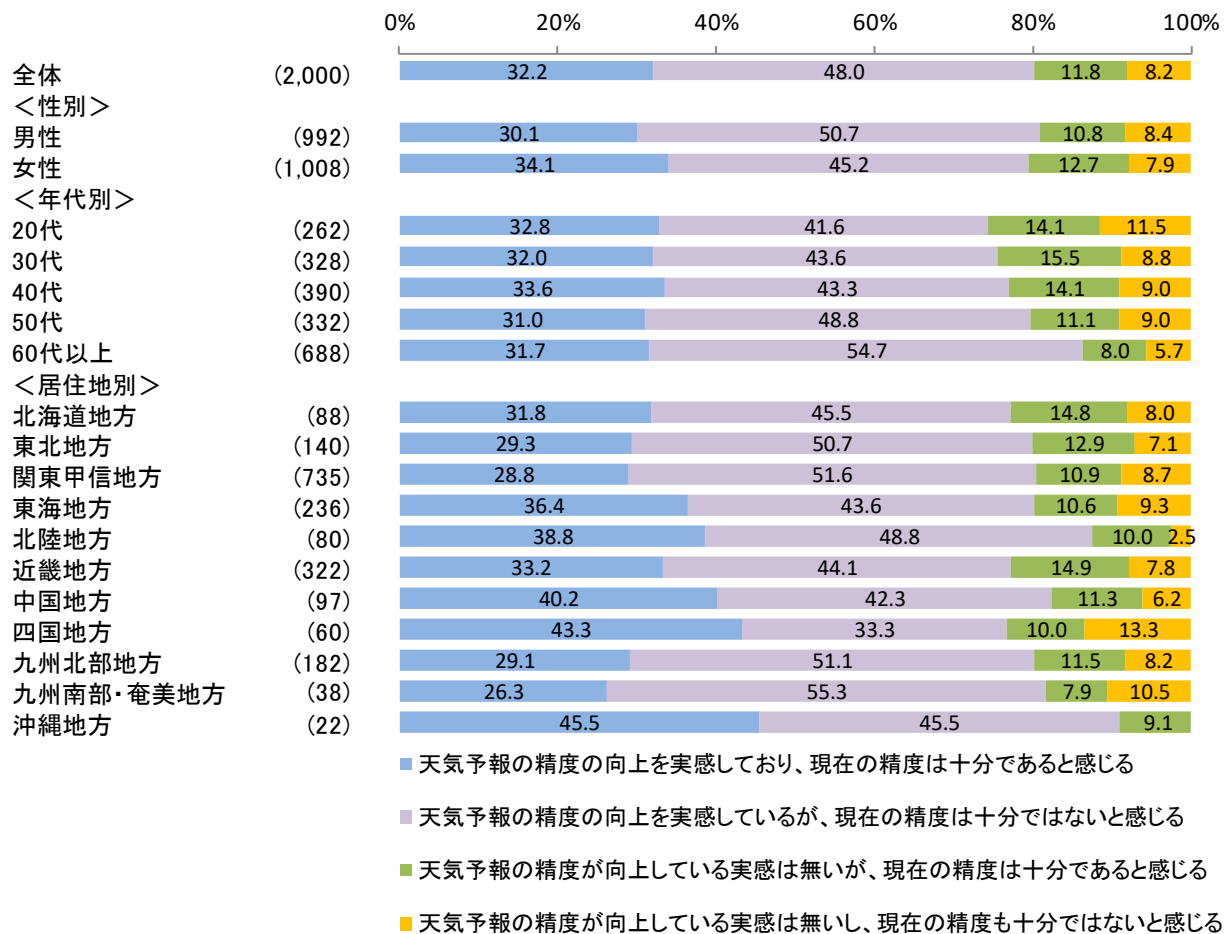
・精度向上を実感していない：「天気予報の精度が向上している実感は無いが、現在の精度は十分であると感じる」「天気予報の精度が向上している実感は無いし、現在の精度も十分ではないと感じる」

※現在の精度は十分であるかどうか

・現在の精度は十分であると感じる：「天気予報の精度の向上を実感しており、現在の精度は十分であると感じる」「天気予報の精度が向上している実感は無いが、現在の精度は十分であると感じる」

・精度向上を実感していない：「天気予報の精度の向上を実感しているが、現在の精度は十分ではないと感じる」「天気予報の精度が向上している実感は無いし、現在の精度も十分ではないと感じる」

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみると、男性では「天気予報の精度の向上を実感しているが、現在の精度は十分ではないと感じる」が約5割と、女性に比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、おおむね高齢層ほど、「天気予報の精度の向上を実感しているが、現在の精度は十分ではないと感じる」が高くなっている。

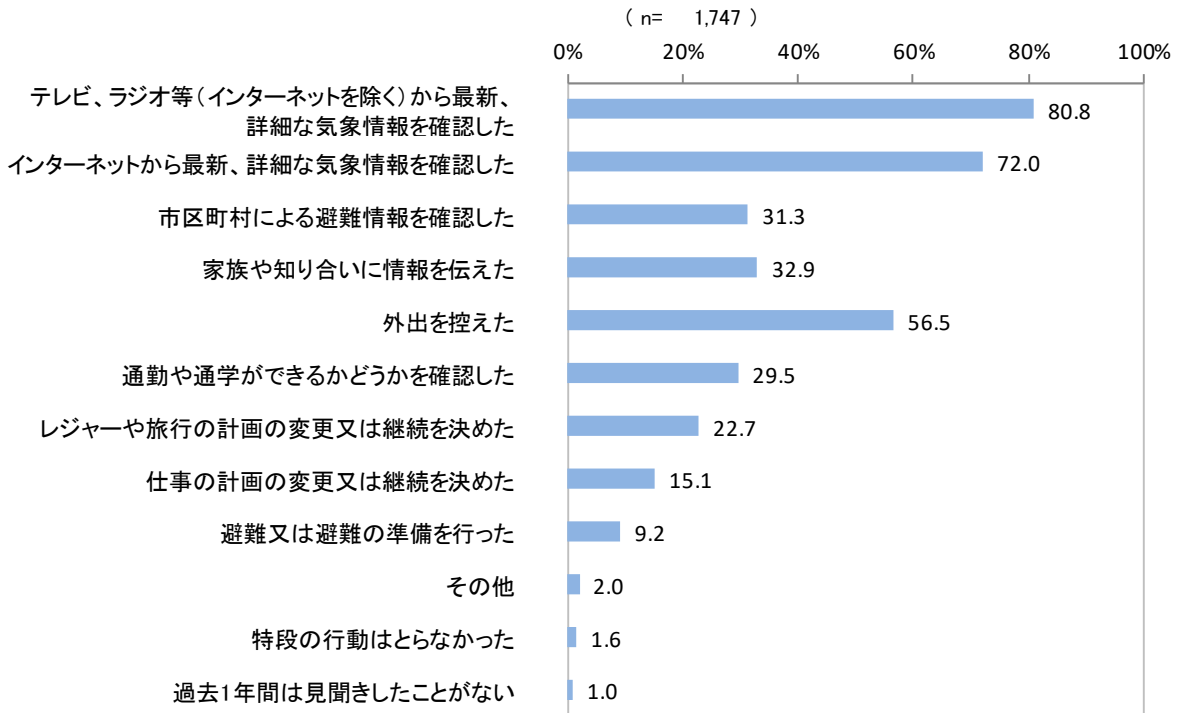
居住地別にみると、中国地方、四国地方では「天気予報の精度の向上を実感しており、現在の精度は十分であると感じる」が4割以上と、他居住地に比べ高くなっている。

4. 台風に関する情報

(1) 台風情報の見聞き時の行動

Q11. あなたは、台風に関する情報を見聞きした際に、どのような行動をとりましたか。
過去1年間に見聞きした場合の行動について、あてはまるものを全て選んでください。

n=1,747 ベース：防災気象情報の認知度で、台風情報を認知していると回答した人



台風情報の見聞き時の行動について、「テレビ、ラジオ等(インターネットを除く)から最新、詳細な気象情報を確認した」が約8割と最も高くなっており、次いで「インターネットから最新、詳細な気象情報を確認した」が7割強、「外出を控えた」が5割台半ばとなっている。

	n	テレビ、ラジオ等(インターネットを除く)から最新、詳細な気象情報を確認した(R1のみ)	インターネットから最新、詳細な気象情報を確認した(R1のみ)	市区町村による避難情報を確認した	家族や知り合いに情報を伝えた	外出を控えた	通勤や通学ができるかどうかを確認した	レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決めた	仕事の計画の変更又は継続を決めた	避難又は避難の準備を行った	その他	特段の行動はとらなかった	過去1年間は見聞きしたことがない
R1	1747	80.8	72.0	31.3	32.9	56.5	29.5	22.7	15.1	9.2	2.0	1.6	1.0
H29	1795			85.8	19.3	33.8	55.2	12.9	26.4	12.7	4.0	0.6	2.4

※N数について、R1は台風情報を知っていると回答した人、H29のN数は台風情報を知っていて、過去1年間に見聞きしたことがある人

今年度の単純集計結果と過年度(平成29年度)の結果を比較すると、今年度は過年度と比較して、「市区町村付 3-30

II. アンケート調査結果

村による避難情報を確認した」、「通勤や通学ができるかどうかを確認した」が10ポイント以上、「避難又は避難の準備を行った」が5ポイント以上、それぞれ高くなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	テレビ、ラジオ等（インターネットを除く）から最新の、詳細な気象情報を確認した	インターネットから最新の、詳細な気象情報を確認した	市区町村による避難情報を確認した	家族や知り合いに情報を伝えた	外出を控えた	通勤や通学ができるかどうかを確認した	レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決めた	仕事の計画の変更又は継続を決めた	避難又は避難の準備を行った	その他	特段の行動はとらなかった	過去1年間は見聞きしたことがない
全体	1747	80.8	72.0	31.3	32.9	56.5	29.5	22.7	15.1	9.2	2.0	1.6	1.0
性別													
男性	867	77.2	75.5	26.8	26.1	47.8	26.9	22.1	17.6	6.8	2.5	2.0	1.4
女性	880	84.3	68.4	35.7	39.7	65.1	32.2	23.3	12.5	11.6	1.5	1.3	0.6
年代別													
20代	205	67.3	69.8	32.7	32.2	49.8	32.2	21.0	13.7	14.1	1.0	3.4	4.4
30代	275	77.1	78.5	34.9	43.6	51.6	38.2	28.0	19.6	13.5	1.1	2.2	1.1
40代	337	80.7	75.7	28.8	38.3	57.6	39.8	22.0	18.1	9.5	2.4	2.1	0.9
50代	295	81.4	74.6	29.2	32.5	56.3	31.5	18.3	14.2	6.4	2.0	1.0	0.0
60代以上	635	86.5	66.6	31.5	25.8	60.3	18.6	23.5	12.3	6.9	2.5	0.8	0.3
居住地別													
北海道地方	74	78.4	67.6	18.9	29.7	44.6	23.0	16.2	6.8	2.7	0.0	4.1	2.7
東北地方	122	81.1	64.8	41.8	34.4	58.2	18.9	20.5	10.7	13.1	1.6	0.8	0.8
関東甲信地方	643	81.5	73.7	32.5	34.8	60.5	33.4	23.6	15.7	11.7	2.8	1.7	0.8
東海地方	207	83.6	72.9	35.7	30.9	54.6	28.0	25.6	18.4	7.2	3.4	2.9	0.5
北陸地方	72	81.9	69.4	36.1	29.2	58.3	20.8	22.2	8.3	8.3	1.4	0.0	0.0
近畿地方	286	80.4	69.9	23.4	30.1	57.3	32.9	21.7	15.4	6.6	1.4	0.7	1.7
中国地方	82	76.8	75.6	28.0	26.8	40.2	23.2	20.7	14.6	6.1	0.0	3.7	0.0
四国地方	55	83.6	60.0	32.7	32.7	61.8	27.3	29.1	18.2	7.3	3.6	1.8	5.5
九州北部地方	152	80.9	80.3	32.2	35.5	53.3	29.6	21.7	14.5	9.2	0.0	0.0	0.0
九州南部・奄美地方	33	69.7	63.6	30.3	39.4	48.5	24.2	24.2	18.2	12.1	0.0	3.0	0.0
沖縄地方	21	61.9	71.4	23.8	42.9	52.4	33.3	14.3	28.6	4.8	4.8	0.0	0.0

性別にみると、女性では「外出を控えた」が6割台半ば、「家族や知り合いに情報を伝えた」が4割弱と、男性と比べ、いずれも10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、30代、40代では「家族や知り合いに情報を伝えた」、「通勤や通学ができるかどうかを確認した」がいずれも4割前後と、他年代に比べ高くなっている。

居住地別にみると、東北地方では「市区町村による避難情報を確認した」が4割強と、他居住地に比べ高くなっている。

II. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	天気情報を除く確認した最新の詳細	テレビ、ラジオ等インターネットから最新の詳細	インターネットによる避難情報を確認	市区町村による避難情報を確認	家族や知り合いに情報を伝えた	外出を控えた	通勤や通学ができるかどうかを	レジャーや旅行の計画の変更又は	仕事の計画の変更又は継続を決	避難又は避難の準備を行った	その他	特段の行動はとらなかった	過去1年間は見聞きしたことが
全体	1747	80.8	72.0	31.3	32.9	56.5	29.5	22.7	15.1	9.2	2.0	1.6	1.0	
Q1・災害リスク把握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	699	83.7	82.3	41.3	38.6	61.9	32.8	25.3	19.2	13.4	2.9	0.9	0.1
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	308	82.1	71.8	35.7	37.7	58.4	31.8	29.2	14.6	11.0	1.6	0.6	1.0
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	458	80.6	65.9	21.6	28.6	54.1	28.6	18.8	12.9	5.0	1.7	2.4	1.1
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	154	75.3	60.4	24.7	26.6	54.5	26.6	20.1	13.0	4.5	0.6	1.9	0.6
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	128	68.8	51.6	7.8	13.3	32.8	13.3	10.2	3.9	2.3	0.8	4.7	5.5
Q12・台風情報の役立ち度	役立った	964	86.0	77.7	38.6	41.3	66.5	36.9	29.5	20.1	12.3	3.0	0.0	0.0
	やや役立った	685	79.9	69.6	23.9	23.9	47.6	22.3	15.8	9.5	5.4	0.7	0.0	0.0
	あまり役立たなかった	43	62.8	60.5	18.6	25.6	34.9	14.0	9.3	2.3	4.7	2.3	0.0	0.0
	役立たなかった	10	80.0	50.0	20.0	20.0	50.0	10.0	10.0	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0

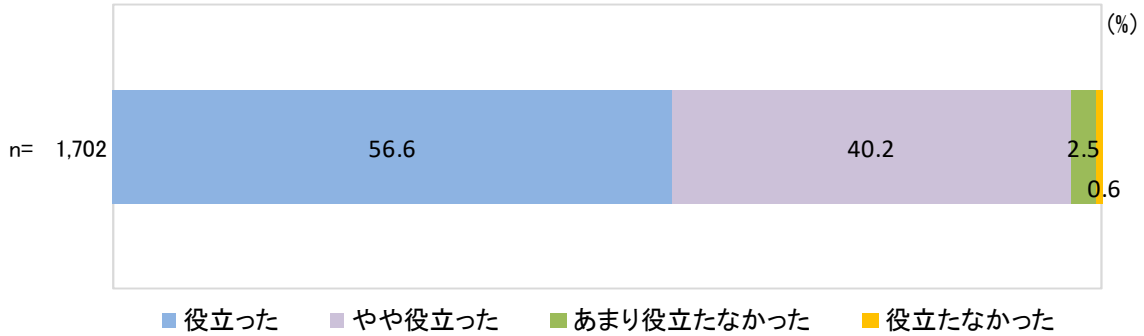
居住地の災害リスク把握別にみると、災害把握度合いが高まるほど、いずれのとした行動においてもおおむね割合が高くなっている。

台風情報の役立ち度別にみると、役立ち度が高まるほど、「その他」を除いた、何らかの行動をとる割合が高くなっている。

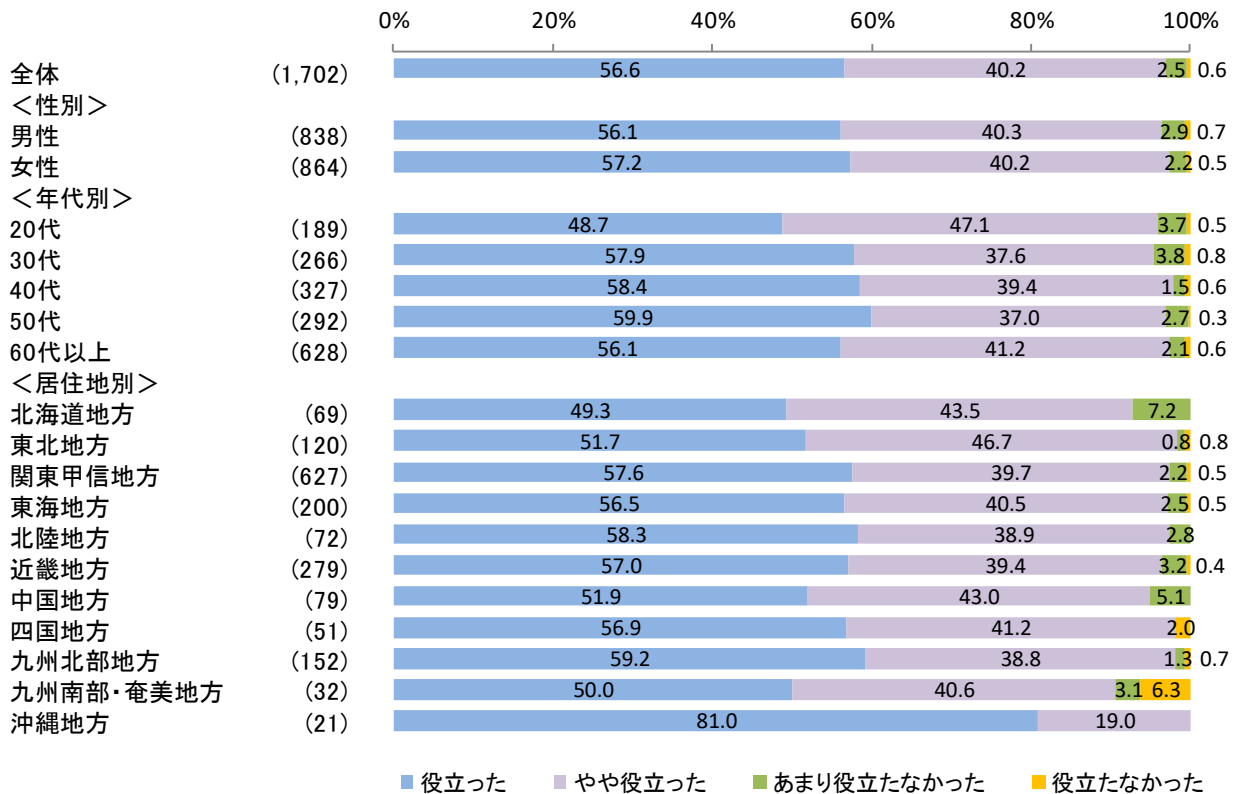
(2) 台風情報の役立ち度

Q12. あなたが過去1年間に台風情報を見聞きした後にとった行動の結果から、台風情報はどの程度役立ちましたか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

n=1,702 ベース：台風情報の見聞き時の行動で、何らかの行動をとったと回答した人



台風情報の役立ち度について、「役立った」が5割台半ば、「やや役立った」が約4割となり、合わせた台風情報が役立ったと感じている方は9割台半ばとなっている。



※ベースがn=29以下は参考値

性別、年代別、居住地別にみても、傾向に変化は見られない。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

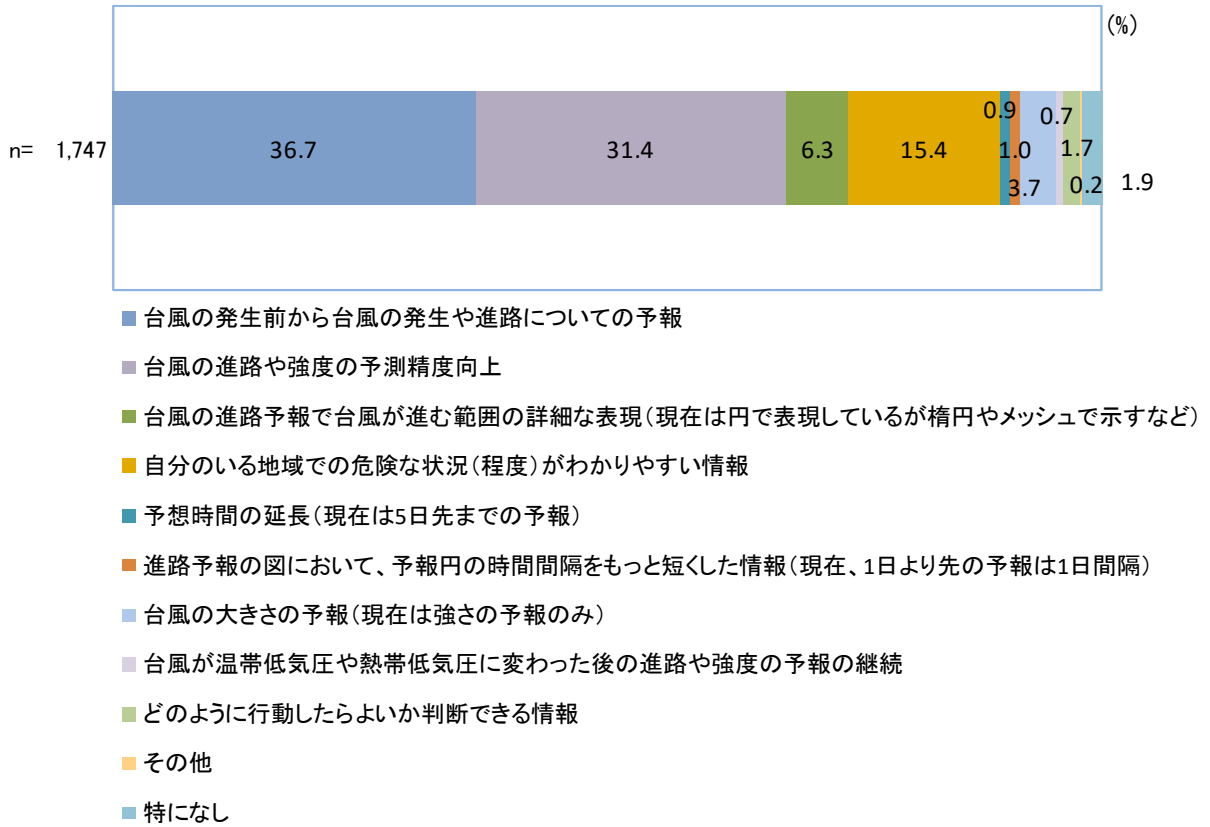
		n	役 立 っ た	や や 役 立 っ た	あ ま り 役 立 た な か っ た	役 立 た な か っ た
全体		1702	56.6	40.2	2.5	0.6
Q 1 ・ 災 害 リ ス ク 把 握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	692	66.5	31.4	1.3	0.9
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	303	58.7	39.9	1.3	0.0
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	442	47.3	49.3	2.9	0.5
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	150	49.3	45.3	4.7	0.7
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	115	37.4	53.0	8.7	0.9

居住地の災害リスク把握別にみると、ハザードマップや周囲の人などから聞く等して、居住地の災害リスクを把握している方では「役立った」の割合が高くなっている。一方で、

(3-1) 台風情報に期待すること【最も期待すること】

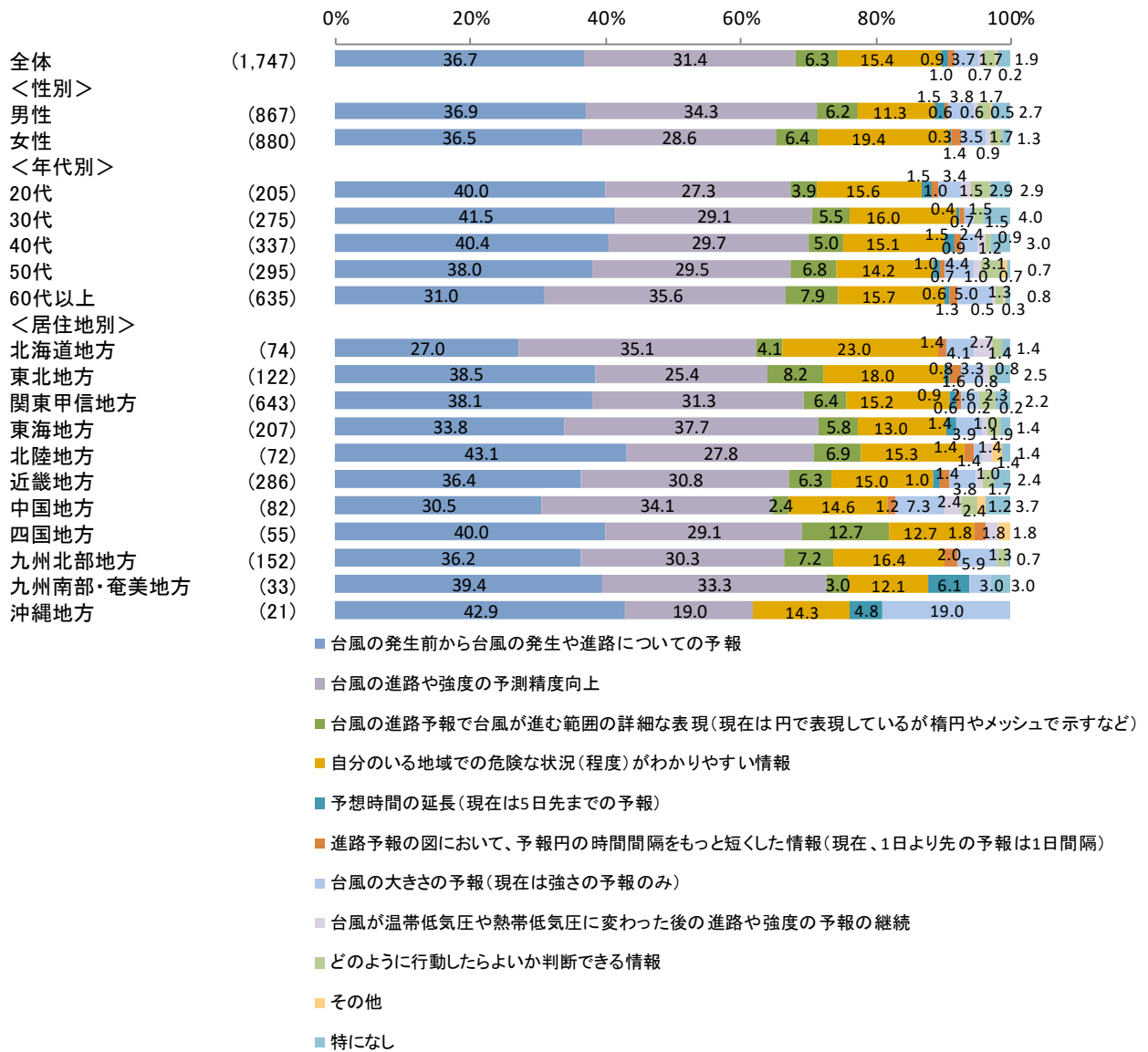
Q13. あなたが、台風情報に期待することは何ですか。
最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。

n=1,747 ベース：防災気象情報の認知度で、台風情報を認知していると回答した人



台風情報に最も期待することについて、「台風の発生前から台風の発生や進路についての予報」が3割台半ば、「台風の進路や強度の予測精度向上」が3割強となっている。

II. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみると、男性では「台風の進路や強度の予測精度向上」が3割台半ばと、女性と比べ、5ポイント以上高くなっている。女性では「自分のいる地域での危険な状況(程度)がわかりやすい情報」が2割弱と、男性と比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、50代以下では、「台風の発生前から台風の発生や進路についての予報」が4割前後と、他年代に比べ高くなっている。

居住地別にみると、北陸地方では「台風の発生前から台風の発生や進路についての予報」が4割台半ばと、他居住地と比べ、高くなっている。

II. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

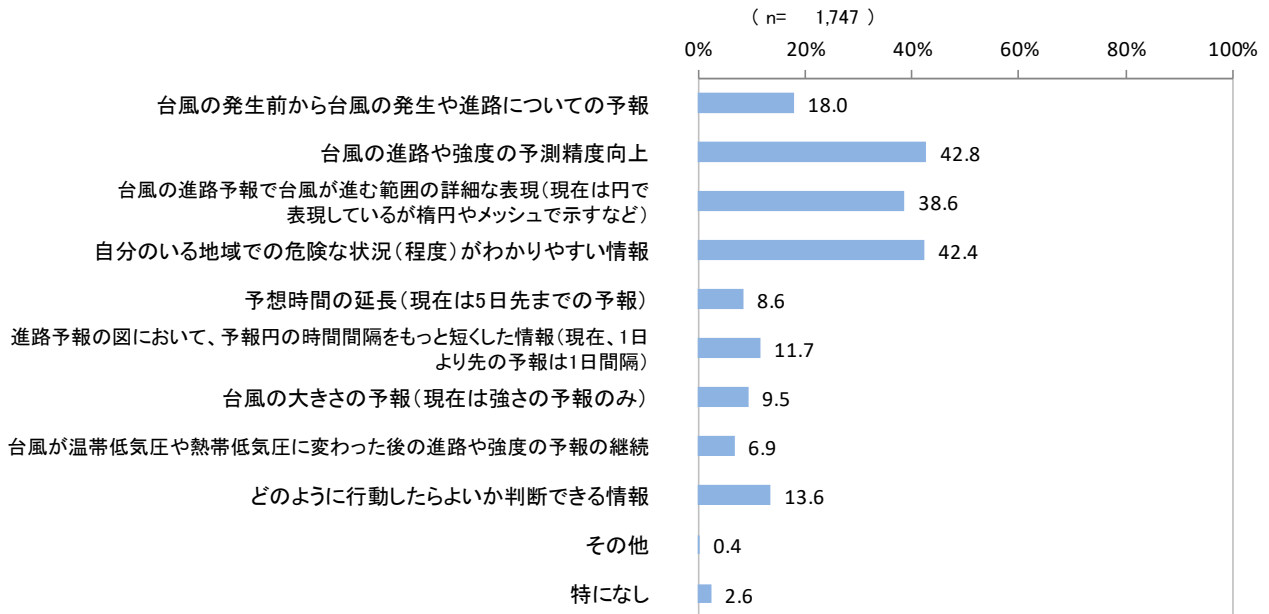
		n	ついでにの発生前からの台風の発生や進路に	台風の進路や強度の予測精度向上	楕円やメッシュなどで示すなど	台風の進路予報で台風が進む範囲の詳細	度)がわかる地域での危険な状況(程度)	予想時間の延長(現在は5日先までの)	日より先の予報は1日間隔(現在、1)	進路予報の図において、予報円の時間	台風の大きさの予報(現在は強さの予報のみ)	台風が温帯低気圧や熱帯低気圧に変わった後の進路や強度の予報の継続	どのように行動したらよいか判断できる情報	その他	特になし
全体		1747	36.7	31.4	6.3	15.4	0.9	1.0	3.7	0.7	1.7	0.2	1.9		
路Q 予1 報4 が. あ つ 風 た 発 生 場 合 前 に 活 用 生 や 望 進	避難の準備や台風に対する備えを行う	1127	38.6	30.1	6.6	15.6	0.4	1.2	4.2	0.5	1.9	0.1	1.0		
	レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決める	359	34.3	37.0	3.9	14.8	1.9	1.1	3.1	0.8	1.1	0.3	1.7		
	仕事の計画の変更又は継続を決める	203	32.5	32.0	8.4	15.3	2.0	0.0	3.0	2.0	2.5	0.0	2.5		
	その他	7	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0		
	活用しないと思う	51	27.5	21.6	7.8	15.7	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	23.5		

台風発生前の予報の活用要望別にみると、「レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決める」では、「台風の進路や強度の予測精度向上」が他の活用要望と比べ、高くなっている。また、「活用しないと思う」では、「特になし」が2割以上と他の活用要望と比べ、高くなっている。

(3-2) 台風情報に期待すること【2番目、3番目に期待すること(複数回答)】

Q13. あなたが、台風情報に期待することは何ですか。
最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。

n=1,747 ベース：防災気象情報の認知度で、台風情報を認知していると回答した人



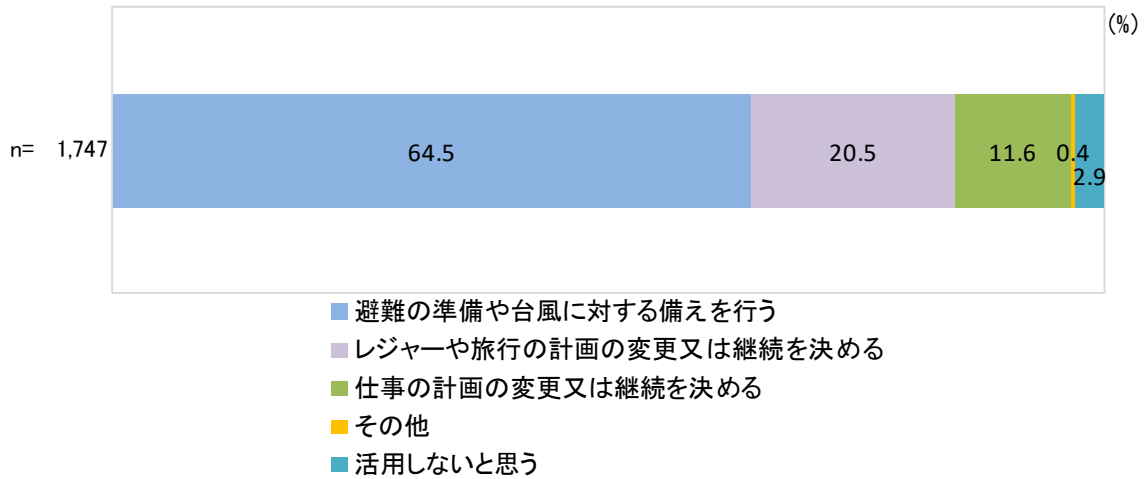
※選択肢は2番目と3番目の期待することの合算の値で、「特になし」のみ、2番目、3番目のどちらも回答した方の割合とした。

台風情報に2番目以降に期待することについて、「台風の進路や強度の予測精度向上」、「自分のいる地域での危険な状況(程度)がわかりやすい情報」がいずれも4割強、次いで「台風の進路予報で台風が進む範囲の詳細な表現(現在は円で表現しているが楕円やメッシュで示すなど)」が4割弱となっている。

(4) 台風発生前に発生や進路の予報があった場合の活用要望

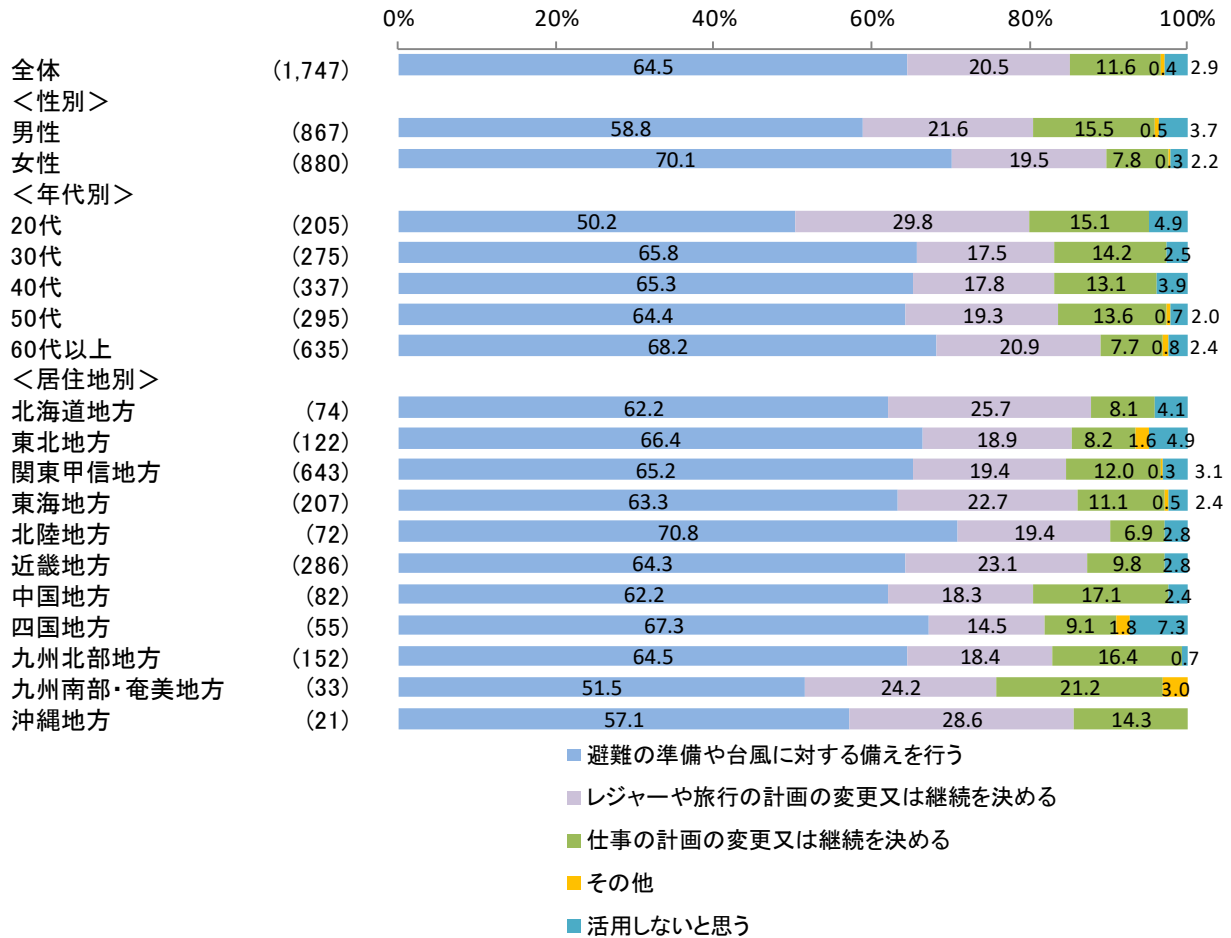
Q14. あなたは、台風の発生前から台風の発生や進路の予報があった場合、何に活用したいですか。あてはまるものを1つ選んでください。

n=1,747 ベース：防災気象情報の認知度で、台風情報を認知していると回答した人



台風発生前に発生や進路の予報があった場合の活用要望について、「避難の準備や台風に対する備えを行う」が6割台半ば、「レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決める」が約2割となっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみると、女性では「避難の準備や台風に対する備えを行う」が約7割と、男性と比べ10ポイント以上高くなっている。

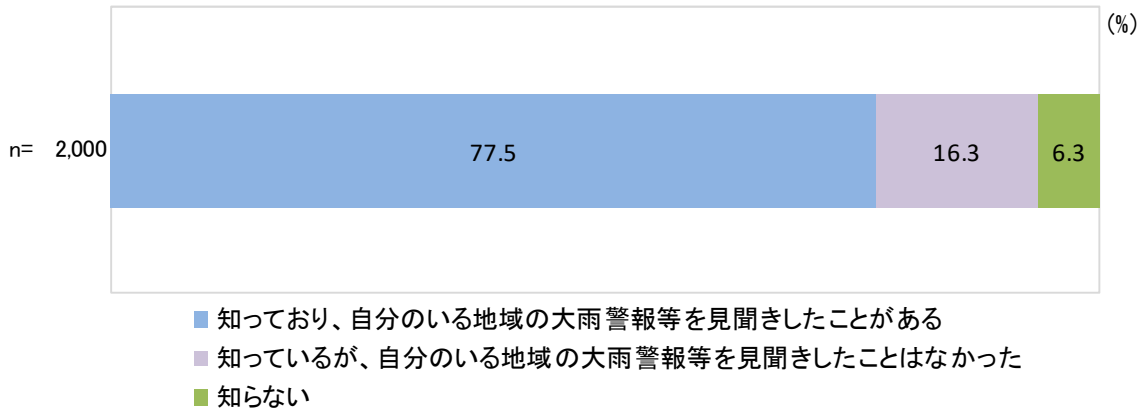
年代別にみると、20代では「レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決める」が3割弱と、他年代に比べ高くなっている。

居住地別にみると、北陸地方では「避難の準備や台風に対する備えを行う」が約7割と、他居住地と比べ高くなっている。一方、九州南部奄美地方では「避難の準備や台風に対する備えを行う」が5割と、他居住地と比べ低くなっている。

5. 大雨警報等

(1) 大雨警報等の認知度及び見聞きの経験

Q15. あなたは、「大雨警報等」を知っていますか。
また、過去1年間に自分のいる地域に発表された大雨警報等を見聞きしたことはありましたか。



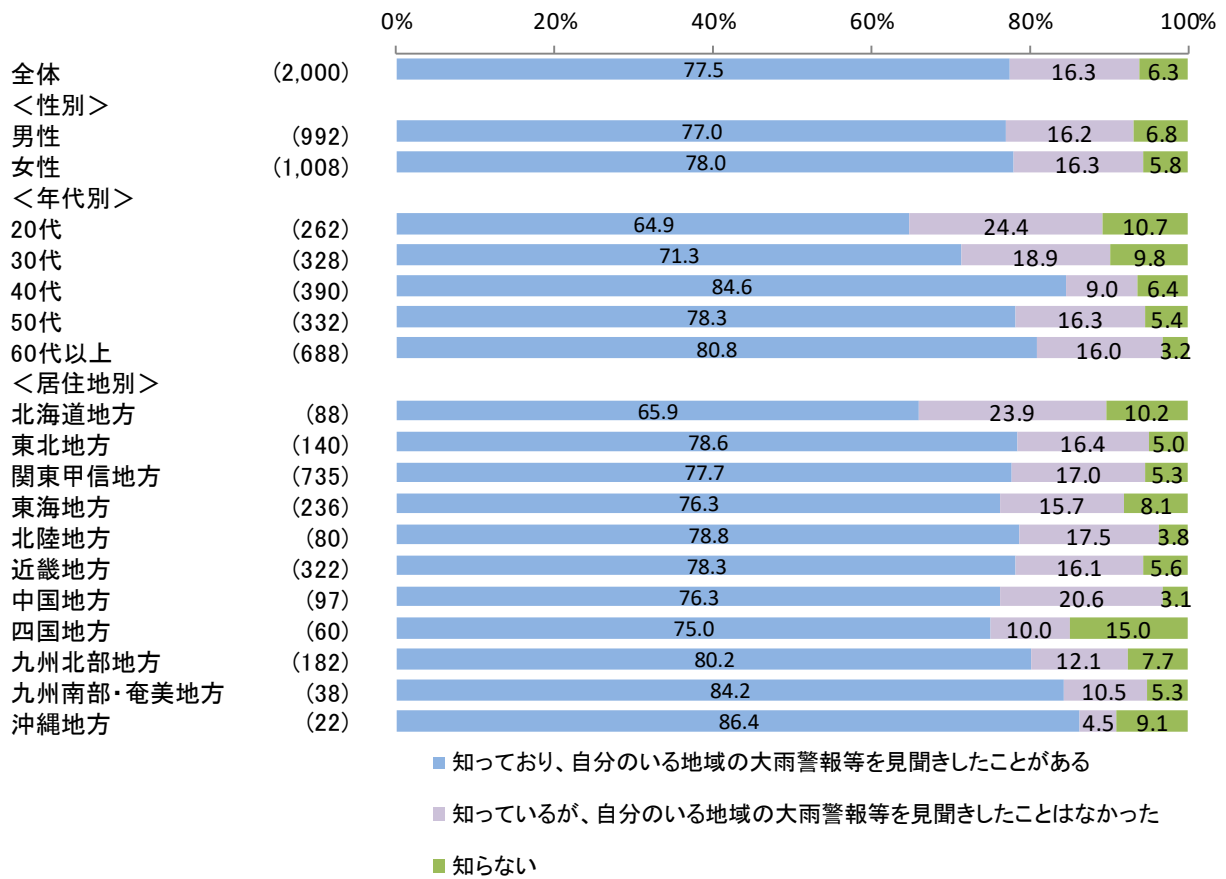
大雨警報等の認知度及び見聞きの経験について、「知っており、自分のいる地域の大雨警報等を見聞きしたことがある」が8割弱と大半を占めており、「知っているが、自分のいる地域の大雨警報等を見聞きしたことはなかった」の1割台半ばを合わせた大雨警報等を認知している方は9割台半ばとなっている。

		(%)		
		き地知	聞る知	知
		し域っ	き地っ	ら
		たのて	し域て	な
		こ大お	たのい	い
		と雨り	こ大る	
		が警、	と雨が	
		あ報自	は警、	
		る等分	な報自	
		をの	か等分	
		見い	っをの	
		聞る	た見い	
	n			
R1	2000	77.5	16.3	6.3
H29	2000	92.7		7.3

※H29の選択肢は認知度の選択肢2種のみ

今年度の単純集計結果と過年度（平成29年度）の結果を比較しても、傾向に変化は見られない。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

年代別にみると、年代が高いほど「知っている」人の割合が高くなっており、40代以上では、「しており、自分のいる地域の大雨警報等を見聞きしたことがある」が8割前後と、30代以下と比べ高くなっている。

居住地別にみると、九州北部地方、九州南部・奄美地方では、「しており、自分のいる地域の大雨警報等を見聞きしたことがある」が8割以上と、他居住地と比べ高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

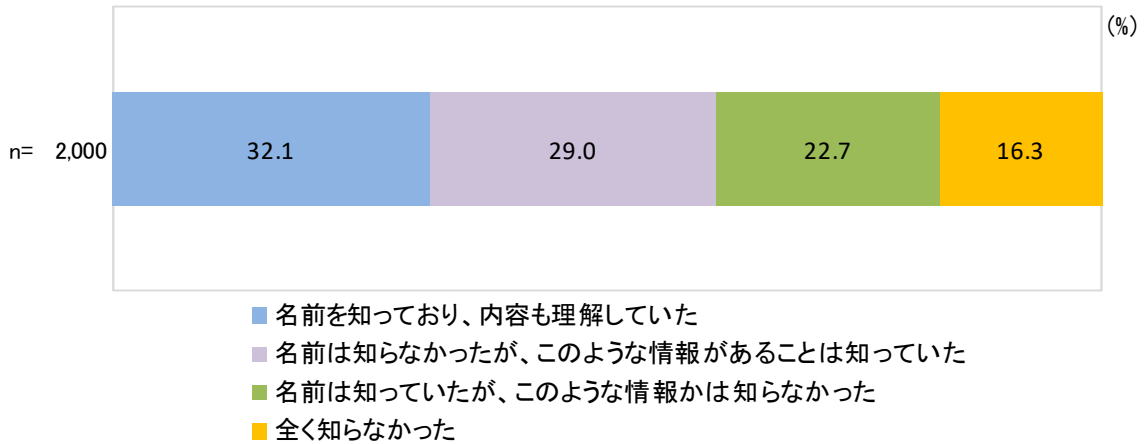
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	あ る	大 雨 警 報 等 を 見 聞 き し た こ と が	知 つ て お り 、 自 分 の い る 地 域 の	は な か つ た 、 自 分 の い る 地 域 の	の 大 雨 警 報 等 を 見 聞 き し た こ と 域	知 ら な い
全体		2000	77.5	16.3	6.3			
Q 1 ・ 災 害 リ ス ク 把 握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	745	88.6	10.1	1.3			
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	340	80.6	17.6	1.8			
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	516	75.6	20.2	4.3			
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	175	73.7	24.0	2.3			
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	224	43.3	19.6	37.1			

居住地の災害リスクを把握別にみると、災害リスクの把握度合いが高まるほど、「知っており、自分のいる地域の大雨警報等を見聞きしたことがある」の割合が高くなっている。

(2) 危険度分布の認知度

Q16. あなたは、「危険度分布」を知っていますか。



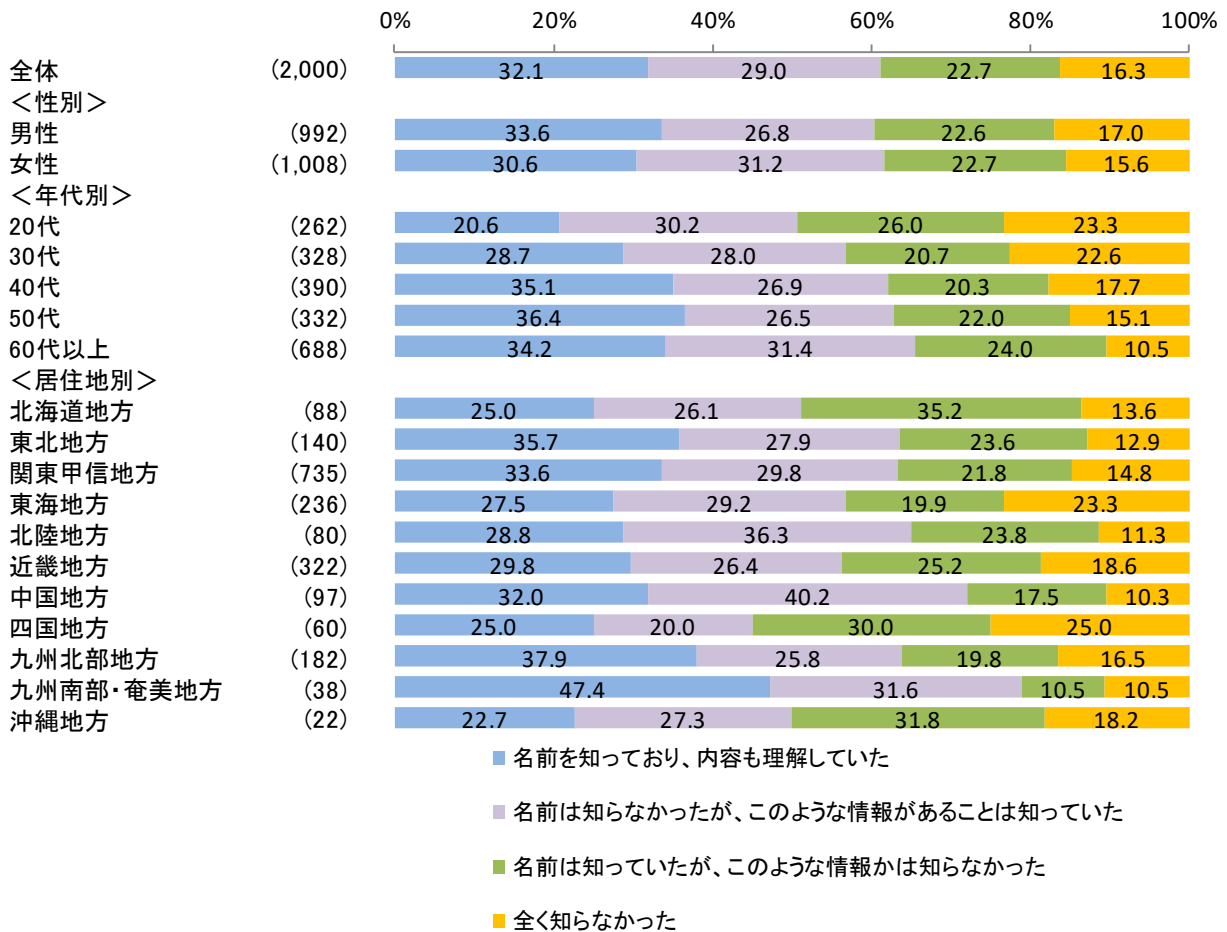
危険度分布の認知度について、「名前を知っており、内容も理解していた」が3割強、「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」が3割弱、「名前は知っていたが、このような情報かは知らなかった」が2割強となり、合わせた危険度分布を認知している方は8割台半ばとなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下 (%)

	n	名前も前理を解知してたり、内容	あがる、ここはとの知はよら知うなっなかつて情っい報たが	名前、前はここはの知らなかつたが	名前、前はここはの知らなかつたが	全く知らなかった
R1	2000	32.1	29.0	22.7	16.3	
H30	2000	14.7	29.8	24.1	31.4	

今年度の単純集計結果と過年度（平成30年度）の結果を比較すると、今年度では「名前を知っており、内容も理解していた」が過年度と比べ、10ポイント以上高くなっており、危険度分布に対する認知度が高まっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

年代別にみると、若年層ほど「全く知らなかった」の割合が高くなっている。

居住地別にみると、九州南部地方・奄美地方では、「名前を知っており、内容も理解していた」が5割弱と他居住地と比べ、高くなっている。

II. アンケート調査結果

- * ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

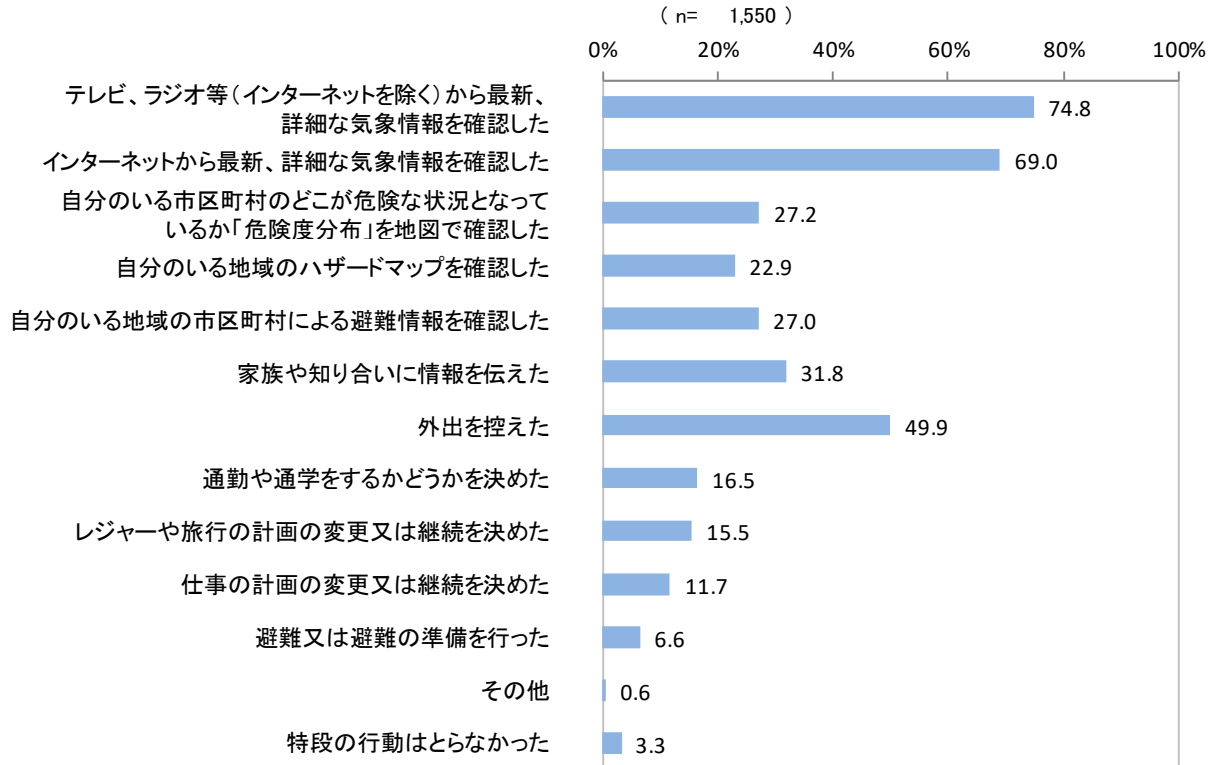
		n	容 も 理 解 し て い た り 、 内	あ が る こ の は よ ら な か つ て 情 報 が	名 前 は な か ら 知 ら な か つ た が	こ の よ う な 情 報 は 知 ら な か つ た	全 く 知 ら な か つ た
全体		2000	32.1	29.0	22.7	16.3	
Q1	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	745	50.1	29.4	12.3	8.2	
・	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	340	31.5	34.7	23.5	10.3	
災	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	516	20.3	31.0	31.6	17.1	
害	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	175	19.4	28.6	35.4	16.6	
リ	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	224	9.8	14.7	25.0	50.4	
ス							
ク							
把							
握							

居住地の災害リスク把握別にみると、災害把握度合いが高まるほど、「名前を知っており、内容も理解していた」の割合が高くなっている。

(3) 大雨警報等の見聞き時の行動

Q17. あなたは、昨年 1 年間に自分のいる地域を対象とした大雨警報等を見聞きした後に、どんな行動をとりましたか。あてはまるものを全て選んでください。

n=1,550 ベース：大雨警報等の認知度及び見聞きの経験で、見聞きしたことがあると回答した人



大雨警報等の見聞き時の行動について、「テレビ、ラジオ等(インターネットを除く)から最新、詳細な気象情報を確認した」が7割台半ば、「インターネットから最新、詳細な気象情報を確認した」が7割弱となり、何らかの手段で最新、詳細な気象情報を確認した人が最も多く、次いで「外出を控えた」が5割弱、「家族や知り合いに情報を伝えた」が3割強となっている。

	n	詳細な気象情報を確認した	テレビ、ラジオ等(インターネットを除く)から最新、詳細な気象情報を確認した	インターネットから最新、詳細な気象情報を確認した	自分のいる市区町村のどこが危険な状況となっているか「危険度分布」を地図で確認した	自分のいる地域のハザードマップを確認した	自分のいる地域の市区町村による避難情報を確認した	家族や知り合いに情報を伝えた	外出を控えた	通勤や通学をするかどうかを決めた	レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決めた	仕事の計画の変更又は継続を決めた	避難又は避難の準備を行った	その他	特段の行動はとらなかった
R1	1550	74.8	69.0	27.2	22.9	27.0	31.8	49.9	16.5	15.5	11.7	6.6	0.6	3.3	
H29	1675		85.3	25.7			34.3	51.4	11.7	20.4	11.4	3.0	0.3	2.9	

※R1・H29のN数はともに大雨警報等を見聞きしたことがあると回答した人

今年度の単純集計結果と過年度(平成29年度)の結果を比較しても、傾向に変化は見られない。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	細な気象情報(テレビ、ラジオ等)を確認した	インターネットから最新の気象情報を確認した	インターネットから最新の気象情報を確認した	自分のいる市区町村のどこが危険な状況となっているか「危険度分布」を地図で確認した	自分のいる地域のハザードマップを確認した	自分のいる地域の市区町村による避難情報を確認した	家族や知り合いに情報を伝えた	外出を控えた	通勤や通学をするかどうかを決めた	更には継続して旅行の計画の変更や旅行の計画の変更	仕事の計画の変更又は継続を決めた	避難又は避難の準備を行った	その他	特段の行動はとらなかった
全体	1550	74.8	69.0	27.2	22.9	27.0	31.8	49.9	16.5	15.5	11.7	6.6	0.6	3.3	
性別 男性	764	75.4	72.4	25.0	22.3	23.4	25.0	41.9	15.2	16.6	13.5	5.5	1.0	3.5	
性別 女性	786	74.2	65.6	29.4	23.5	30.5	38.4	57.8	17.7	14.4	10.1	7.6	0.3	3.1	
年代別 20代	170	60.6	70.6	24.1	20.0	24.1	34.1	48.2	22.4	18.8	12.9	8.2	0.0	4.7	
年代別 30代	234	67.5	76.1	28.2	27.8	32.5	38.9	49.1	22.6	20.1	16.2	10.3	0.0	3.8	
年代別 40代	330	76.7	73.0	25.5	25.5	23.9	33.6	47.0	22.1	13.6	13.0	6.1	0.6	3.9	
年代別 50代	260	76.5	72.3	29.2	18.8	22.3	36.2	50.8	13.8	12.3	11.5	3.8	1.2	3.1	
年代別 60代以上	556	80.2	61.5	27.9	22.1	29.7	25.0	52.2	9.9	15.1	8.8	6.1	0.9	2.3	
居住地別 北海道地方	58	69.0	63.8	19.0	13.8	12.1	32.8	44.8	17.2	8.6	6.9	1.7	0.0	13.8	
居住地別 東北地方	110	78.2	62.7	35.5	29.1	34.5	35.5	50.0	8.2	18.2	9.1	10.9	0.9	1.8	
居住地別 関東甲信地方	571	76.7	70.6	29.2	27.5	29.6	32.6	51.1	18.9	15.4	12.4	7.9	1.1	2.1	
居住地別 東海地方	180	76.1	67.8	25.6	21.7	29.4	28.3	50.6	16.1	16.1	12.2	8.3	0.0	5.6	
居住地別 北陸地方	63	73.0	61.9	34.9	27.0	31.7	25.4	42.9	4.8	17.5	6.3	11.1	0.0	4.8	
居住地別 近畿地方	252	71.8	70.6	22.2	19.8	23.4	28.2	52.4	17.1	16.7	11.1	3.6	0.8	2.4	
居住地別 中国地方	74	77.0	71.6	24.3	20.3	20.3	29.7	45.9	17.6	12.2	12.2	5.4	0.0	4.1	
居住地別 四国地方	45	84.4	60.0	28.9	15.6	22.2	40.0	48.9	15.6	13.3	17.8	4.4	2.2	0.0	
居住地別 九州北部地方	146	72.6	75.3	26.7	17.8	27.4	38.4	48.6	17.8	17.1	12.3	3.4	0.0	3.4	
居住地別 九州南部・奄美地方	32	56.3	59.4	21.9	9.4	25.0	28.1	40.6	15.6	9.4	12.5	6.3	0.0	6.3	
居住地別 沖縄地方	19	63.2	63.2	21.1	5.3	0.0	31.6	57.9	10.5	10.5	21.1	0.0	0.0	0.0	

性別にみると、女性では「外出を控えた」が6割弱、「家族や知り合いに情報を伝えた」が4割弱と、男性と比べ10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、40代以下では「通勤や通学をするかどうかを決めた」が2割以上と、50代以上と比べ高くなっている。

居住地別にみると、東北地方、北陸地方では「自分のいる地域の市区町村のどこが危険な状況となっているか「危険度分布」を地図で確認した」が3割台半ばと、他居住地と比べ、高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

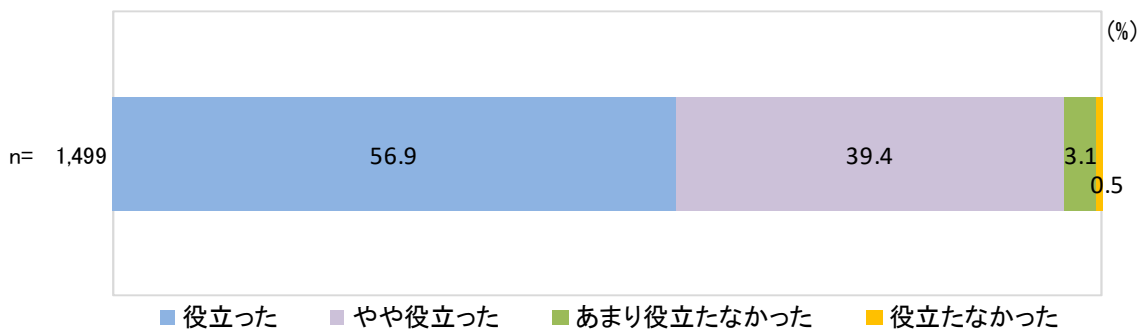
	n	な 気 象 情 報 を 確 認 し た 最 新 、 詳 細	テ レ ビ 、 ラ ジ オ 等 へ イ ン タ ー ネ ッ ト を 除 く	な 気 象 情 報 を 確 認 し た 最 新 、 詳 細	イ ン タ ー ネ ッ ト を 確 認 し た 最 新 、 詳 細	度 分 布 」 を 地 図 で 確 認 し た	自 分 の い る 市 区 町 村 の ど こ が 危 険 な 状 況 と な っ て い る か	自 分 の い る 地 域 の ハ ザ ー ド マ ッ プ を 確 認 し た	自 分 の い る 地 域 の 市 区 町 村 に よ る 避 難 情 報 を 確 認 し た	家 族 や 知 り 合 い に 情 報 を 伝 え た	外 出 を 控 え た	め た 通 動 や 通 学 を す る か ど う か を 決 め た	は レ ジ ヤ ー や 旅 行 の 計 画 の 変 更 又 は 継 続 を 決 め た	め た 仕 事 の 計 画 の 変 更 又 は 継 続 を 決 め た	避 難 又 は 避 難 の 準 備 を 行 っ た	そ の 他	特 段 の 行 動 は と ら な か っ た
全体	1550	74.8	69.0	27.2	22.9	27.0	31.8	49.9	16.5	15.5	11.7	6.6	0.6	3.3			
Q 1 ・ 災 害 リ ス ク 把 握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	660	77.4	76.1	36.7	38.6	35.5	35.8	49.1	17.3	18.0	13.6	9.2	1.1	2.6		
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	274	75.5	68.6	29.2	22.3	29.2	37.2	52.6	20.8	16.8	11.3	8.4	0.7	2.6		
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	390	74.1	66.4	18.2	6.4	20.8	28.7	51.0	13.8	11.8	10.8	3.6	0.3	3.1		
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	129	69.8	58.1	16.3	7.8	14.0	24.0	56.6	16.3	14.7	10.1	1.6	0.0	4.7		
自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	97	63.9	46.4	8.2	4.1	6.2	12.4	35.1	9.3	10.3	6.2	2.1	0.0	9.3			

居住地の災害リスク把握別にみると、「自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している」では、「インターネットから最新、詳細な気象情報を確認した」、「自分のいる地域のハザードマップを確認した」、「自分のいる市町村のどこが危険な状況となっているか「危険度分布」を地図で確認した」、「自分のいる地域の市区町村による避難情報を確認した」のいずれも他の災害リスク把握と比べ、割合が高くなっている。

(4) 大雨警報等の役立ち度

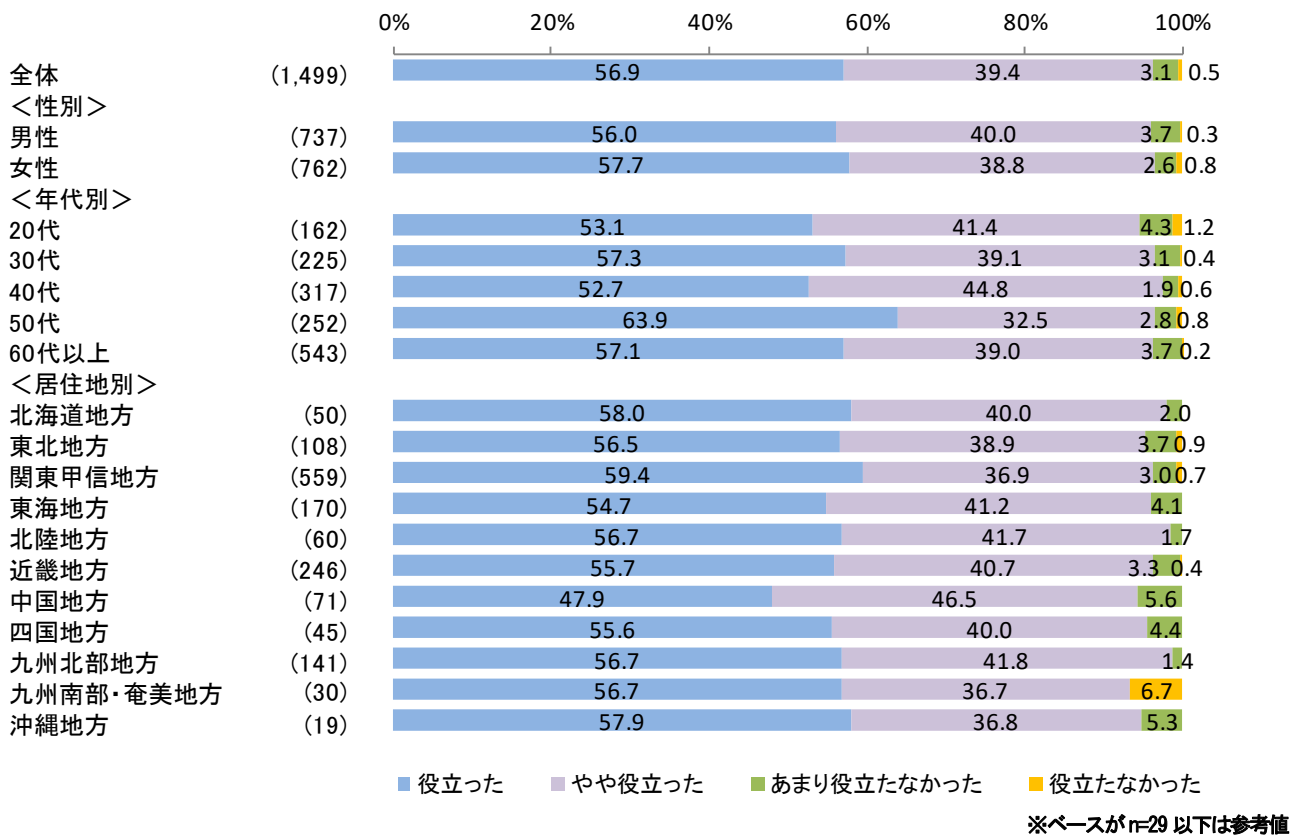
Q18. あなたが前の質問で回答した状況の時にとった行動の結果から、これらの防災気象情報はどの程度役立ちましたか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

n=1,499 ベース：大雨警報等の見聞き時の行動で、何らかの行動をとったと回答した人



大雨警報等の役立ち度について、「役に立った」が5割台半ば、「やや役に立った」が4割弱となり、合わせた大雨警報等が役に立ったと感じている方は9割台半ばとなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



性別、居住地別にみても、全体と目立った傾向は見られない。

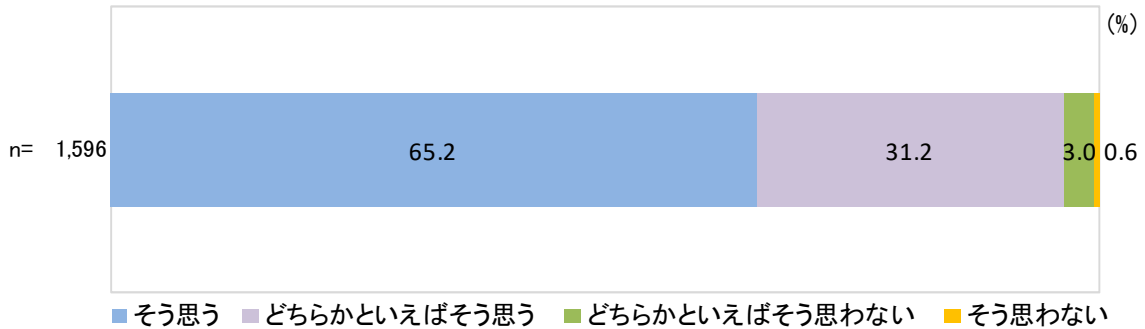
年代別にみると、50代では「役に立った」が6割台半ばと、他年代と比べ高くなっている。

(5-1) 防災気象情報への要望【災害発生の予測精度の向上】

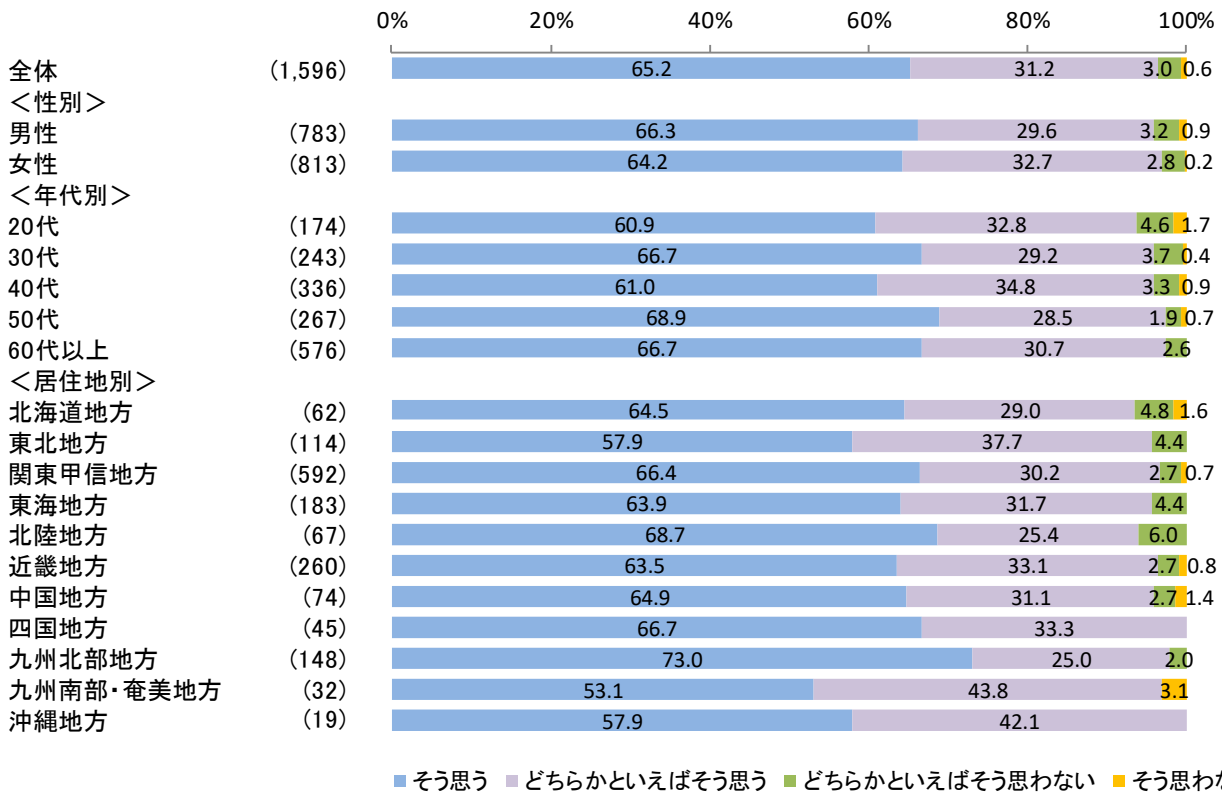
Q19. あなたは、大雨警報等や危険度分布といった防災気象情報について、どのように思いますか。
あなたの考えにもっとも近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

【1. 災害発生の予測精度を上げてほしい】

n=1,596 ベース：大雨警報等を見聞きしたことがある、または危険度分布の名前も内容も知っていると回答した人



防災気象情報へ災害発生の予測精度向上への要望について、「そう思う」が6割台半ば、「どちらかといえばそう思う」が3割強となり、合わせた災害発生の予測精度の向上の要望のある方は9割台半ばとなっている。



※ベースがn=29以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

年代別にみると、50代では「そう思う」が7割弱と、他年代に比べ高くなっている。

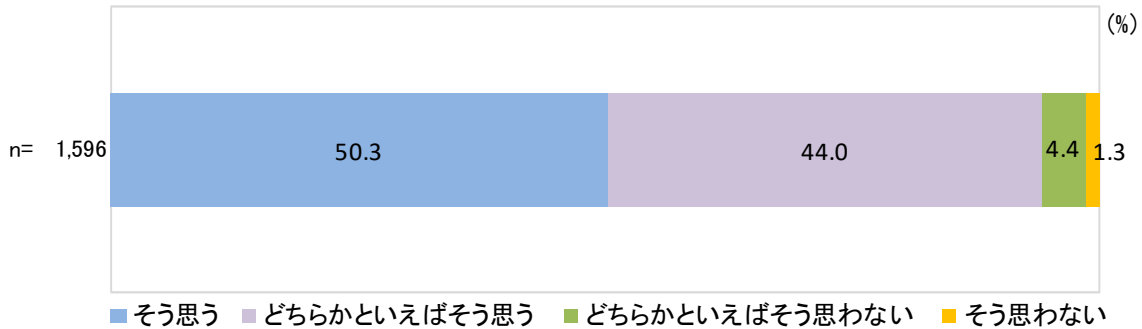
居住地別にみると、九州北部地方では「そう思う」が7割台半ばと、他居住地と比べ高くなっている。

(5-2) 防災気象情報への要望【発表のタイミングの早期化】

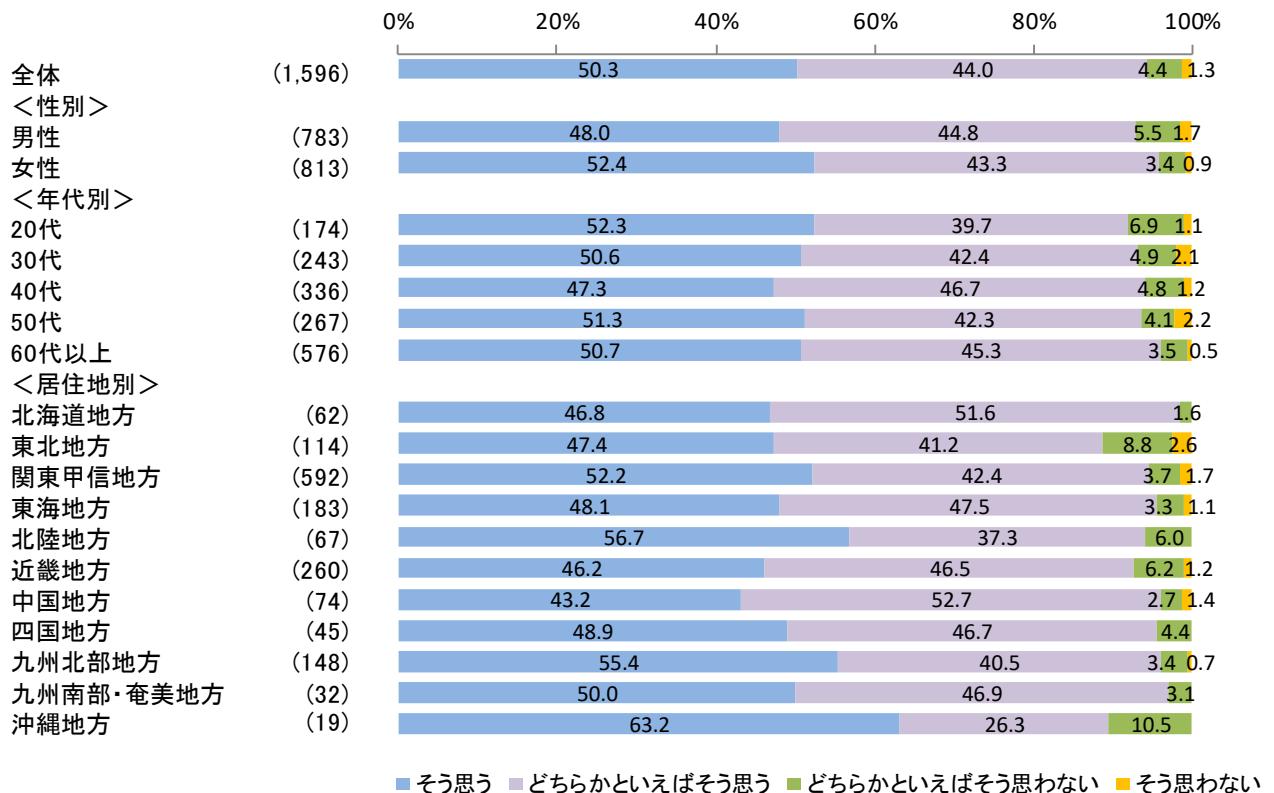
Q19. あなたは、大雨警報等や危険度分布といった防災気象情報について、どのように思いますか。
あなたの考えにもっとも近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

【2. 明るいうちから早めの対応がとれるよう発表のタイミングを早くしてほしい】

n=1,596 ベース：大雨警報等を見聞きしたことがある、または危険度分布の名前も内容も知っていると回答した人



防災気象情報へ発表のタイミングの早期化の要望について、「そう思う」が約5割、「ややそう思う」が4割台半ばとなり、合わせた発表のタイミングの早期化を求める方は9割台半ばとなっている。



※ベースがn=29以下は参考値

性別、年代別にみても、傾向に変化は見られない。

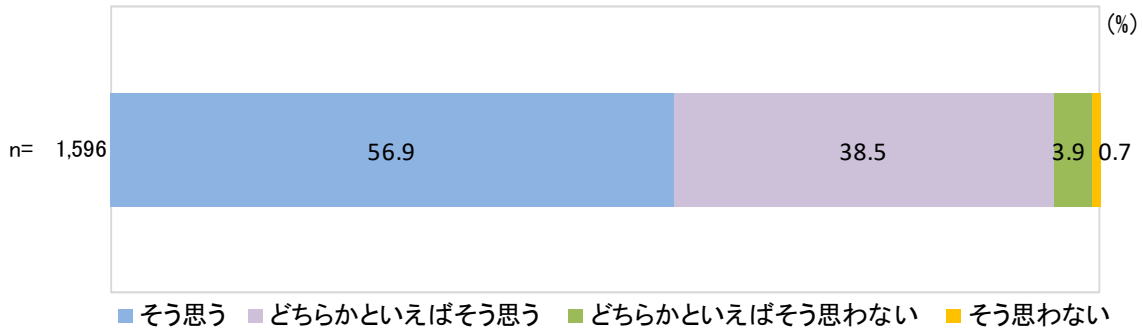
居住地別にみると、北陸地方、九州北部地方では「そう思う」が5割台半ばと、他居住地と比べ高くなっている。

(5-3) 防災気象情報への要望【現在地の危険度の明瞭化】

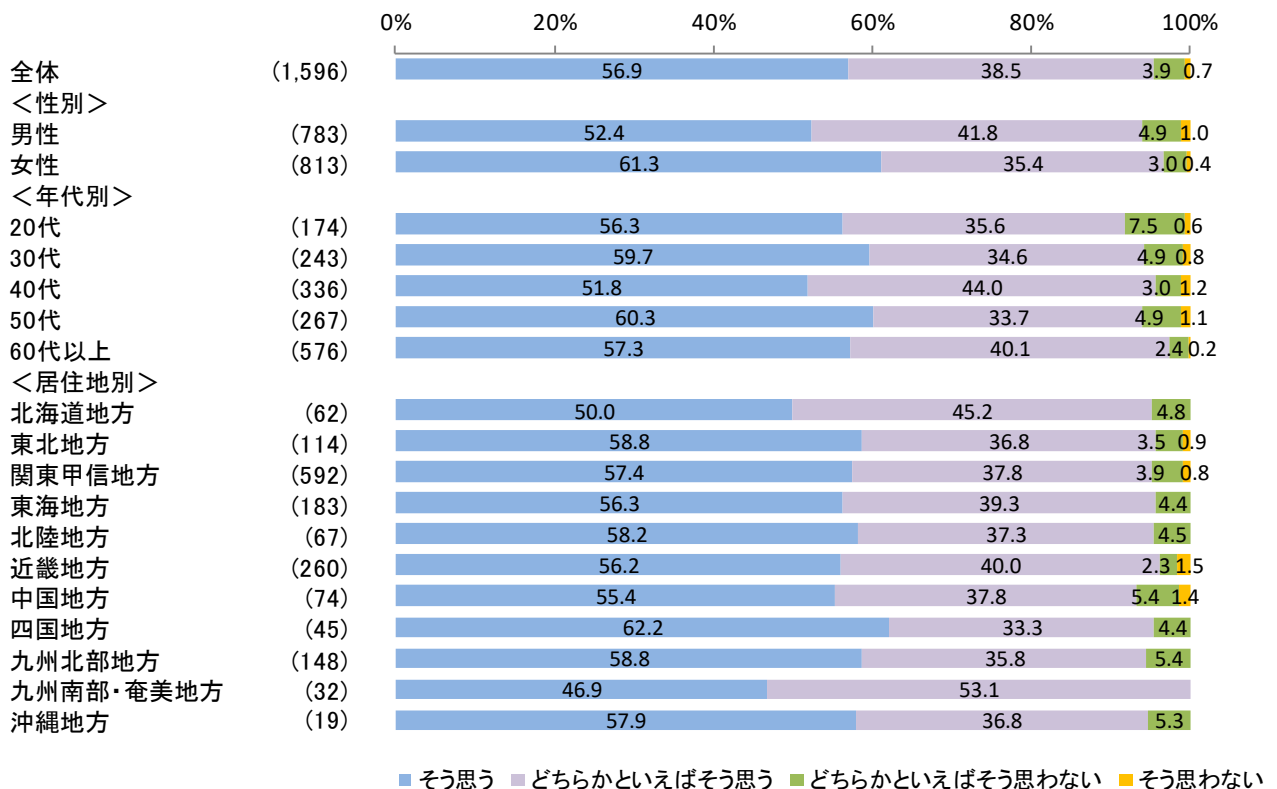
Q19. あなたは、大雨警報等や危険度分布といった防災気象情報について、どのように思いますか。
あなたの考えにもっとも近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

【3. 自分のいる地域での危険な状況（程度）をわかりやすくしてほしい】

n=1,596 ベース：大雨警報等を見聞きしたことがある、または危険度分布の名前も内容も知っていると回答した人



防災気象情報へ現在地の危険度の明瞭化の要望について、「そう思う」が5割台半ば、「ややそう思う」が4割弱となり、合わせた現在地の危険度の明瞭化を求める方は9割台半ばとなっている。



※ベースがn=29以下は参考値

性別にみると、女性では「そう思う」が6割強と、男性と比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、60代以上では「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた現在地の危険度の明瞭化を求める方の割合が10割弱と、他年代と比べ高くなっている。

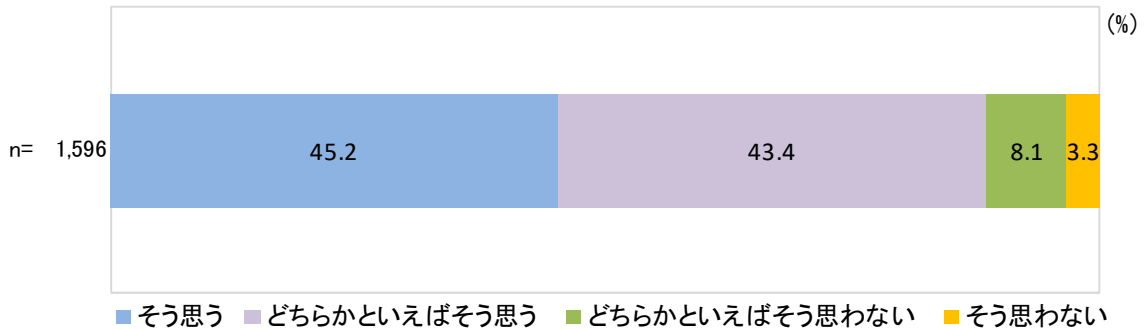
居住地別にみると、四国地方では「そう思う」が6割強と、他居住地と比べ高くなっている。

(5-4) 防災気象情報への要望【とるべき行動の判断基準】

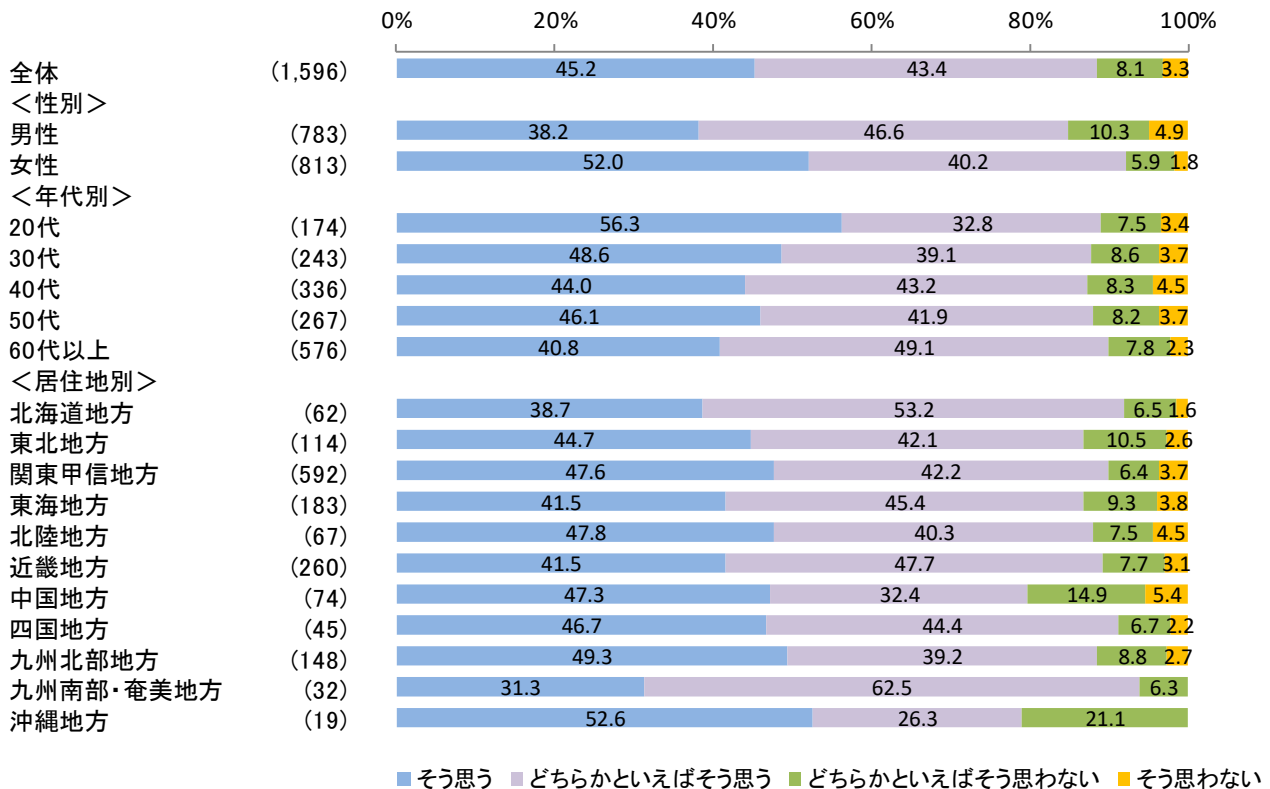
Q19. あなたは、大雨警報等や危険度分布といった防災気象情報について、どのように思いますか。
あなたの考えにもっとも近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

【4. どのように行動したらよいか判断できるようにしてほしい】

n=1,596 ベース：大雨警報等を見聞きしたことがある、または危険度分布の名前も内容も知っていると回答した人



防災気象情報へとるべき行動の判断基準の要望について、「そう思う」、「ややそう思う」がいずれも4割台半ばとなり、合わせたとるべき行動の活動基準を求める方は9割弱となっている。



※ベースがn=29以下は参考値

性別にみると、女性では「そう思う」が5割強と、男性と比べ10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、20代では「そう思う」が5割台半ばと、他年代と比べ高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

居住地別にみると、九州北部地方では「そう思う」が5割弱と、他居住地と比べ高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

(%)

		n	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら か と い え ば そ う	そ う 思 わ な い
R1	1.災害発生の予測精度を上げてほしい	1596	65.2	31.2	3.0	0.6
	2.明るいうちから早めの対応がとれるよう発表のタイミングを早くしてほしい	1596	50.3	44.0	4.4	1.3
	3.自分のいる地域での危険な状況（程度）をわかりやすくしてほしい	1596	56.9	38.5	3.9	0.7
	4.どのように行動したらよいか判断できるようにしてほしい	1596	45.2	43.4	8.1	3.3
H29	1.雨量の予測精度を上げてほしい	1854	45.8	45.4	7.2	1.6
	2.発表のタイミングを早くしてほしい	1854	42.9	45.8	9.3	1.9
	3.自分のいる地域での危険な状況（程度）をわかりやすくしてほしい	1854	44.3	47.0	7.0	1.8
	4.どのように行動したらよいか判断できるようにしてほしい	1854	29.9	50.5	15.6	4.0

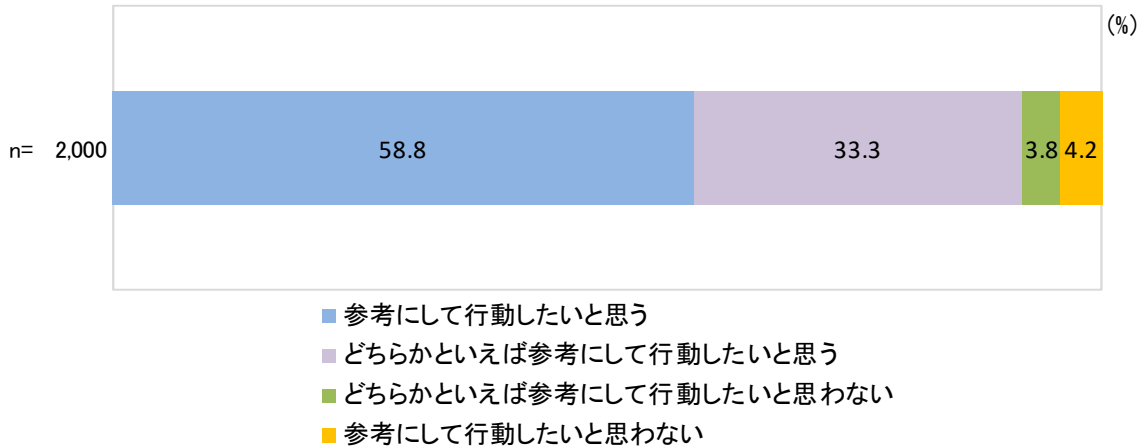
※N数について、R1は大雨警報等を見聞きしたことがある、または危険度分布の名前も内容も知っているとは回答した人、H29のN数は大雨警報等を知っていると回答した人

※【災害発生の予測精度を上げてほしい】【明るいうちから早めの対応がとれるよう発表のタイミングを早くしてほしい】については、設問の文言が異なるため、比較除外。

今年度の単純集計結果と過年度（平成29年度）の結果を比較すると、【自分のいる地域での危険な状況（程度）をわかりやすくしてほしい】【どのように行動したらよいか判断できるようにしてほしい】について、今年度では「そう思う」の割合が過年度と比べ、10ポイント以上高くなっている。

(6) 今後の防災気象情報の活用

Q20. あなたは、今後、大雨警報等や危険度分布といった防災気象情報を参考にして行動したいと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

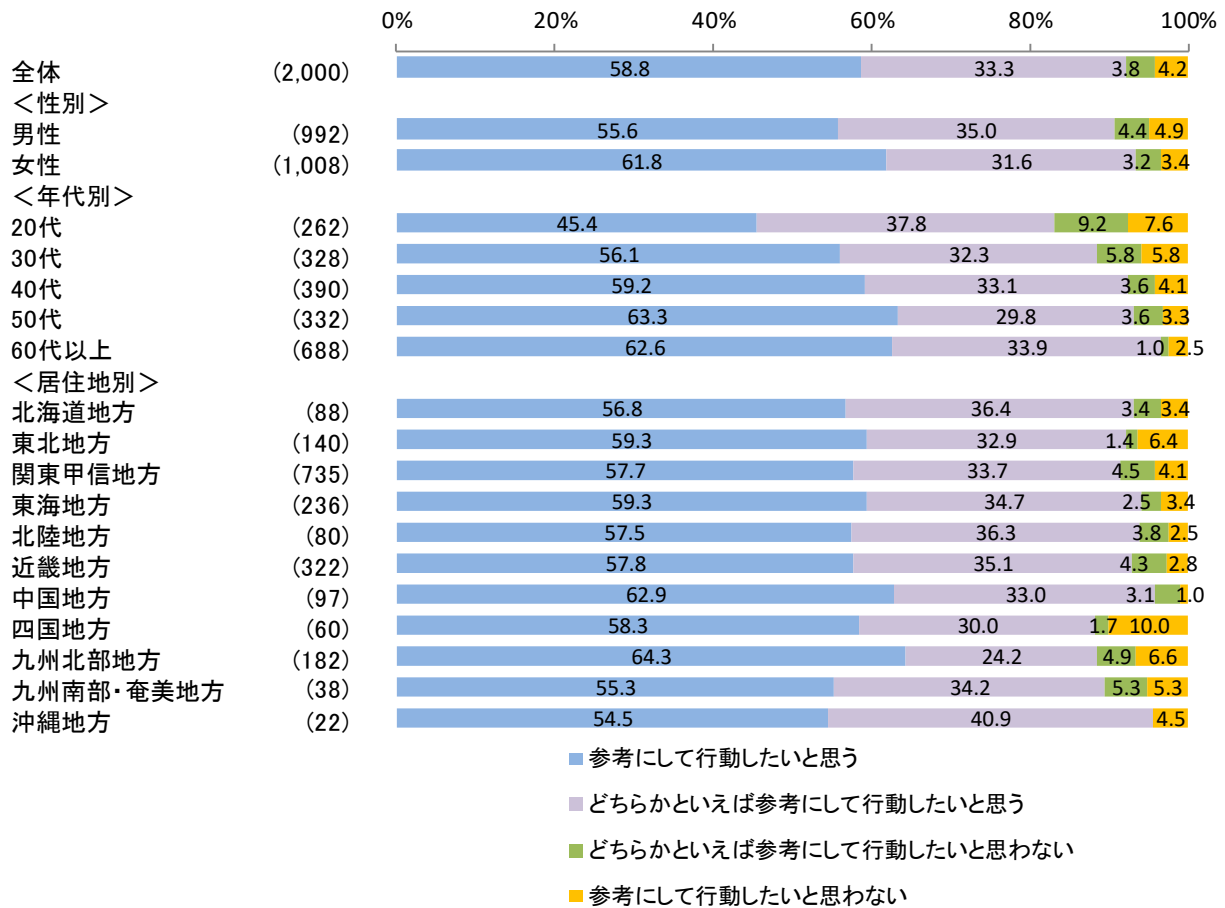


今後の防災気象情報の活用について、「参考にして行動したいと思う」が6割弱、「どちらかといえば参考にして行動したいと思う」が3割台半ばとなり、合わせた防災気象情報の活用の意思（考え）がある方は9割強となっている。

		(%)			
	n	参考 に し て 行 動 し た い と 思 う	し ど ち ら か と い え ば 参 考 に し て 行 動 し た い と 思 う	い し ど ち ら か と い え ば 参 考 に し て 行 動 し た い と 思 わ な い	参 考 に し て 行 動 し た い と 思 わ な い
R1	2000	58.8	33.3	3.8	4.2
H29	2000	62.0	32.3	3.0	2.8

今年度の単純集計結果と過年度（平成29年度）の結果を比較しても、傾向に変化は見られない。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみると、女性では「参考にして行動したいと思う」が6割強と、男性と比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、高齢層ほど、「参考にして行動したいと思う」、「どちらかといえば参考にして行動したいと思う」を合わせた防災気象情報の活用の意思（考え）がある方の割合が高くなっている。

居住地別にみると、中国地方、九州北部地方では「参考にして行動したいと思う」が6割以上と、他居住地と比べ高くなっている。

II. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	と参 考 に し て 行 動 し た い	う に ど し ち て ら い 行 か な い と 参 考 思 考	ど わ な し ち て ら い 行 か な い と 参 考 思 考	と参 考 に し て 行 動 し た い
全体		2000	58.8	33.3	3.8	4.2
Q 等 1 の 8 役 立 大 ち 雨 度 警 報	役立った	853	86.3	13.7	0.0	0.0
	やや役立った	591	49.7	47.9	2.2	0.2
	あまり役立たなかった	47	19.1	61.7	10.6	8.5
	役立たなかった	8	25.0	50.0	12.5	12.5
Q 1 ・ 災 害 リ ス ク 把 握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	745	74.4	24.0	0.8	0.8
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	340	61.8	34.1	2.9	1.2
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	516	51.7	41.5	5.0	1.7
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	175	48.0	41.7	7.4	2.9
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	224	26.8	37.5	9.4	26.3

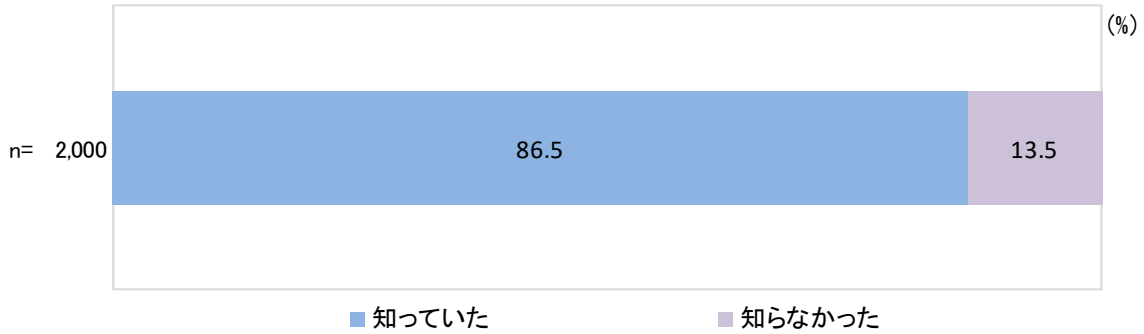
大雨警報等の役立ち度別にみると、大雨警報等の役立ち度が高まるほど、「参考にして行動したいと思う」の割合が高くなっている。

居住地の災害リスク把握別にみると、居住地の災害把握度合いが高まるほど、「参考にして行動したいと思う」の割合が高くなっている。

6. 大雨特別警報や警戒レベル等

(1) 大雨特別警報の認知度

Q21. 大雨特別警報という情報を知っていましたか。



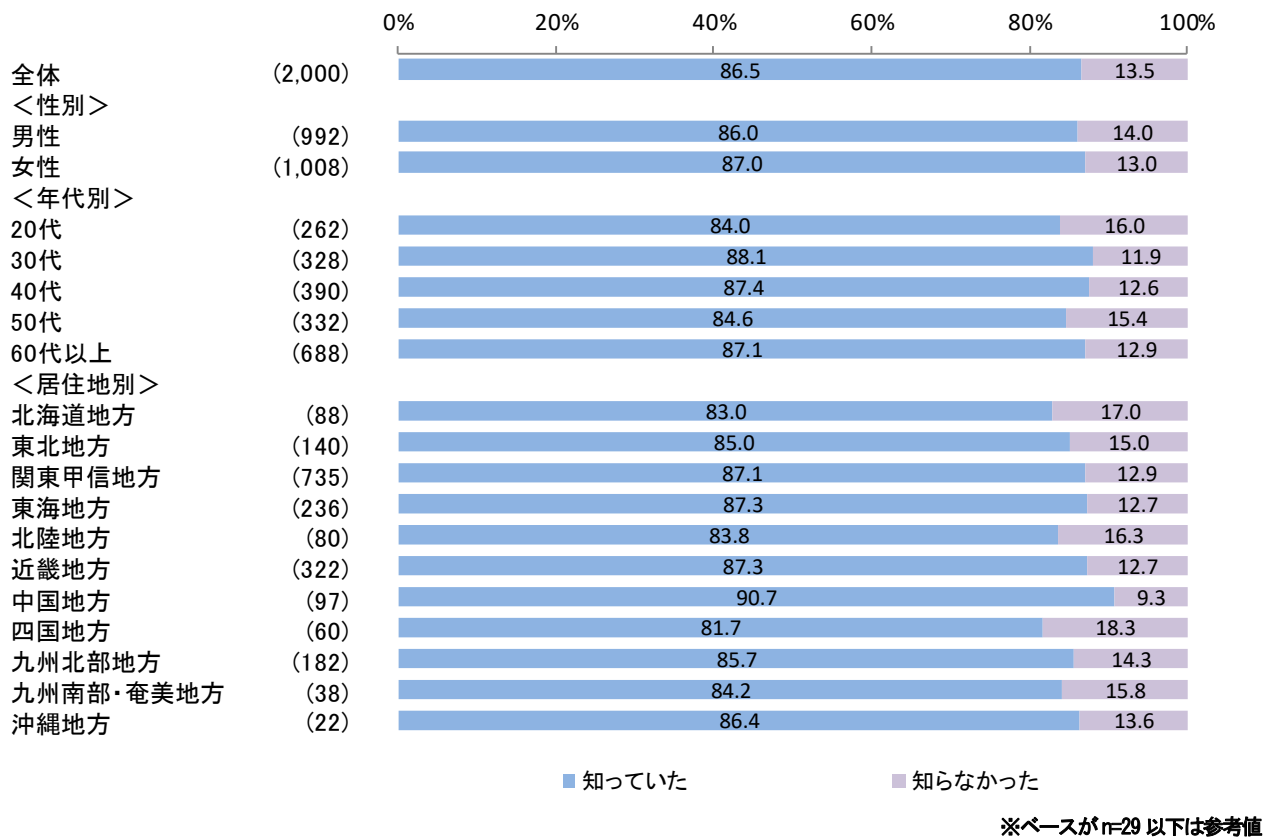
大雨特別警報の認知度について、「知っていた」が8割台半ばとなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下 (%)

	n	知っていた (%)	知らなかった (%)
R1	2000	86.5	13.5
H30	2000	76.7	23.3

今年度の単純集計結果と過年度（平成30年度）の結果を比較すると、今年度では「知っていた」が過年度と比べ、10ポイント程度高くなっており、大雨特別警報に対する認知度が高まっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



性別、年代別、居住地別にみても、傾向に変化は見られない。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

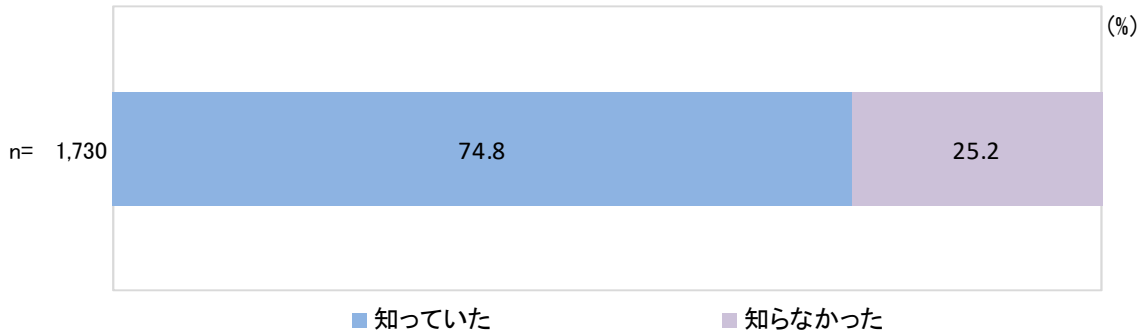
		n	知 つ て い た	知 ら な か つ た
全体		2000	86.5	13.5
Q1	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	745	95.0	5.0
・	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	340	91.8	8.2
災	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	516	84.7	15.3
害	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	175	81.1	18.9
リ	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	224	58.5	41.5
ス				
ク				
把				
握				

居住地の災害リスク把握別にみると、ハザードマップや知人や周囲の人等から聞く等して居住地の災害リスクを把握している方では「知っている」が9割以上と、他災害把握度合いと比べ、高くなっている。

(2) 適切な避難のタイミングの認知度

Q22. ハザードマップで示された浸水想定域や土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、特別警報が発表される前の段階で、安全な場所への避難を終えておく必要があるとされています。このことを知っていましたか。

n=1,730 ベース：大雨特別警報を知っていると回答した人



適切な避難のタイミングの認知度について、「知っていた」が7割台半ばとなっている。

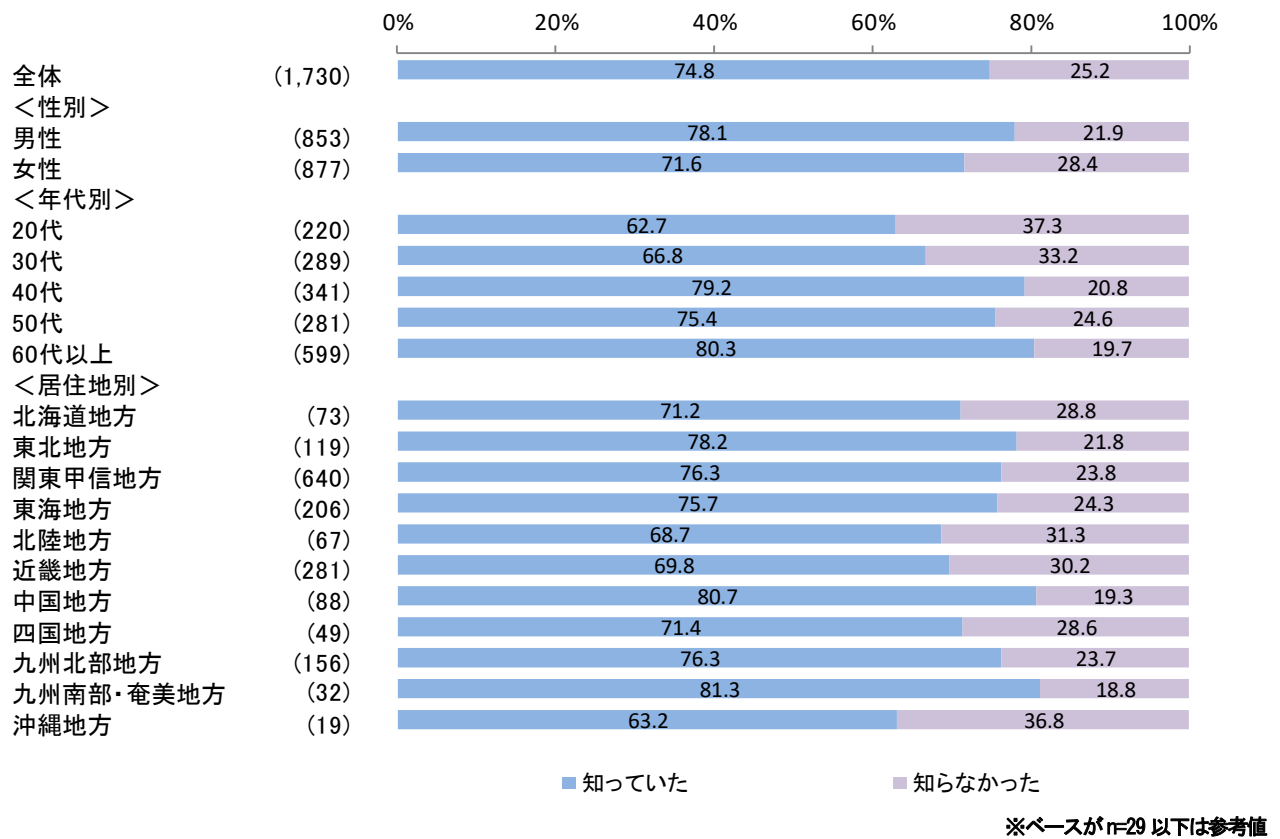
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下 (%)

	n	知っていた (%)	知らなかった (%)
R1	1730	74.8	25.2
H30	2000	49.9	50.2

※N数について、R1は大雨特別警報を知っていると回答した人、H29のN数は全数

今年度の単純集計結果と過年度（平成30年度）の結果を比較すると、「知っていた」が7割台半ばと、過年度と比べ、20ポイント以上高くなっており、適切な避難タイミングの認知度が高まっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



性別にみると、男性では「知っていた」が8割弱と、女性と比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、40代、60代以上では「知っていた」が8割前後と、他年代と比べ高くなっている。また20代、30代では「知らなかった」が3割以上と、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、中国地方、九州南部・奄美地方では「知っていた」が8割以上と、他居住地と比べ高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

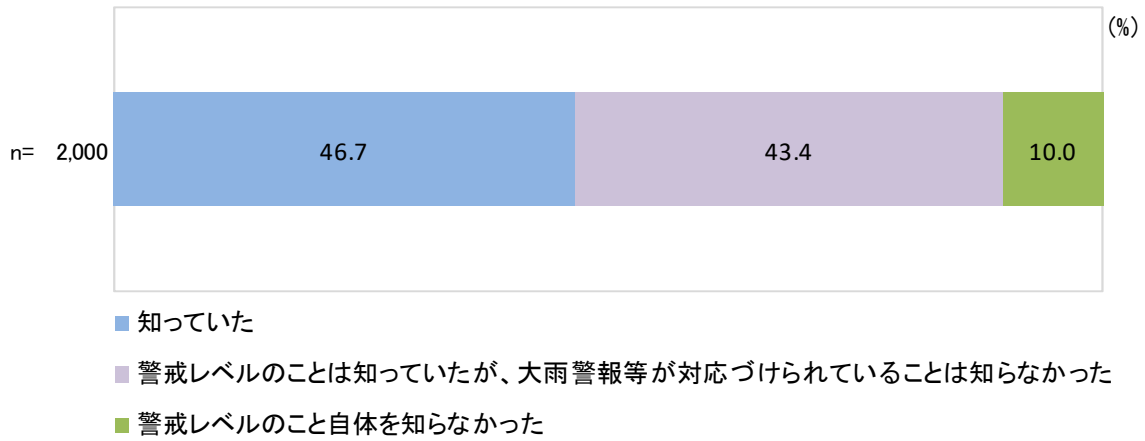
		n	知 つ て い た	知 ら な か つ た
全体		1730	74.8	25.2
Q1 ・ 災 害 リ ス ク 把 握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	708	86.7	13.3
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	312	78.8	21.2
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	437	62.0	38.0
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	142	64.8	35.2
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	131	54.2	45.8
Q1 6 ・ 分 布 の 認 知 度 危 険 度	名前を知っており、内容も理解していた	623	91.2	8.8
	名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた	526	76.0	24.0
	名前は知っていたが、このような情報は知らなかった	387	61.2	38.8
	全く知らなかった	194	45.9	54.1

居住地の災害リスク把握別にみると、「自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している」では「知っていた」が8割台半ばと、他の災害把握度合いに比べ、高くなっている。

危険度分布の認知度別にみると、「名前を知っており、内容も理解していた」では「知っていた」が9割強と、他の危険度分布の認知度に比べ、高くなっている。

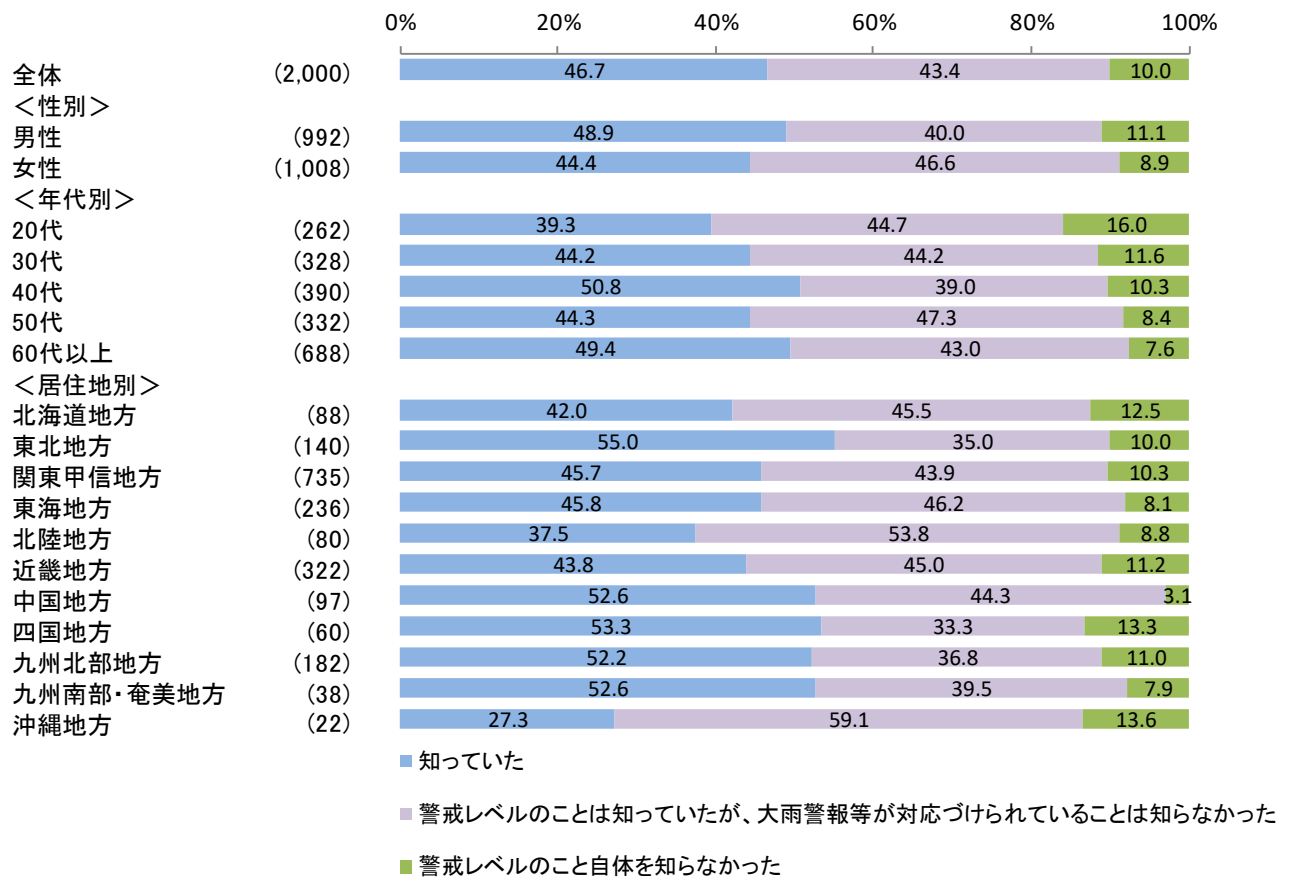
(3) 防災気象情報と警戒レベルの対応づけの認知度

Q23. あなたは、気象庁が危険度分布や大雨警報等を発表した際、それらが5段階の「警戒レベル」のどのレベルにあたるのか対応づけられていることを知っていましたか。



防災気象情報と警戒レベルの対応づけの認知度について、「知っていた」は4割台半ばとなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

年代別にみると、若年層ほど「警戒レベルのこと自体知らなかった」が高くなっている。

居住地別にみると、東北地方、中国地方、四国地方、九州北部地方、九州南部・奄美地方では「知っていた」が5割以上と、他居住地と比べ高いが、北陸地方で4割弱とは低くなっている。

II. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	知 っ て い た	て が 、 警 戒 レ ベ ル の こ と 自 体 を 知 ら な か つ た	か 警 戒 レ ベ ル の こ と 自 体 を 知 ら な か つ た
全体		2000	46.7	43.4	10.0
Q1 ・ 災 害 リ ス ク 把 握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	745	66.6	31.1	2.3
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	340	48.2	45.9	5.9
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	516	33.7	55.4	10.9
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	175	29.7	57.1	13.1
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	224	21.0	41.5	37.5
Q1 6 ・ 危 険 度 認 知 度	名前を知っており、内容も理解していた	641	74.7	23.9	1.4
	名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた	580	43.8	52.1	4.1
	名前は知っていたが、このような情報は知らなかった	453	31.1	60.5	8.4
	全く知らなかった	326	18.1	42.3	39.6

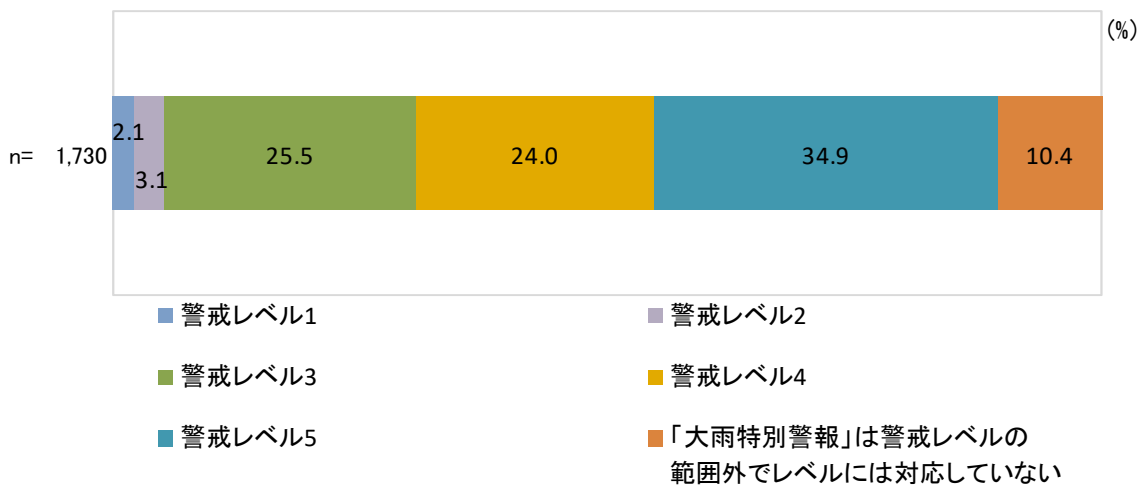
居住地の災害リスク把握度別にみると、居住地の災害把握度合いが高いほど、「知っていた」の割合が高くなっている。また、居住地の災害把握度合いが低いほど、「警戒レベルのこと自体を知らなかった」の割合が高くなっている。

危険度分布の認知度別にみると、危険度分布の認知度が高まるほど、「知っていた」の割合が高くなっている。

(4) 大雨特別警報の警戒レベルの認知度

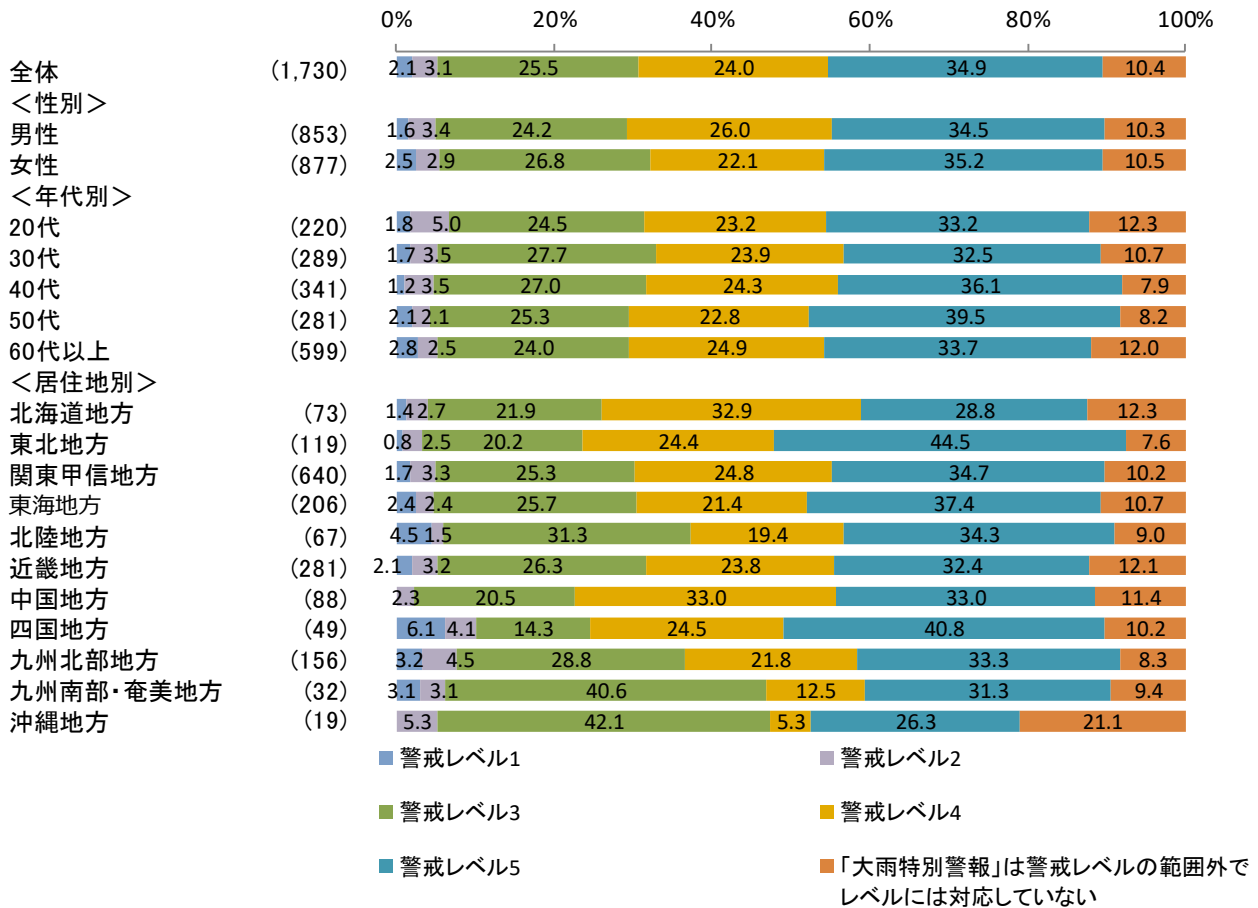
Q24 気象庁の「大雨特別警報」は、5段階の「警戒レベル」(数が大きくなるにつれて警戒度が高くなります。)のどのレベルに対応していると思いますか。

n=1,730 ベース：大雨特別警報の認知度で、知っていると回答した人



大雨特別警報の警戒レベルの認知度について、「警戒レベル5」と正しく認知している人は3割台半ばとなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

年代別にみると、50代では「警戒レベル5」が4割弱と、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、東北地方、四国地方では「警戒レベル5」が4割以上と、他居住地と比べ高くなっている。

II. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

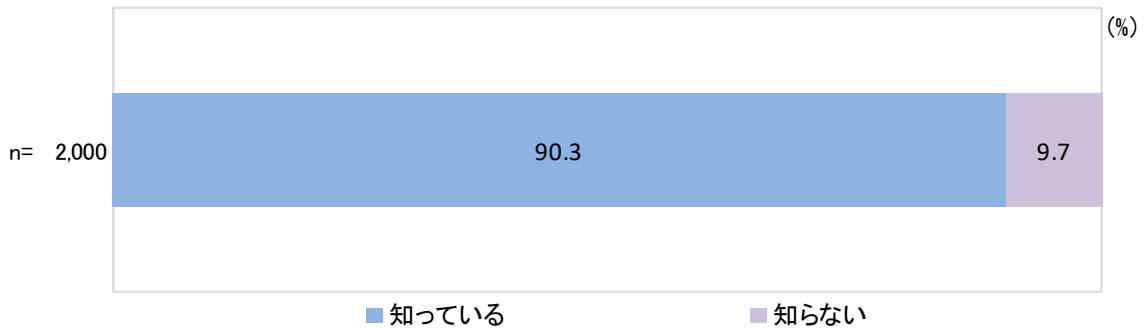
		警 戒 レ ベ ル 1	警 戒 レ ベ ル 2	警 戒 レ ベ ル 3	警 戒 レ ベ ル 4	警 戒 レ ベ ル 5	に レ 「 は ベ 大 対 ル 雨 応 の し 範 特 て 困 警 い 外 報 な で 「 い レ は ベ 警 ル 戒	
n								
全体	1730	2.1	3.1	25.5	24.0	34.9	10.4	
Q 1 ・ 災 害 リ ス ク 把 握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	708	2.8	2.5	22.9	22.6	40.4	8.8
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	312	1.6	5.1	25.3	24.4	34.0	9.6
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	437	1.4	3.2	29.7	26.1	30.0	9.6
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	142	0.7	2.1	26.8	28.9	31.0	10.6
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	131	3.1	2.3	24.4	19.1	27.5	23.7

居住地の災害リスク把握別にみると、おおむね居住地の災害リスク把握度合いが高まるほど、「警戒レベル5」であると正しく認識している人の割合が高くなっている。

7. 緊急地震速報

(1) 緊急地震速報の認知度

Q25 あなたは、「緊急地震速報」を知っていますか。

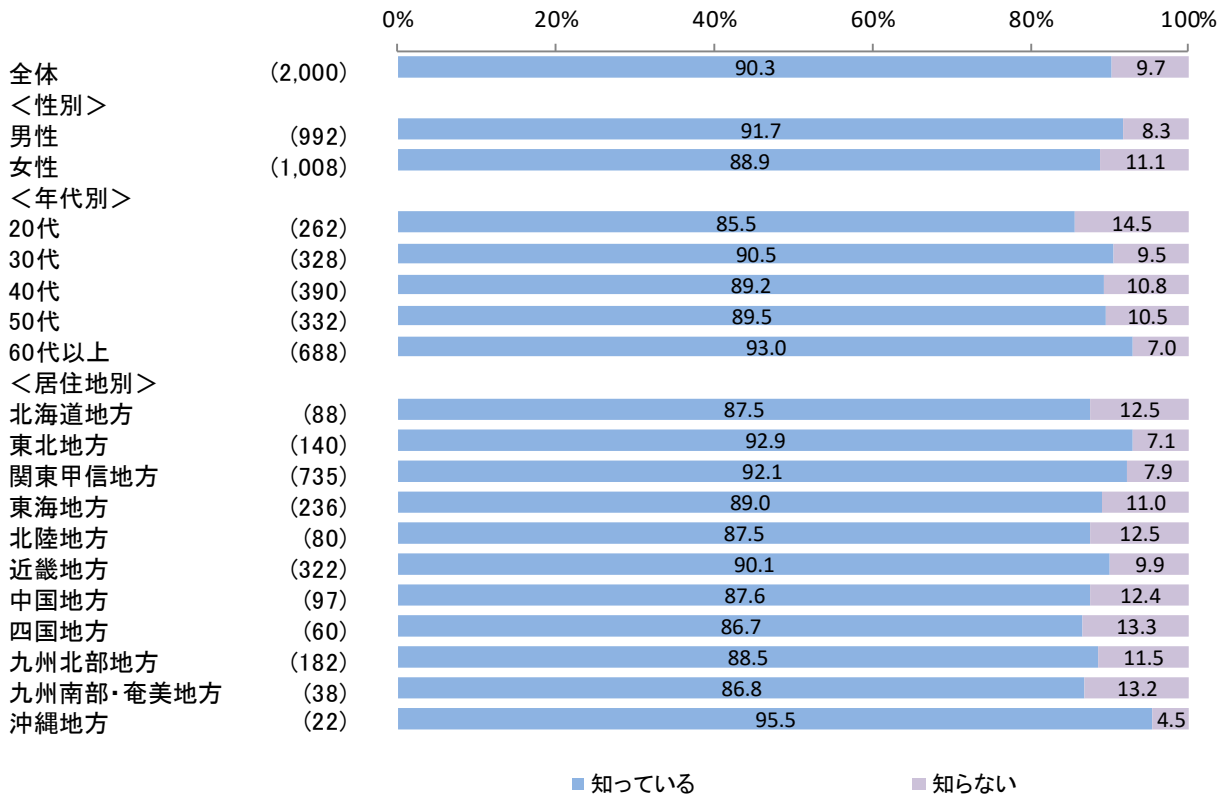


緊急地震速報の認知度について、「知っている」が約9割と大半を占めている。

	n	割合 (%)	
		知っている	知らない
R1	2000	90.3	9.7
H30	2000	94.4	5.6

今年度の単純集計結果と過年度（平成30年度）の結果を比較しても、傾向に変化は見られない。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

年代別にみると、60代以上では「知っている」が9割台半ばと、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、東北地方、関東甲信地方、近畿地方では「知っている」が9割以上と、他居住地と比べ高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

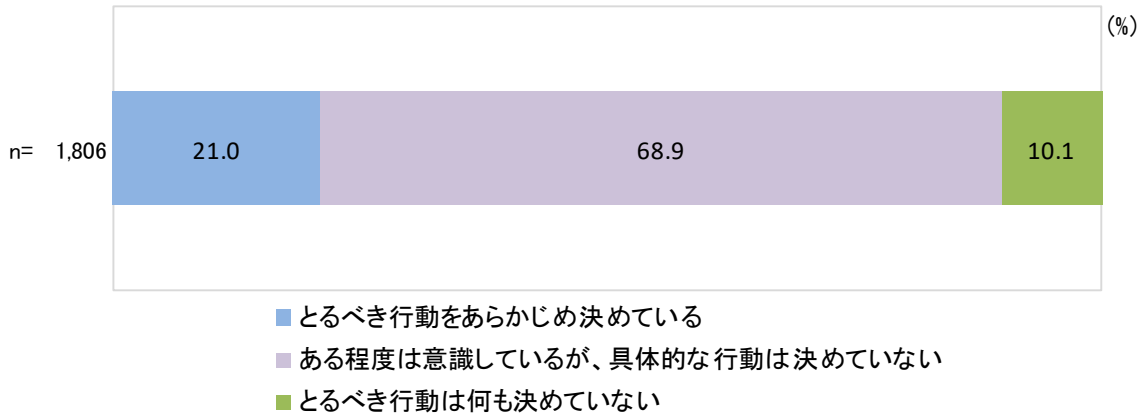
		n	知 つ て い る	知 ら な い
全体		2000	90.3	9.7
Q 1 ・ 災 害 リ ス ク 把 握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	745	96.9	3.1
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	340	92.4	7.6
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	516	90.3	9.7
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	175	86.9	13.1
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	224	67.9	32.1

居住地の災害リスク把握別にみると、居住地の災害リスク把握度が高いほど、緊急地震速報の認知度が高くなっている。

(2) 見聞き時の行動決定

Q26 あなたは、日頃から緊急地震速報を見聞きしたときにとるべき行動をあらかじめ決めていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

n=1,806 ベース：緊急地震速報を知っていると回答した人



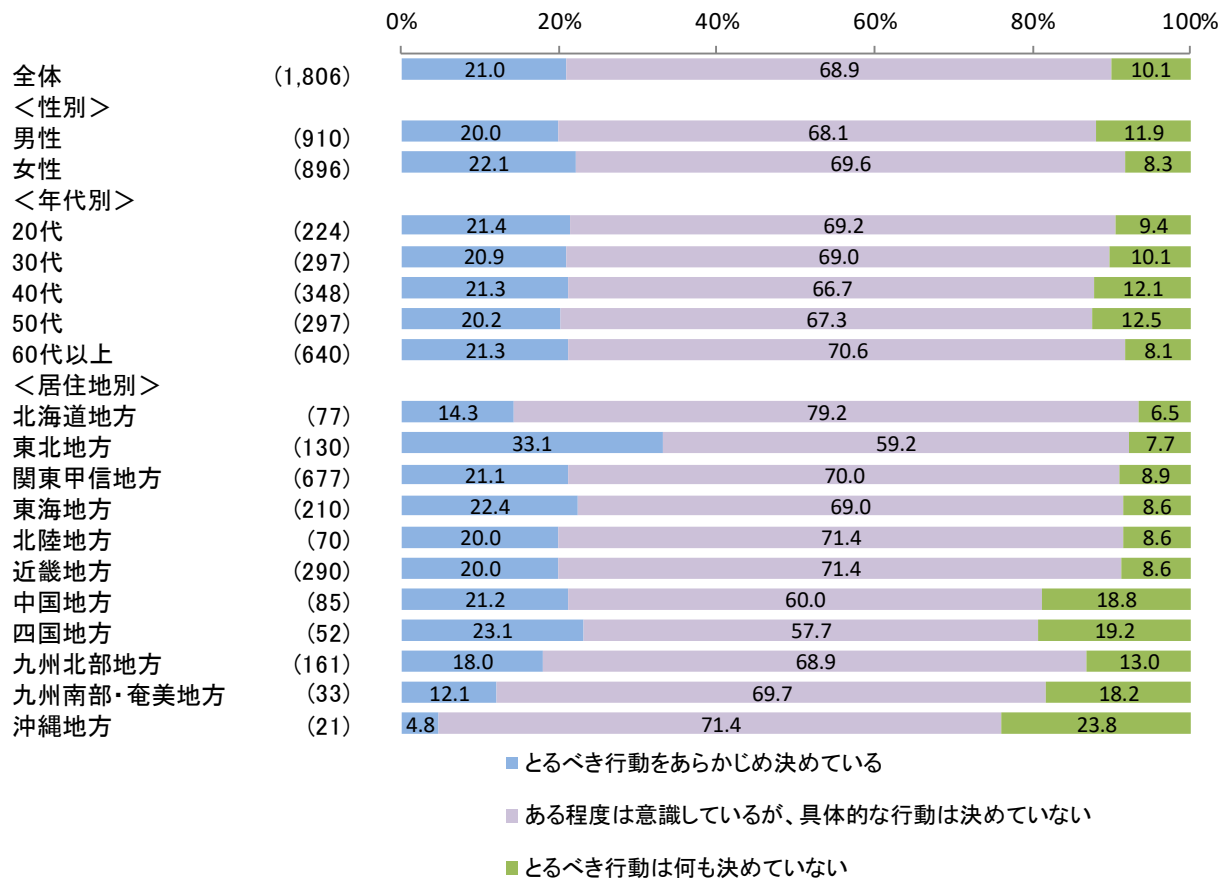
緊急地震速報の見聞き時の行動決定について、「とるべき行動をあらかじめ決めている」が2割強、「ある程度は意識しているが、具体的な行動は決めていない」が7割弱となっている。

		(%)		
	n	か と る べ き 行 動 を あ ら か じ め 決 め て い ま す	動 い あ る 程 度 は 具 体 的 な 行 動 を あ ら か じ め 決 め て い ま す	決 め て い な い 行 動 は 何 も も と り ま せ な い
R1	1806	21.0	68.9	10.1
H29	1888	20.7	68.9	10.5

※N数について、R1、H29同様、緊急地震速報を知っていると回答した人

今年度の単純集計結果と過年度（平成29年度）の結果を比較しても、傾向に変化は見られない。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

性別、年代別にみても、傾向に変化は見られない。

居住地別にみると、東北地方では「とるべき行動をあらかじめ決めている」が3割台半ばと、他居住地と比べ高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

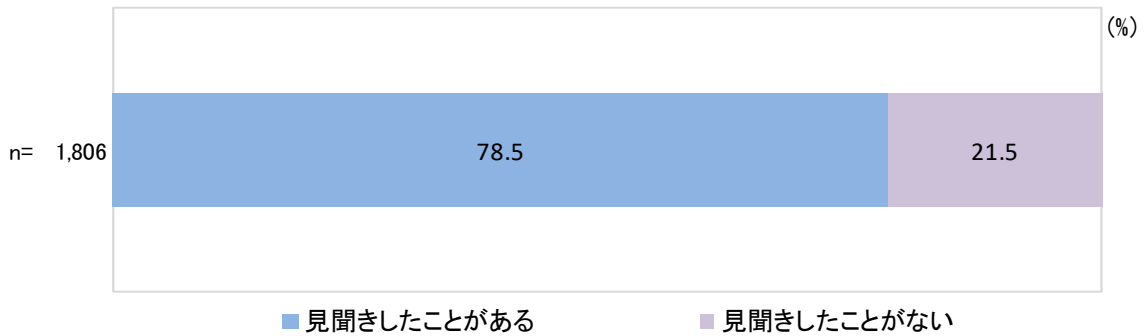
		n	じ と め る 決 め て 行 動 を あ ら か	決 め る あ ら か じ め て 行 動 を あ ら か	あ ら か じ め て 行 動 を あ ら か	め と て る い べ き な い 行 動 は 何 も 決
全体		1806	21.0	68.9	10.1	
Q 3 0 ・ 緊 急 地 震 速 報 の 役 立 ち 度	役立った	599	34.9	62.3	2.8	
	やや役立った	521	19.2	76.2	4.6	
	あまり役立たなかった	113	12.4	72.6	15.0	
	役立たなかった	17	17.6	58.8	23.5	

緊急地震速報の役立ち度別にみると、「役立った」では、「とるべき行動をあらかじめ決めている」が3割台半ばと、他の緊急地震速報の役立ち度と比べ、高くなっている。

(3) 緊急地震速報の見聞きの有無

Q27 あなたは、自分のいる地域を対象とした緊急地震速報を見聞きしたことがありますか。

n=1,806 ベース：緊急地震速報を知っていると回答した人



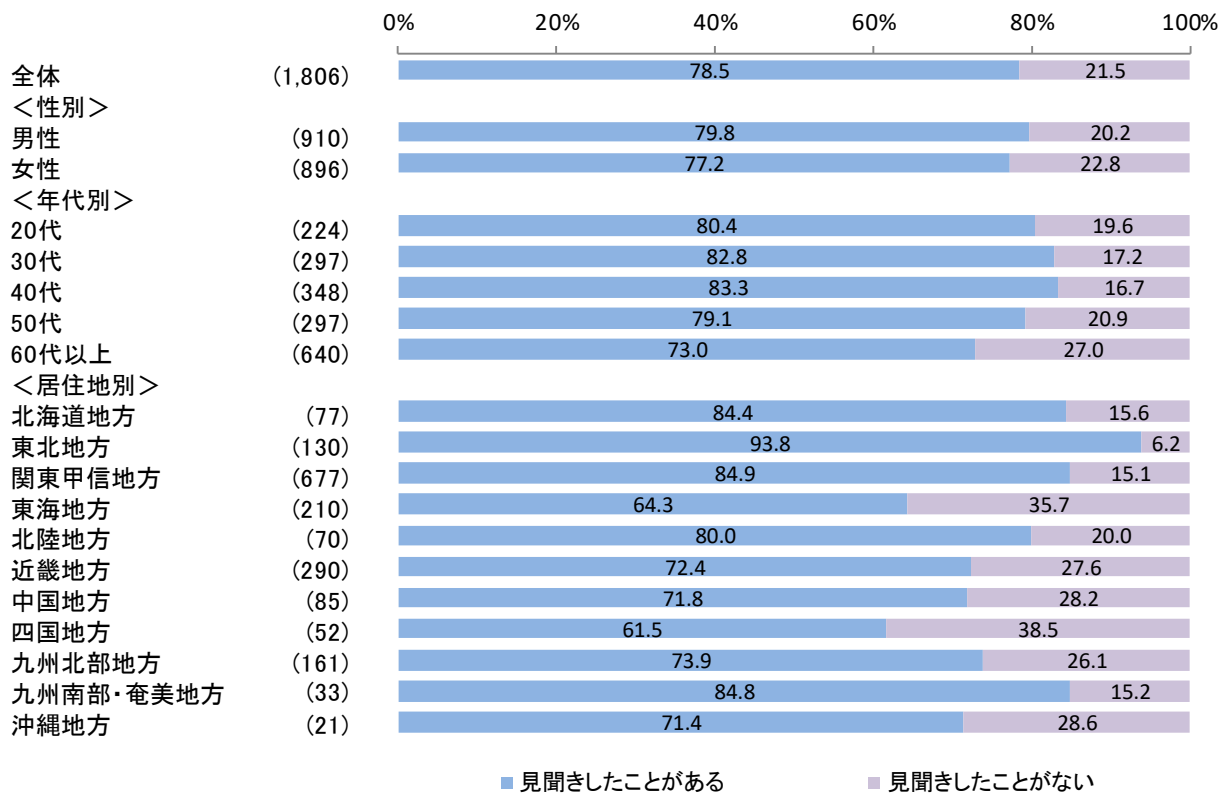
緊急地震速報の見聞きの有無について、「見聞きしたことがある」が8割弱となっている。

		(%)	
		見聞きしたことがある	見聞きしたことがない
	n		
R1	1806	78.5	21.5
H29	1888	82.1	17.9

※N数について、R1、H29同様、緊急地震速報を知っていると回答した人

今年度の単純集計結果と過年度（平成29年度）の結果を比較しても、傾向に変化は見られない。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

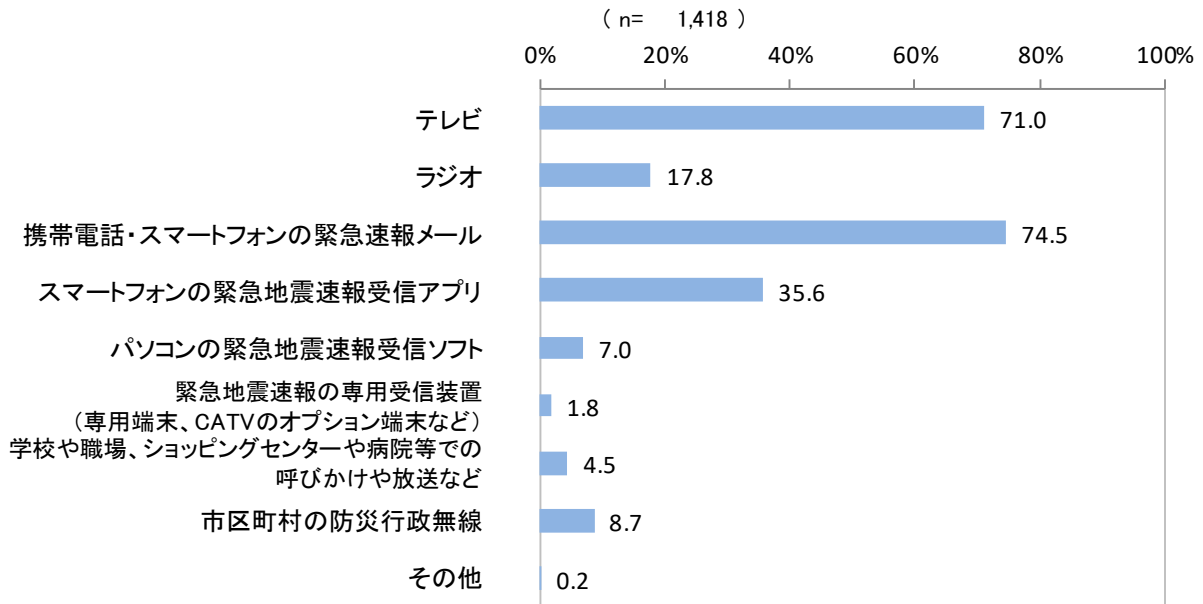
年代別にみると、60代以上では、「見聞きしたことがない」が3割弱と、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、関東甲信以北、九州南部・奄美地方では「見聞きしたことがある」が8割台半ば以上と、他居住地と比べ高くなっている。

(4) 緊急地震速報の入手手段

Q28 あなたは、自分のいる地域を対象とした緊急地震速報をどのような手段で見聞きしましたか。あてはまるものを全て選んでください。

n=1,418 ベース：緊急地震速報の見聞きの有無で、見聞きしたことがあると回答した人



緊急地震速報の入手手段について、「携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール」、「テレビ」がいずれも7割以上と最も高くなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下 (%)

	n	テレビ	ラジオ	携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール	スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ	パソコンの緊急地震速報受信ソフト	緊急地震速報の専用受信装置 (専用端末、CATVのオプション端末など)	学校や職場、ショッピングセンターや病院等での呼びかけや放送など	市区町村の防災行政無線	その他
R1	1418	71.0	17.8	74.5	35.6	7.0	1.8	4.5	8.7	0.2
H29	1550	71.0	14.3	74.0	29.5	9.1	2.8	4.6	9.2	0.3

※N数について、R1、H29同様、緊急地震速報を見聞きしたことがあると回答した人

今年度の単純集計結果と過年度（平成29年度）の結果を比較すると、今年度では「スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ」が5ポイント以上高くなっている。

II. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	テレビ	ラジオ	携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール	スマートフォンアプリの緊急地震速報受信	パソコンの緊急地震速報受信	専用端末、CATVの緊急地震速報受信	学校や職場、病院等での呼び掛けや放送など	市区町村の防災行政無線	その他
全体		1418	71.0	17.8	74.5	35.6	7.0	1.8	4.5	8.7	0.2
性別	男性	726	68.5	22.2	73.7	37.3	8.4	1.9	4.0	7.3	0.1
	女性	692	73.7	13.2	75.3	33.8	5.5	1.7	5.1	10.1	0.3
年代別	20代	180	68.3	14.4	69.4	44.4	4.4	1.7	10.0	7.8	0.0
	30代	246	66.3	15.9	74.8	36.6	4.1	1.2	5.3	8.1	0.4
	40代	290	73.4	21.7	71.7	34.1	3.8	1.4	3.1	11.0	0.0
	50代	235	67.2	20.4	79.6	35.3	12.3	2.1	5.5	7.2	0.4
	60代以上	467	74.9	16.3	75.4	32.8	8.8	2.4	2.4	8.6	0.2
	居住地別	北海道地方	65	81.5	21.5	72.3	33.8	3.1	0.0	3.1	4.6
東北地方		122	77.0	23.0	81.1	38.5	9.8	1.6	4.9	8.2	0.0
関東甲信地方		575	71.7	15.8	75.5	33.7	4.7	1.2	3.1	8.0	0.5
東海地方		135	70.4	13.3	67.4	43.7	8.9	3.0	7.4	8.1	0.0
北陸地方		56	67.9	21.4	67.9	41.1	7.1	5.4	8.9	17.9	0.0
近畿地方		210	62.4	19.0	75.2	36.7	9.5	2.9	5.2	7.1	0.0
中国地方		61	72.1	13.1	77.0	34.4	8.2	0.0	3.3	6.6	0.0
四国地方		32	65.6	15.6	81.3	37.5	9.4	6.3	12.5	18.8	0.0
九州北部地方		119	75.6	21.0	73.9	32.8	7.6	1.7	4.2	10.1	0.0
九州南部・奄美地方		28	64.3	21.4	71.4	35.7	7.1	0.0	3.6	14.3	0.0
沖縄地方	15	73.3	33.3	53.3	6.7	20.0	0.0	0.0	13.3	0.0	

性別にみると、女性では「テレビ」が7割台半ばと、男性と比べ5ポイント以上高くなっている。また男性では「ラジオ」が2割強と、女性と比べ5ポイント以上高くなっている。

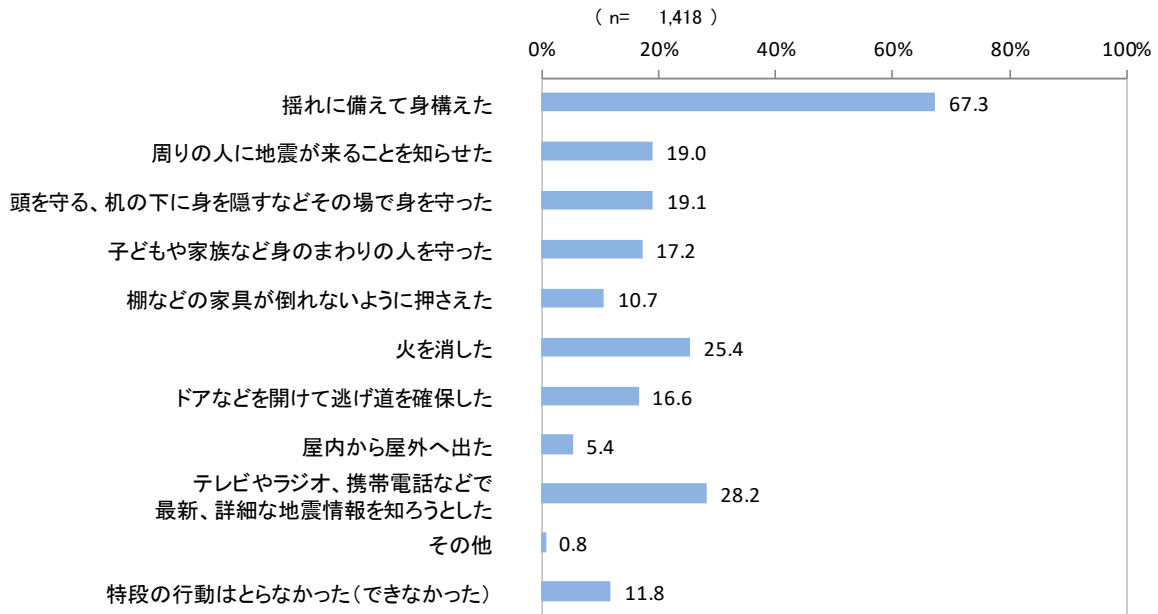
年代別にみると、20代では「スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ」が4割台半ばと、他年代と比べ高くなっている。50代では「携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール」が8割弱と、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、東北以北では、「テレビ」が8割前後と、他居住地と比べ高くなっている。

(5) 緊急地震速報の見聞き時の行動

Q29 あなたは、自分のいる地域を対象とした緊急地震速報を見聞きして、どのような行動をとったことがありますか。あてはまるものを全て選んでください。

n=1,418 ベース：緊急地震速報の見聞きの有無で、見聞きしたことがあると回答した人



緊急地震速報の見聞き時の行動について、「揺れに備えて身構えた」が7割弱と最も高くなっており、次いで「テレビやラジオ、携帯電話などで最新、詳細な地震情報を知ろうとした」が3割弱、「火を消した」が2割台半ばとなっている。

		* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下												(%)
	n	揺れに備えて身構えた	周りの人に地震が来ることを知らせた	頭を守る、机の下に身を隠すなどその場で身を守った	子どもや家族など身のまわりの人を守った	棚などの家具が倒れないように押さえた	火を消した	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	屋内から屋外へ出た	テレビやラジオ、携帯電話などで最新、詳細な地震情報を知ろうとした	その他	きいた	いなか	特段の行動はとらなかった
R1	1418	67.3	19.0	19.1	17.2	10.7	25.4	16.6	5.4	28.2	0.8	11.8		
H29	1550	62.6	19.1	13.8	13.9	8.8	23.2	13.8	4.8	34.4	0.6	14.1		

※N数について、R1、H29同様、緊急地震速報を見聞きしたことがあると回答した人

今年度の単純集計結果と過年度（平成29年度）の結果を比較すると、今年度では「頭を守る、机の下に身を隠すなどその場で身を守った」が2割弱と、過年度と比べ、5ポイント以上高くなっている。また今年度では「テレビやラジオ、携帯電話などで最新、詳細な地震情報を知ろうとした」が3割弱と、過年度と比べ5ポイント以上低くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	揺れに備えて身構えた	周りの人に地震が来ることを知らせた	頭を守る、机の下に身を隠すなどその場で身を守った	子どもや家族など身のまわりの人を守った	棚などの家具が倒れないように押さえた	火を消した	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	屋内から屋外へ出た	報道などで最新、詳細な地震情報を知ろうとした	テレビやラジオ、携帯電話	その他	特段の行動はとらなかった（できなかった）
全体	1418	67.3	19.0	19.1	17.2	10.7	25.4	16.6	5.4	28.2	0.8	11.8	
性別													
男性	726	63.9	19.7	18.2	15.3	10.9	20.2	13.1	7.0	24.5	0.6	14.9	
女性	692	70.8	18.2	20.1	19.2	10.5	30.8	20.2	3.8	32.1	1.0	8.7	
年代													
20代	180	63.9	26.1	23.9	17.2	9.4	24.4	22.2	8.9	15.6	0.6	11.7	
30代	246	65.4	23.6	24.8	30.1	9.3	19.5	13.8	4.9	23.2	1.6	14.2	
40代	290	69.7	20.3	23.1	26.9	10.3	21.7	12.8	4.8	28.3	0.7	10.3	
50代	235	68.9	21.3	14.0	11.9	12.3	22.6	12.8	5.1	29.4	0.4	15.3	
60代以上	467	67.2	11.8	14.3	7.1	11.3	32.5	20.1	4.9	35.1	0.6	9.9	
地方予報区別													
北海道地方	65	67.7	12.3	12.3	20.0	15.4	21.5	12.3	0.0	36.9	0.0	13.8	
東北地方	122	76.2	18.9	22.1	22.1	14.8	36.1	25.4	10.7	30.3	0.8	6.6	
関東甲信地方	575	71.0	22.6	17.6	16.9	12.0	31.0	22.1	4.2	29.0	0.7	10.1	
東海地方	135	58.5	23.0	28.1	11.9	9.6	22.2	11.1	4.4	31.9	1.5	14.1	
北陸地方	56	62.5	16.1	10.7	14.3	7.1	28.6	19.6	8.9	41.1	0.0	10.7	
近畿地方	210	65.7	14.3	18.6	20.0	8.6	17.6	10.5	5.2	22.9	0.5	16.7	
中国地方	61	57.4	9.8	26.2	14.8	8.2	21.3	9.8	4.9	31.1	0.0	14.8	
四国地方	32	75.0	12.5	25.0	15.6	15.6	25.0	18.8	15.6	12.5	6.3	6.3	
九州北部地方	119	60.5	16.0	17.6	17.6	7.6	12.6	5.9	6.7	23.5	0.8	10.1	
九州南部・奄美地方	28	64.3	10.7	21.4	17.9	0.0	14.3	3.6	7.1	21.4	0.0	21.4	
沖縄地方	15	53.3	40.0	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	26.7	

性別にみると、女性では「火を消した」が約3割と、男性と比べ10ポイント以上高くなっている。

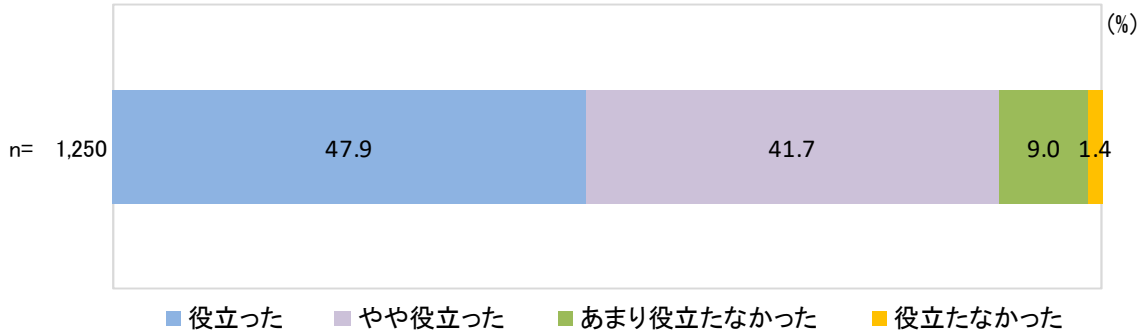
年代別にみると、30代、40代では「子どもや家族など身のまわりの人を守った」が2割台半ば以上と、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、東北地方、関東甲信地方では、「火を消した」が3割以上と、他居住地と比べ高くなっている。

(6) 緊急地震速報の役立ち度

Q30 あなたが、緊急地震速報を見聞きしてとった行動の結果、緊急地震速報はどの程度役立ったと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

n=1,250 ベース：緊急地震速報の見聞き時の行動で、何らかの行動をとったと回答した人



緊急地震速報の役立ち度について、「役に立った」が5割弱、「やや役に立った」が4割強となり、合わせた緊急地震速報が役立った方は9割弱となっている。

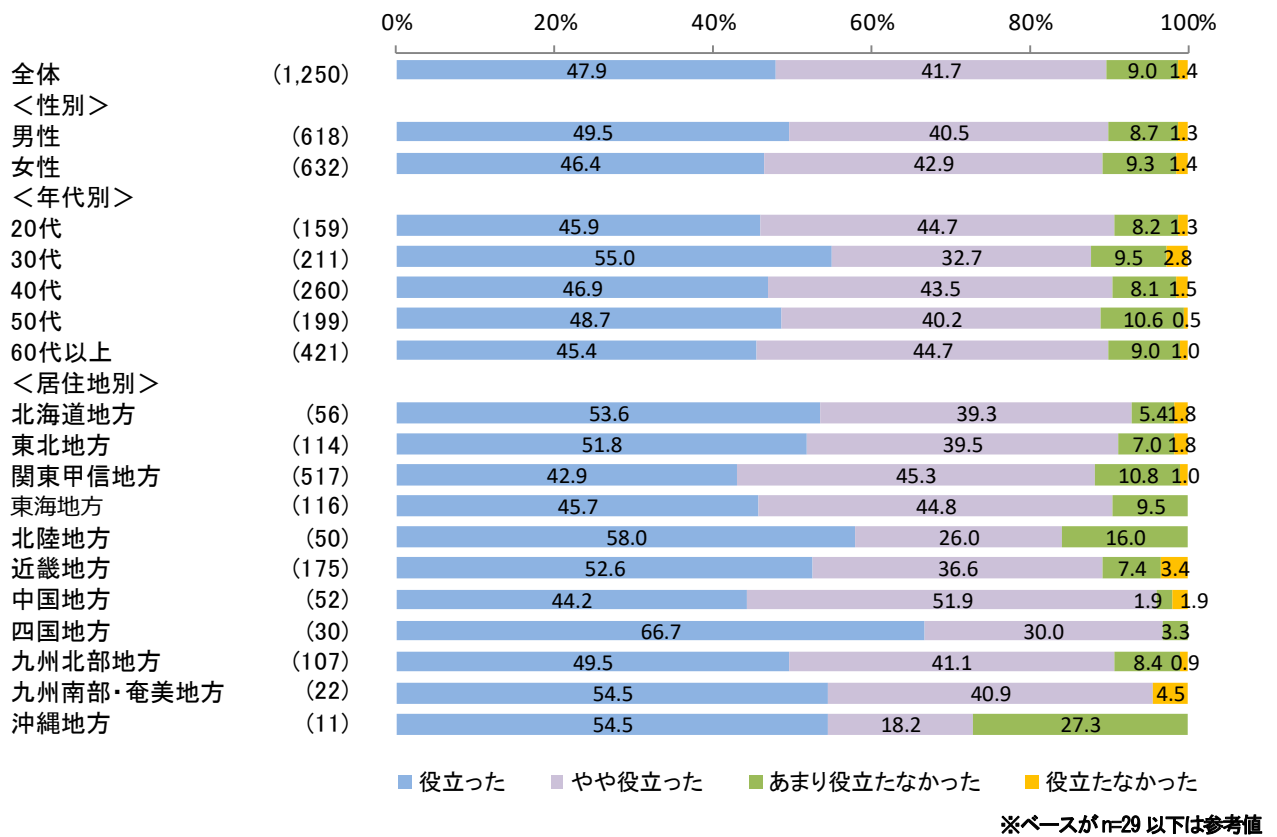
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下 (%)

	n	役に 立 っ た	や や 役 立 っ た	あ ま り 役 立 た な か っ た	役 立 た な か っ た
R1	1250	47.9	41.7	9.0	1.4
H29	1331	43.4	39.1	15.9	1.5

※N数について、R1、H29同様、緊急地震速報を見聞き時に何らかの行動をとったと回答した人

今年度の単純集計結果と過年度（平成 29 年度）の結果を比較すると、今年度では、「役に立った」と「やや役に立った」をあわせた緊急地震速報が役立った方が過年度と比べ、5ポイント以上高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



性別にみても、傾向に変化は見られない。

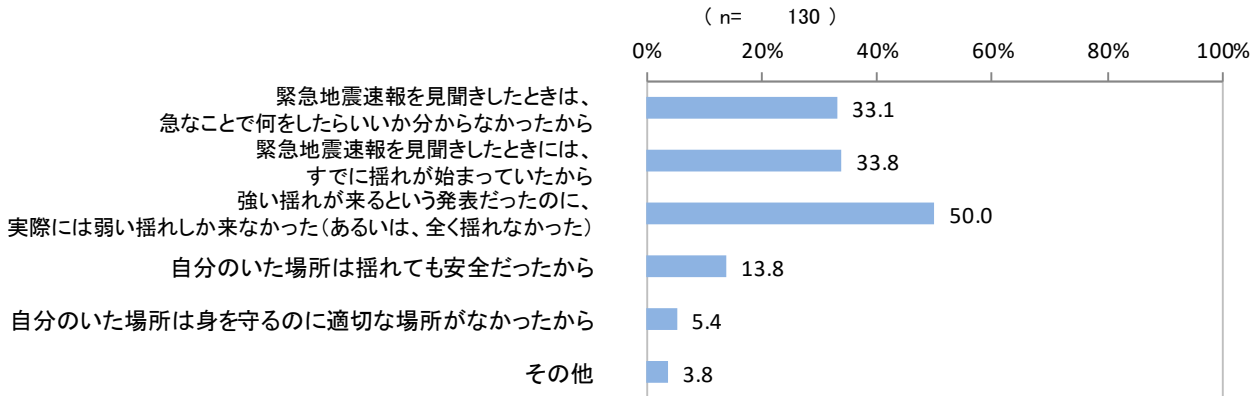
年代別にみると、30代では「役に立った」が5割台半ばと、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、四国地方では「役に立った」が6割台半ばと、他居住地と比べ高くなっている。

(7) 緊急地震速報を見聞きしてとった行動が役立たなかったと思う理由

Q31 緊急地震速報を見聞きしてとった行動の結果は、あなたにとって、どのような点で「あまり役立たなかった」または「役立たなかった」と思いましたか。あてはまるものを全て選んでください。

n=130 ベース：緊急地震速報の役立ち度で、役立たなかったと回答した人



緊急地震速報を見聞きしてとった行動が役立たなかったと思う理由について、「強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかった(あるいは、全く揺れなかった)から」が約5割と最も高くなっており、次いで「緊急地震速報を見聞きしたときには、すでに揺れが始まっていたから」、「緊急地震速報を見聞きしたときは、急なことで何をしたらいいか分からなかったから」がいずれも3割台半ばとなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下 (%)

	n	いき急か、地震速報を見聞きしたとき	まつき急地震速報を見聞きした	はれだ強、しついかた揺れか、来るとい(あはう発表から)	安自か、分のたつた場所には揺れても	かの自に分の適切な場所がな身を守った	その他
R1	130	33.1	33.8	50.0	13.8	5.4	3.8
H29	232	25.9	25.0	64.7	16.8	3.4	4.3

※N数について、R1、H29同様、緊急地震速報の役立ち度で、役立たなかったと回答した人

今年度の単純集計結果と過年度(平成29年度)の結果を比較すると、今年度では「緊急地震速報を見聞きしたときには、すでに揺れが始まっていたから」、「緊急地震速報を見聞きしたときは、急なことで何をしたらいいか分からなかったから」がいずれも3割台半ばと、過年度と比べ、5ポイント以上高くなっている。一方、「強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかった」は10ポイント以上低くなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	いき いは か分 から な な か つ た か ら	緊急 地震 速報 を見 聞き した ら	ま と き に は 速 報 を 見 聞き が 始 た	緊急 地震 速報 を見 聞き が 始 た	い 揺 れ か つ た あ る	だ れ し た の に 、 実 際 に は 弱 い	安 全 だ つ た 場 所 は 揺 れ て も	自 分 の た た か ら	か ら の 適 切 な 場 所 が な か つ た	自 分 の た た か ら	そ の 他
全体		130	33.1	33.8	50.0	13.8	5.4	3.8					
性別	男性	62	27.4	33.9	53.2	11.3	6.5	3.2					
別	女性	68	38.2	33.8	47.1	16.2	4.4	4.4					

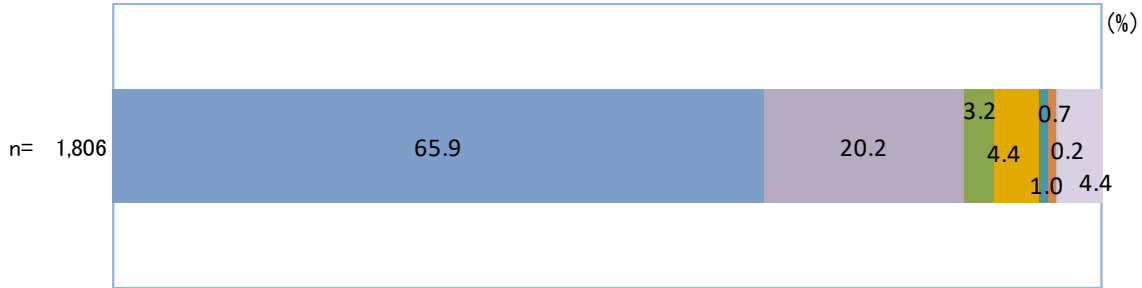
性別にみると、女性では「緊急地震速報を見聞きしたときは、急なことで何をしたらいいか分からなかったから」が4割弱と、男性と比べ10ポイント以上高くなっている。

年代別、居住地別はサンプル数が少ないため、グラフを省略した。

(8-1) 緊急地震速報に期待すること【最も期待すること】

Q32 あなたは、緊急地震速報について、何を期待しますか。
最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。

n=1,806 ベース：緊急地震速報を知っていると回答した人



- 緊急地震速報の発表から強い揺れが到達するまでの時間(猶予時間)を長くしてほしい
- 震度(地震の揺れの強さ)の予測精度を上げてほしい・現状より小さい地震の予測も伝えてほしい
- 外国人や高齢の方、耳や目が不自由な方に伝わりやすくする工夫をしてほしい
- 地震の揺れが来るまでの短時間で何が出来るのかを周知・広報してほしい
- 緊急地震速報を使って日頃から訓練できる仕組みを作ってほしい
- より手軽に緊急地震速報が受けられるようにしてほしい
- その他
- 特にない

緊急地震速報に最も期待することについて、「緊急地震速報の発表から強い揺れが到達するまでの時間(猶予時間)を長くしてほしい」が6割台半ば、「震度(地震の揺れの強さ)の予測精度を上げてほしい・現状より小さい地震の予測も伝えてほしい」が約2割となっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

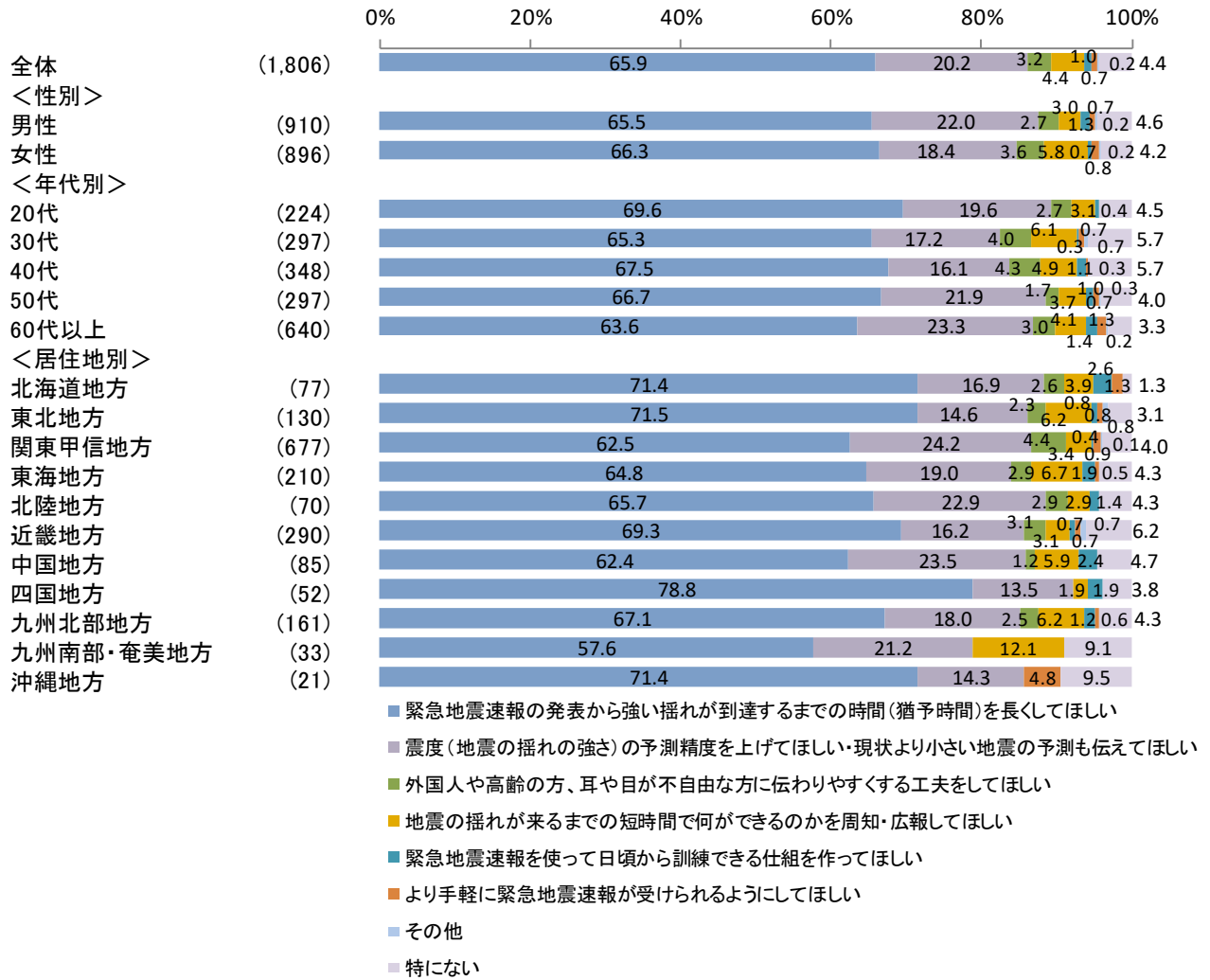
	n	1. 最も期待すること	2. 2番目に期待すること	3. 3番目に期待すること	4. その他	5. 特にない
全体	1806	65.9	20.2	3.2	0.7	0.2
R1	1806	16.2	46.2	8.4	15.3	0.1
H29	1806	5.5	10.4	22.1	30.1	0.2
全体	1888	53.1	29.3	1.4	3.0	0.3
R1	1888	22.8	42.1	4.2	6.2	0.5
H29	1888	6.1	7.7	19.4	10.4	0.2

※N数について、R1、H29同様、緊急地震速報を知っていると回答した人

今年度の単純集計結果と過年度(平成29年度)の結果を比較すると、今年度も過年度同様、【最も期待すること】では「緊急地震速報の発表から強い揺れが到達するまでの時間(猶予時間)を長くしてほしい」が最も高付3-89

II. アンケート調査結果

く、今年度では6割台半ばと、過年度と比べ、10ポイント以上高くなっている。



※ベースがn=29以下は参考値

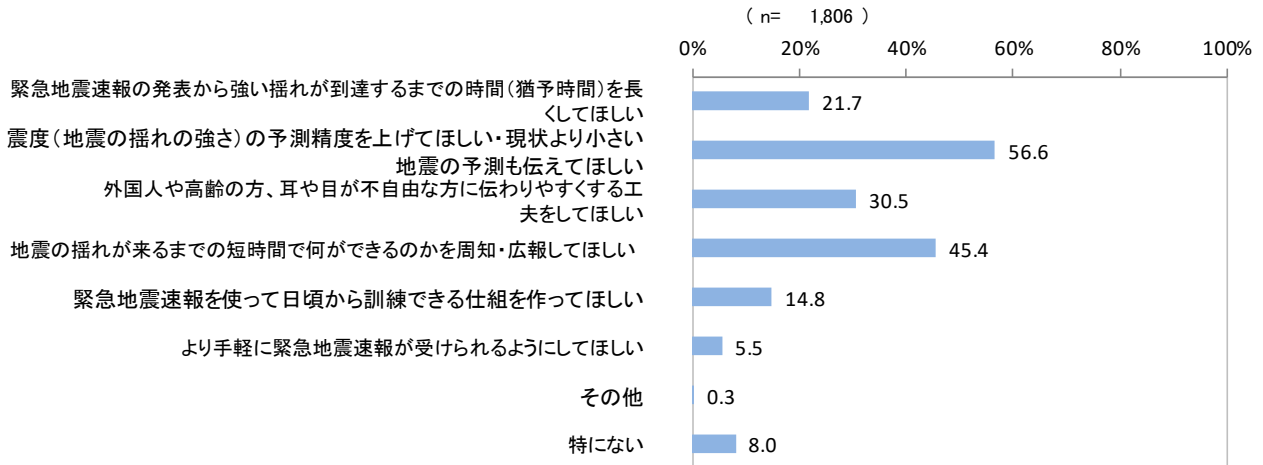
性別、年代別にみても、全体と目立った傾向は見られない。

居住地別にみると、四国地方では「緊急地震速報の発表から強い揺れが到達するまでの時間(猶予時間)を長くしてほしい」が8割弱と、他居住地と比べ高くなっている。

(8-2) 緊急地震速報に期待すること【2番目、3番目に期待すること(複数回答)】

Q32 あなたは、緊急地震速報について、何を期待しますか。
最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。

n=1,806 ベース：緊急地震速報を知っていると回答した人



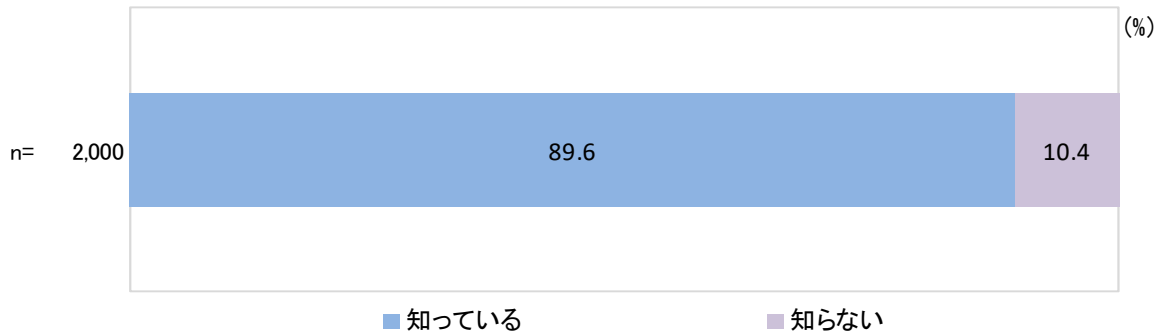
※選択肢は2番目と3番目の期待することの合算の値で、「特になし」のみ、2番目、3番目のどちらも回答した方の割合とした。

緊急地震速報に2番目以降に期待することについて、「震度(地震の揺れの強さ)の予測精度を上げてほしい・現状より小さい地震の予測も伝えてほしい」が5割台半ば、「地震の揺れが来るまでの短時間で何が出来るのかを周知・広報してほしい」がいずれも4割台半ばとなっている。

8. 南海トラフ地震

(1) 南海トラフ地震の認知度

Q33 あなたは、「南海トラフ地震」を知っていますか。



南海トラフ地震の認知度について、「知っている」が9割弱となっている。



※ベースがn=29以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

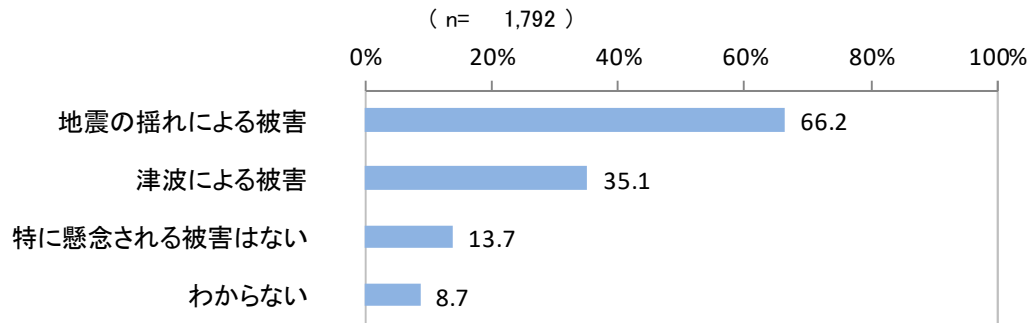
年代別にみると、40代、60代以上では「知っている」が9割強と、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、東海地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州北部地方、九州南部・奄美地方では「知っている」が9割以上と、他居住地と比べ高くなっている。

(2) 南海トラフ地震発生時に居住地で懸念される被害

Q34 「南海トラフ地震」が発生した時に、お住まいの地域で懸念される被害は何でしょうか。
(いくつでも)

n=1,792 ベース：南海トラフ地震の認知度で、知っていると回答した人



南海トラフ地震発生時に居住地で懸念される被害について、「特に懸念される被害はない」、「わからない」を除いた何らかの被害があるとした方は8割弱となっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	地震の揺れによる被害	津波による被害	な特に懸念される被害は	わからない
全体		1792	66.2	35.1	13.7	8.7
性別	男性	903	66.6	38.8	14.0	6.5
	女性	889	65.9	31.4	13.5	10.9
年代別	20代	209	67.0	46.4	7.2	11.5
	30代	288	64.9	41.0	12.8	10.1
	40代	361	65.1	37.1	11.6	10.2
	50代	297	64.3	32.3	15.5	9.1
	60代以上	637	68.1	28.9	16.6	6.1
	居住地別	北海道地方	72	33.3	36.1	34.7
東北地方		124	31.5	30.6	37.1	18.5
関東甲信地方		642	69.9	32.2	10.7	8.9
東海地方		221	83.7	39.8	3.2	3.6
北陸地方		66	53.0	21.2	25.8	16.7
近畿地方		304	75.0	37.5	8.9	3.3
中国地方		91	69.2	37.4	12.1	6.6
四国地方		55	90.9	50.9	0.0	1.8
九州北部地方		164	52.4	32.9	20.1	14.0
九州南部・奄美地方		34	67.6	50.0	14.7	5.9
沖縄地方		19	26.3	47.4	31.6	21.1

性別にみても、傾向に変化は見られない。

年代別にみると、若年層ほど「津波による被害」の割合が高くなっている。

居住地別にみると、東海地方、四国地方では「地震の揺れによる被害」が8割以上と、他居住地と比べ高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

- * ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
- * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	地震の揺れによる被害	津波による被害	な特 い に 懸 念 さ れ る 被 害 は	わ か ら な い
全体		1792	66.2	35.1	13.7	8.7
Q フ 3 地 5 震 の 南 海 情 報 ト ラ	どのような情報が知っている	519	73.4	45.5	12.3	2.3
	聞いたことはあるが、どのような情報かは知らない	915	65.7	33.8	13.2	8.6
	知らない	358	57.3	23.5	17.0	18.2
の Q ベ 3 認 知 度 行 動 と	知っている	596	74.8	44.1	9.9	1.5
	知らない	838	64.0	33.7	15.0	9.8

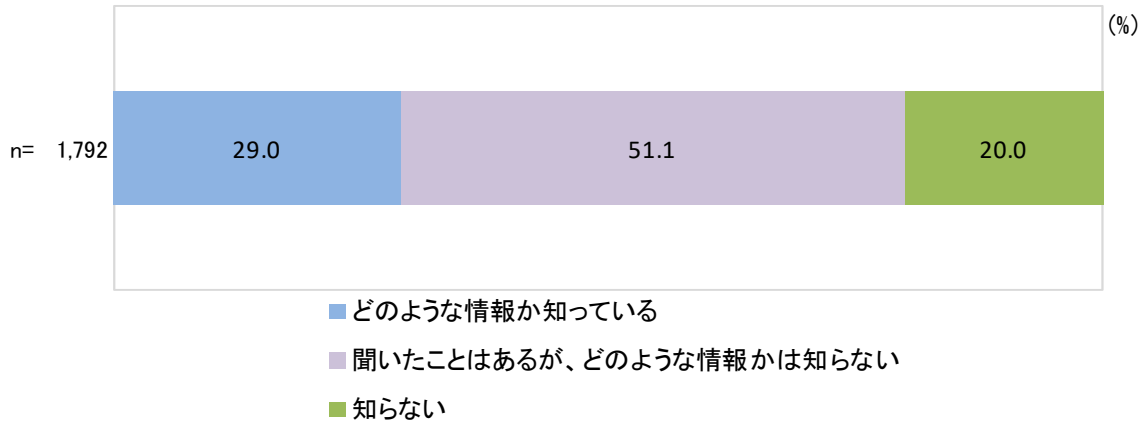
南海トラフ地震の情報の認知度別にみると、南海トラフ地震の認知度が高まるほど、居住地で懸念される被害の認知度は高くなっている。

南海トラフ地震臨時情報が発表された後のとるべき行動の認知度別にみると、とるべき行動を「知っている」では、居住地で懸念される被害の認知度は高くなっている。

(3) 南海トラフ地震に関する情報の認知度

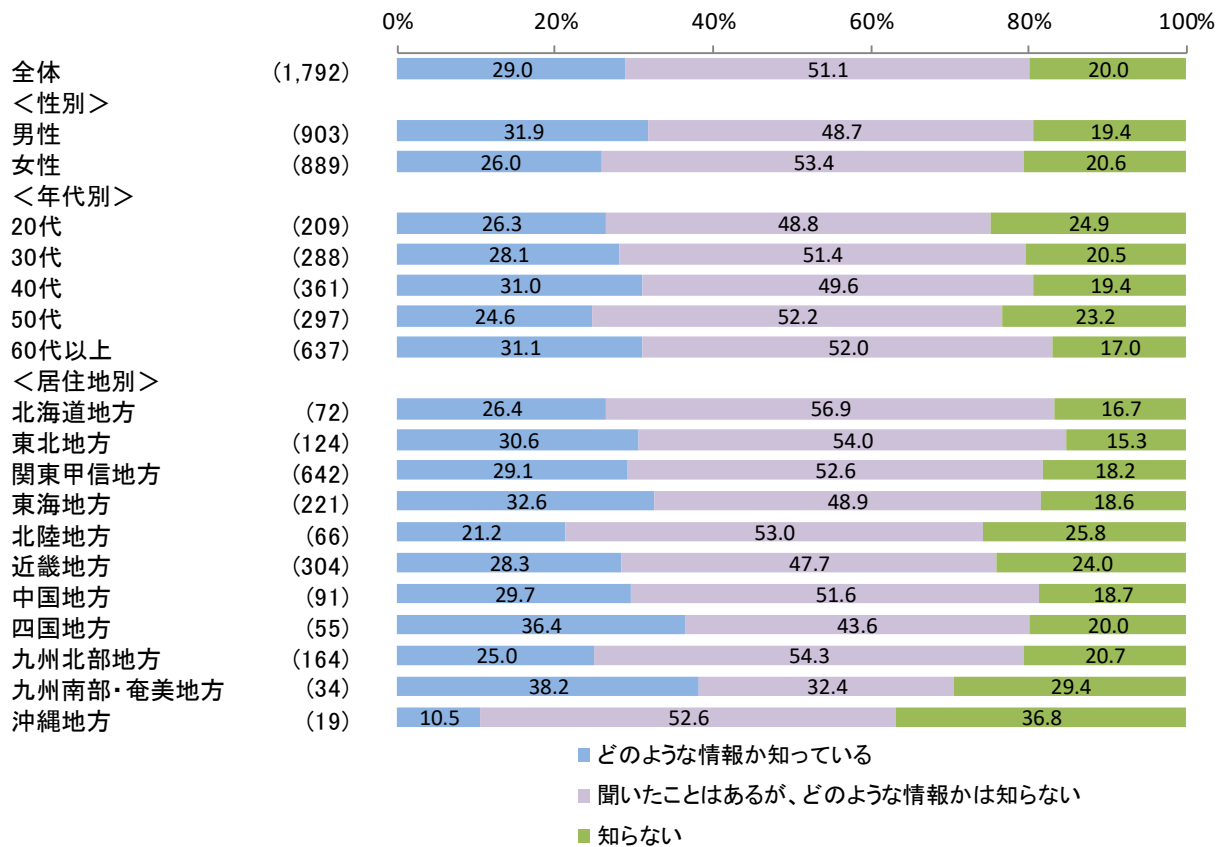
Q35 あなたは、気象庁が発表する南海トラフ地震に関する情報（「南海トラフ地震臨時情報」）を知っていますか。

n=1,792 ベース：南海トラフ地震の認知度で、知っていると回答した人



南海トラフ地震に関する情報の認知度について、「どの様な情報が知っている」が3割弱、「聞いたことはあるが、どの様な情報かは知らない」が5割強となっている。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

性別にみると、男性では「どのような情報か知っている」が3割強と、女性と比べ5ポイント以上高くなっている。

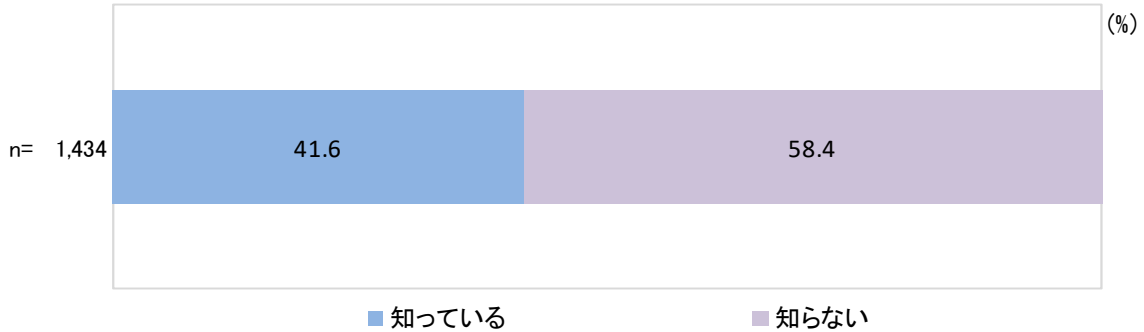
年代別にみると、40代、60代以上では、「どのような情報か知っている」が3割強と、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、四国地方、九州南部・奄美地方では「どのような情報か知っている」が3割台半ば以上と、他居住地と比べ高くなっている。

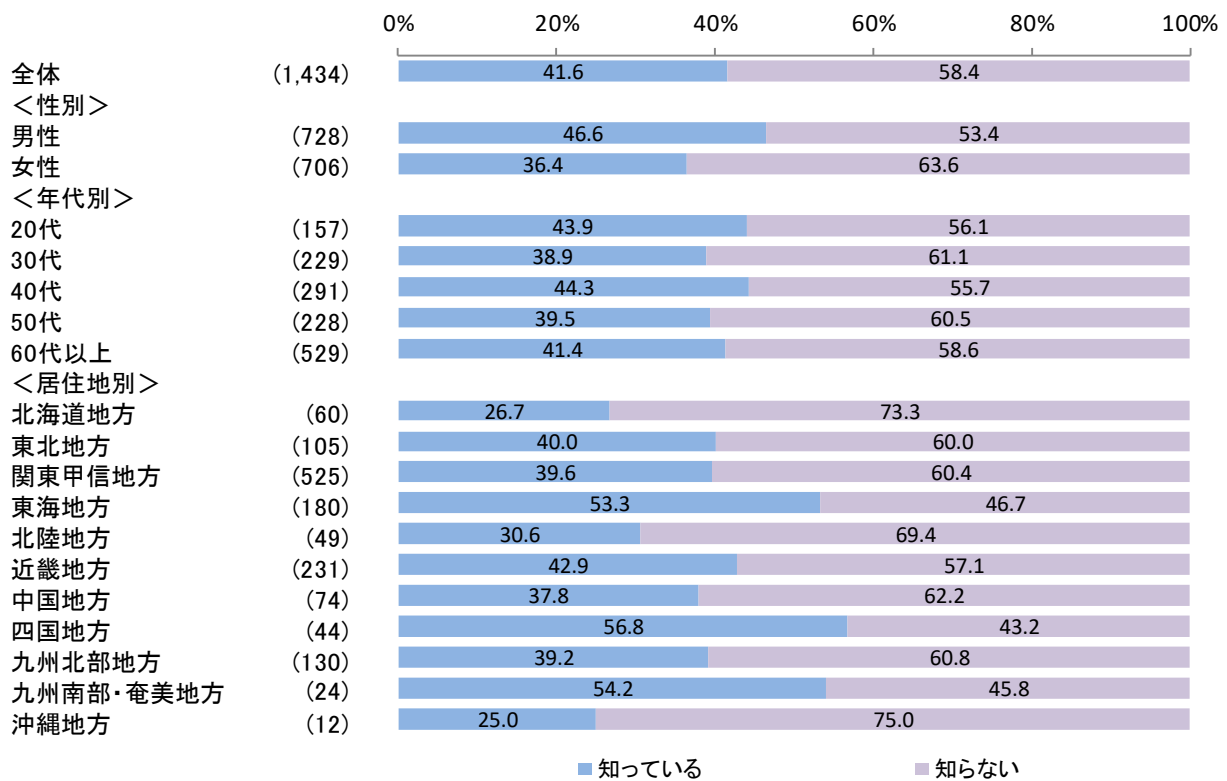
(4) 南海トラフ地震臨時情報発表時のとるべき行動の認知度

Q36 「南海トラフ地震臨時情報」が発表された際に、あなた自身がどのような行動をとるとよいか知っていますか。

n=1,434 ベース：南海トラフ地震臨時情報を知っている、聞いたことがあると回答した人



南海トラフ地震臨時情報発表時のとるべき行動の認知度について、「知っている」が4割強となっている。



※ベースがn=29以下は参考値

性別にみると、男性では「知っている」が4割台半ばと、女性と比べ10ポイント以上高くなっている。

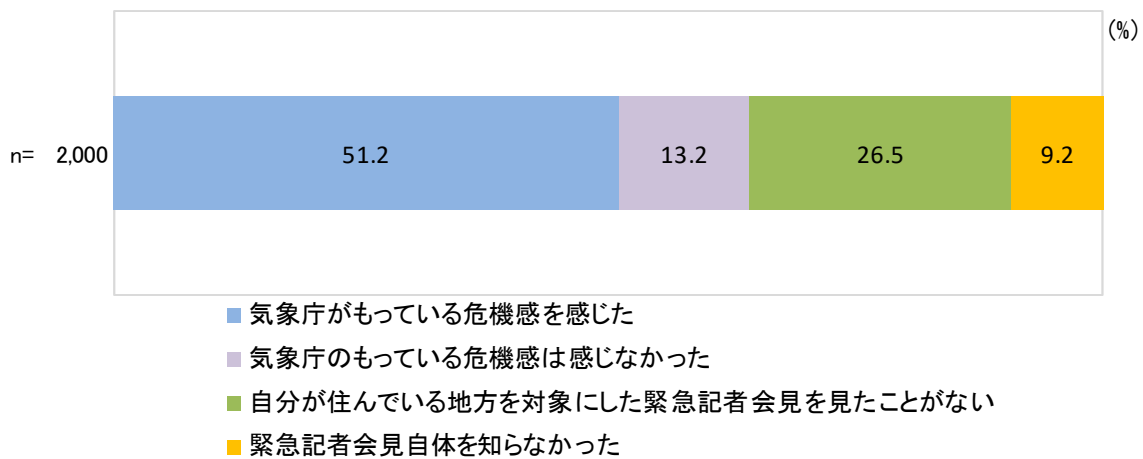
年代別にみると、20代、40代では「知っている」が4割台半ばと、他年代と比べ高くなっている。

居住地別にみると、東海地方、四国地方では「知っている」が5割以上と、他居住地と比べ高くなっている。

9. 緊急記者会見

(1) 気象庁による緊急記者会見をみて感じたこと

Q37 気象庁では、大雨や台風などによって重大な災害が発生するおそれが高まっている時に、そのことをお知らせするために緊急記者会見を行います。
 あなたがお住まいの地方を対象にした緊急記者会見をご覧になったときにどのように感じましたか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

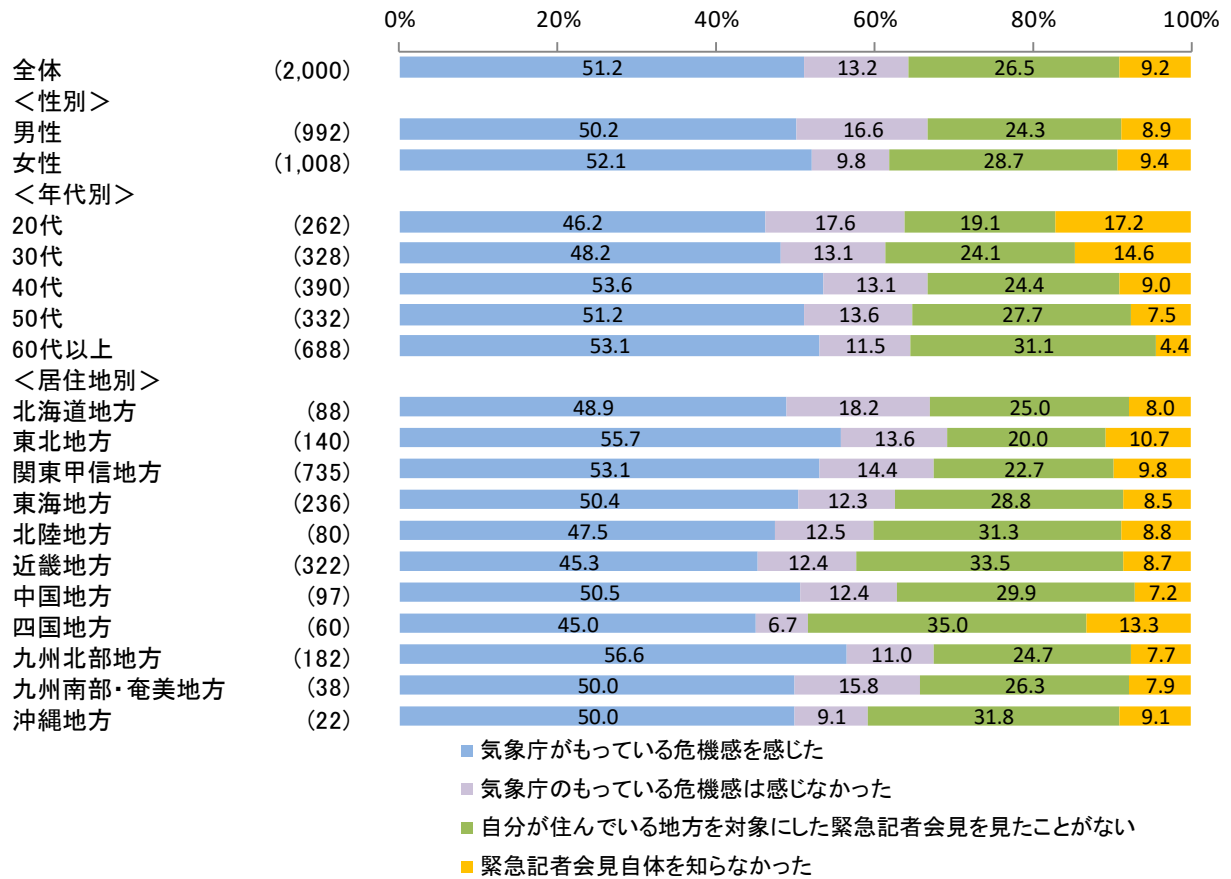


気象庁による緊急記者会見をみて感じたことについて、「気象庁がもっている危機感を感じた」が5割強となっている。



対象から、「自分が住んでいる地方を対象にした緊急記者会見を見たことがない」と「緊急記者会見自体を知らなかった」を除き、緊急記者会見を見た人を対象 (n=1,287) とすると、「気象庁がもっている危機感を感じた」が8割弱となった。

Ⅱ. アンケート調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

性別にみても、傾向に変化は見られない。

年代別にみると、若年層ほど、「緊急記者会見自体を知らなかった」が高くなっている。

居住地別にみると、東北地方、関東甲信地方、九州北部地方では、「気象庁がもっている危機感を感じた」が5割台半ばと、他居住地と比べ高くなっている。

Ⅱ. アンケート調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	気象庁がもっている危機感を感じた	気象庁の感じもなかつている危機感	会見をしたこと緊急な	自分が住んでいる地方	緊急記者会見自体を知
全体		2000	51.2	13.2	26.5	9.2	
Q1 ・ 災 害 リ ス ク 把 握	自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している	745	62.0	12.5	22.8	2.7	
	自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している	340	57.1	11.5	25.0	6.5	
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている	516	47.5	14.3	30.8	7.4	
	自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている	175	37.7	12.6	38.3	11.4	
	自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない	224	25.0	16.1	21.9	37.1	

居住地の災害リスク把握別にみると、居住地の災害リスク把握度合いが高いほど、「気象庁がもっている危機感を感じた」の割合が高くなっている。

自由回答一覧

Q2.あなたが自分の住む地域の災害リスクを把握していない・災害リスクについて考えたことはない理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも) /8.その他 具体的に理由を記入してください: __

住んでいる土地の地盤が強固だと専門家の人に言われたから。(女性・60代以上・関東甲信地方)
主要地域ではないので精度は低いのではないかと考えているから(男性・50代・東海地方)
以前災害を経験している(女性・40代・北陸地方)
転勤予定だから(女性・60代以上・九州南部・奄美地方)
自然には、勝てない。(男性・50代・四国地方)
ハザードマップ確認済み(女性・50代・東北地方)
よく分からないから(女性・20代・東海地方)

Q3.あなたは、大雨や台風による災害から身を守るために気象庁から発表される防災気象情報を知っていますか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも) /7.その他 知っている防災気象情報を具体的に記入してください: __

ミサイル、噴火、地震(女性・30代・関東甲信地方)
地震速報(男性・50代・中国地方)
地震 津波(男性・40代・九州北部地方)
ハザードマップ(男性・60代以上・関東甲信地方)
スマホアプリ(男性・50代・四国地方)
地震警報、国民警戒情報(男性・40代・関東甲信地方)
緊急地震速報(男性・20代・近畿地方)
特別警戒のレベル(男性・50代・近畿地方)
避難情報(男性・60代以上・関東甲信地方)
地震情報(男性・20代・東海地方)
大雨警報 暴風警報(女性・30代・九州北部地方)
大雨特別警報(男性・60代以上・北海道地方)

Q4.あなたは、そのような防災気象情報があることをどのような機会を通じて知りましたか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも) /10.その他 知った手段を具体的に記入してください: __

市町村の広報あかるいまち(女性・60代以上・四国地方)
仕事上(男性・60代以上・関東甲信地方)
市の安全メール(女性・40代・関東甲信地方)
役所の人に教えてもらった。(男性・50代・近畿地方)
地区の防災メール(男性・60代以上・関東甲信地方)
自治会(女性・60代以上・九州南部・奄美地方)
自治体情報(男性・60代以上・関東甲信地方)
防災無線(男性・60代以上・中国地方)
市報(男性・60代以上・北陸地方)
アプリ(女性・40代・関東甲信地方)
市からの情報誌(女性・60代以上・東北地方)

Ⅲ. 巻末資料

会社からの広報（男性・60代以上・関東甲信地方）
自主防災会（男性・60代以上・近畿地方）
仕事（男性・30代・近畿地方）
消防団（男性・40代・関東甲信地方）
エリアメール（女性・30代・関東甲信地方）
ウェザーニュース（女性・50代・近畿地方）
回覧板（女性・60代以上・九州南部・奄美地方）
関係する業務に携わっていた（男性・60代以上・中国地方）
天気アプリ（女性・20代・東北地方）
区役所（男性・30代・関東甲信地方）
保険会社のアプリケーション（男性・40代・東北地方）
スマホ（女性・60代以上・九州北部地方）
仕事場（男性・30代・東海地方）
スマホ（女性・50代・東北地方）
携帯（男性・60代以上・近畿地方）
地震防災センターのサイト（女性・30代・東海地方）
各公共機関HPにて（男性・50代・九州北部地方）
仕事で（男性・50代・近畿地方）
仕事（男性・40代・関東甲信地方）

Q5.あなたが前質問で回答した機会の中で、気象庁が行っている防災に関する広報・普及に関する取り組みはありますか。あてはまるものを全て選んでください。（いくつでも）／7.その他 見聞きした取組を具体的に記入してください：__

あかるいまちの記事による情報（女性・60代以上・四国地方）
広報（女性・60代以上・四国地方）
安心ホットメール（男性・60代以上・関東甲信地方）
気象庁じゃなく日本気象協会でした（女性・40代・関東甲信地方）
気象庁の会見（女性・60代以上・関東甲信地方）
県の防災アプリの登録（女性・60代以上・九州北部地方）
市の広報（男性・60代以上・東海地方）
新聞（男性・60代以上・北陸地方）
地域での説明会（男性・50代・近畿地方）
防火・防災管理者セミナー（男性・60代以上・九州北部地方）

Q7.あなたは、過去1年間に天気予報を見聞きした後にどのような行動をとりましたか。あてはまるものを全て選んでください。（いくつでも）／10.その他 とった行動を具体的に記入してください：__

ベランダにある物を片付けた（女性・60代以上・関東甲信地方）
懐中電灯、ローソクの準備（男性・60代以上・東北地方）
洪水に備えた（女性・60代以上・東北地方）
ベランダの物を屋内に入れた（女性・40代・関東甲信地方）
雨水排水溝の掃除（男性・60代以上・近畿地方）
ブルーシート、ロープの購入（男性・60代以上・関東甲信地方）
台風などへの備えの確認（男性・60代以上・東海地方）

アプリ（男性・40代・関東甲信地方）
雨雲の用意（男性・40代・関東甲信地方）
仕事に活用（女性・20代・関東甲信地方）
他地域の実家や親戚の状況をメール等で確認（女性・60代以上・東海地方）
SNSで天気予報の内容をシェアした（女性・20代・関東甲信地方）
通勤手段の変更（男性・40代・九州北部地方）
台風に備えた（女性・30代・関東甲信地方）
お弁当を作るのをやめた（女性・40代・近畿地方）
水筒日焼け止めの携帯（男性・60代以上・沖縄地方）
雨や台風、災害対策グッズを買いに行った。（女性・40代・九州北部地方）
外出を控えたり、台風が来る前はベランダを片付けたり、ガラスを保護したりした。（女性・50代・関東甲信地方）

Q9.あなたが天気予報について期待することは何ですか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向（↓）にお答えください。／1.最も期待すること／6.その他 期待することを具体的に記入ください__

天気図等観測結果の迅速な公開（男性・50代・北海道地方）
ゴルフ用（男性・60代以上・関東甲信地方）
正確な情報がほしい（女性・60代以上・近畿地方）
長期間の予報（女性・20代・関東甲信地方）
危険度（男性・60代以上・近畿地方）
季節毎の予報（男性・50代・東海地方）
正確な予報（男性・60代以上・関東甲信地方）
降水量（女性・20代・東北地方）

Q9.あなたが天気予報について期待することは何ですか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向（↓）にお答えください。／2.2番目に期待すること／6.その他 期待することを具体的に記入ください__

長期スパンでの予報（男性・30代・関東甲信地方）
個人毎のメール（男性・60代以上・関東甲信地方）
迅速な非難行動周知（男性・60代以上・東海地方）
警報を乱発しないこと（女性・50代・中国地方）
速さ（男性・60代以上・近畿地方）
名古屋地域の降雪情報精度向上（男性・20代・東海地方）

Q9.あなたが天気予報について期待することは何ですか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向（↓）にお答えください。／3.3番目に期待すること／6.その他 期待することを具体的に記入ください__

風向きと強さ（女性・50代・関東甲信地方）
地域の絞り込み（男性・60代以上・関東甲信地方）
近畿なら全ての府県を網羅して欲しい（男性・60代以上・近畿地方）
正しい情報を求む（男性・60代以上・東海地方）
なし（男性・40代・東海地方）

Ⅲ. 巻末資料

限定的（男性・60代以上・近畿地方）
長期予報の正確さ向上（男性・60代以上・九州北部地方）
地域の詳細な警報（女性・60代以上・中国地方）

Q11.あなたは、台風に関する情報を見聞きした際に、どのような行動をとりましたか。過去1年間に見聞きした場合の行動について、あてはまるものを全て選んでください。（いくつでも）／10.その他 とった行動を具体的に記入してください：__

家の対策をとった（男性・50代・東海地方）
養生訓テープ（男性・60代以上・東北地方）
強風対策を実施した（男性・60代以上・関東甲信地方）
避難ふくろの中身を点検・揃えた（女性・30代・関東甲信地方）
台風対策をした（男性・40代・沖縄地方）
強風対策として飛ぶものが無いか確認した（男性・60代以上・関東甲信地方）
ベランダの整備（男性・60代以上・近畿地方）
食料等の備蓄を増やした（女性・50代・関東甲信地方）
家の周りをチェックした（男性・60代以上・四国地方）
懐中電灯、ローソクの準備（男性・60代以上・東北地方）
非常食の準備（女性・40代・東海地方）
自宅の窓を守る作業をした（女性・40代・関東甲信地方）
食料の買いだめ（男性・50代・東海地方）
ベランダの片付け（男性・60代以上・関東甲信地方）
風で飛ぶ可能性のあるものを固定した（男性・60代以上・近畿地方）
窓に段ボールをはった（女性・40代・東海地方）
ブルーシート、ロープの購入（男性・60代以上・関東甲信地方）
買い物を済ませた（女性・60代以上・関東甲信地方）
二階に家族全員で避難した。（男性・50代・四国地方）
防災用品の点検と器物の固定（男性・60代以上・東海地方）
アプリ（男性・40代・関東甲信地方）
飲料水・食料の確保（男性・60代以上・関東甲信地方）
養生テープなどを貼り準備した（女性・60代以上・北陸地方）
住居に対暴風雨補強を施した（男性・60代以上・関東甲信地方）
避難所を開設した（男性・40代・関東甲信地方）
備蓄を増やした。物が飛ばないように片付けた。（女性・30代・関東甲信地方）
保存食や水、発電機の確保をした（男性・20代・近畿地方）
ガソリンを入れる非常食購入（女性・20代・関東甲信地方）
窓ガラスにダンボールを貼った（女性・50代・東海地方）
家に保護シートを貼った（男性・30代・関東甲信地方）
家の周りの飛散防止措置及び飛来物有無の確認（男性・60代以上・関東甲信地方）
ベランダの整備（強風対策）（男性・60代以上・関東甲信地方）
水の確保（女性・40代・東海地方）
外にある物を片付けた（女性・40代・近畿地方）
ベランダを片付けた。ガラスに飛散防止のテープを貼った。（女性・50代・関東甲信地方）

Q13.あなたが、台風情報に期待することは何ですか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。／1.最も期待すること／10.その他 期待することを具体的に記入してください__

雨量の情報(男性・50代・四国地方)
ピンポイントで(男性・60代以上・関東甲信地方)
予報が先行しすぎオオカミ少年のなっているように思う。(男性・60代以上・北陸地方)
降水量(男性・50代・中国地方)

Q13.あなたが、台風情報に期待することは何ですか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。／2.2番目に期待すること／10.その他 期待することを具体的に記入してください__

風力(男性・50代・中国地方)

Q13.あなたが、台風情報に期待することは何ですか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。／3.3番目に期待すること／10.その他 期待することを具体的に記入してください__

風雨の量・強度・時間(男性・60代以上・関東甲信地方)
状況変化に対し俊敏な情報提供(女性・60代以上・東北地方)
yohouを出し過ぎることで危機感が他人任せになることへの心配(女性・60代以上・近畿地方)
正しい情報を求む(男性・60代以上・東海地方)
警報を乱発しないこと(女性・50代・中国地方)
災害から逃れる方法(女性・60代以上・関東甲信地方)

Q14.あなたは、台風の発生前から台風の発生や進路の予報があった場合、何に活用したいですか。あてはまるものを1つ選んでください。／4.その他 活用したいことを具体的に記入してください：__

リスク対応(男性・60代以上・東北地方)
買い物(女性・60代以上・関東甲信地方)
上記全てが当てはまる(男性・50代・東海地方)
買い物や外出(女性・60代以上・関東甲信地方)
農作物の対策(男性・60代以上・東北地方)
我が子の学校への対応と説明を求める。(男性・50代・四国地方)
食糧の調達(女性・60代以上・九州南部・奄美地方)

Q17.あなたは、昨年1年間に自分のいる地域を対象とした大雨警報等を見聞きした後に、どんな行動をとりましたか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)／12.その他 とった行動を具体的に記入してください：__

土のう対応実施(男性・60代以上・東北地方)
なるようになれと腹をくくった。(男性・50代・近畿地方)
排水溝の掃除(男性・60代以上・近畿地方)
ブルーシート、ロープの購入(男性・60代以上・関東甲信地方)
水嚢の準備(女性・50代・関東甲信地方)
一級河川が僅か数キロ先にあるが何らサイレンの音が鳴らないので気にもしなかった。(男性・50代・四

Ⅲ. 巻末資料

国地方)
アプリ (男性・40代・関東甲信地方)
地域住民に避難を広報し呼びかけた (男性・40代・関東甲信地方)
飲み水、簡易食べ物準備、風呂水くむ。(女性・60代以上・関東甲信地方)
側溝に堆積物が無いか確認し、堆積物を除去した (男性・60代以上・関東甲信地方)

Q28.あなたは、自分のいる地域を対象とした緊急地震速報をどのような手段で見聞きしましたか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも) /9.その他 見聞きした手段を具体的に記入してください: __

強震モニタ (女性・30代・関東甲信地方)
PCの気象庁のHP (女性・50代・関東甲信地方)
緊急通報 (スピーカー) (男性・60代以上・関東甲信地方)

Q29.あなたは、自分のいる地域を対象とした緊急地震速報を見聞きして、どのような行動をとったことがありますか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも) /10.その他 とったことがある行動を具体的に記入してください: __

揺れ方を感じて冷静に判断した (女性・60代以上・四国地方)
スマホを手にとった (女性・30代・関東甲信地方)
猫の居場所を確認した (女性・40代・関東甲信地方)
揺れが始まって数秒後に緊急地震速報が流れて無意味だった (男性・40代・近畿地方)
貴重品をまとめた (女性・60代以上・九州北部地方)
子供の安否を携帯から確認した。(男性・50代・四国地方)
屋外に居たので安全な場所を確認した (男性・60代以上・東海地方)
窓を開けた、元栓をしめた (女性・20代・関東甲信地方)
スマホを手にした (女性・30代・関東甲信地方)
仕事場に行った (男性・30代・東海地方)
水の貯蓄を始めた (女性・30代・東北地方)

Q31.緊急地震速報を見聞きしてとった行動の結果は、あなたにとって、どのような点で「あまり役立たなかった」または「役立たなかった」と思いましたか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも) /6.その他: __

震源に近い地域、すなわち揺れの大きい地域には間に合わない。それ以上に誤報 (最大震度4でも発表されるなど) が多く、社会的に損失のほうが多いシステムで廃止すべきである。(男性・40代・近畿地方)
誤報だったから。(女性・60代以上・近畿地方)
すでに揺れていた (女性・50代・九州北部地方)
本当にヤバイ時は警報が鳴ってもどうしようもないという事が分かった (男性・20代・九州北部地方)
揺れてから鳴りはじめた (女性・20代・近畿地方)

Q32.あなたは、緊急地震速報について、何を期待しますか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。／1.最も期待すること／6.より手軽に緊急地震速報が受けられるようにしてほしい※具体的な手段の提案があれば記入してください__

なし(男性・30代・九州北部地方)

Q32.あなたは、緊急地震速報について、何を期待しますか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。／1.最も期待すること／7.その他__

音が怖いから辞めてほしい(女性・50代・東北地方)

誤報をなくしてほしい(女性・30代・近畿地方)

今の科学では地震予測は出来ない(男性・60代以上・近畿地方)

エリア精度の向上(男性・30代・関東甲信地方)

Q32.あなたは、緊急地震速報について、何を期待しますか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。／2.2番目に期待すること／6.より手軽に緊急地震速報が受けられるようにしてほしい※具体的な手段の提案があれば記入してください__

スマートフォンへの通知(男性・20代・中国地方)

緊急通報ラジオの無償配布(男性・60代以上・関東甲信地方)

Q32.あなたは、緊急地震速報について、何を期待しますか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。／2.2番目に期待すること／7.その他__

いらぬ(女性・50代・東北地方)

津波情報(男性・40代・北陸地方)

Q32.あなたは、緊急地震速報について、何を期待しますか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。／3.3番目に期待すること／6.より手軽に緊急地震速報が受けられるようにしてほしい※具体的な手段の提案があれば記入してください__

自分の地域の場合町内放送で知らせる(女性・40代・東海地方)

パトロール車呼びかけの回数増やす(女性・50代・近畿地方)

SMSで通知(男性・60代以上・中国地方)

Q32.あなたは、緊急地震速報について、何を期待しますか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。／3.3番目に期待すること／7.その他__

微細な時には速報の発表を変えてほしい(女性・60代以上・東北地方)

テレビでも伝えてほしい(女性・50代・近畿地方)

警報のバラツキを減らして欲しい(男性・30代・関東甲信地方)

Ⅲ. 巻末資料

Q38.気象庁の取組に対してご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。(ご自由にお書きください)

地震の可能性があれば、間違っても発表してほしい(女性・60代以上・関東甲信地方)
個人個人がの迅速な対応が一番だということはわかっていますが、市町村もいち早い対応が必要だと思います。それには個人以上に市町村に素早い詳細を送ることが必要な感じがします。個人より役所のほうが対応が遅く、気象を甘く感じているように思うので。(女性・60代以上・関東甲信地方)
自然災害だからしょうがないことと理解しているが、防ぐ方法は考えられない物かと思う。(女性・60代以上・関東甲信地方)
桜の開花予想なんかは民間に任せて自然災害に対する予報精度を上げるべき。(男性・50代・九州北部地方)
仕事とは言え、ご苦労様です。感謝するだけです。今後も様々な情報の精度を上げて、国民に流してもらえれば。(男性・60代以上・東北地方)
継続的に情報提供をお願いしたい(男性・50代・九州北部地方)
なし(男性・50代・関東甲信地方)
今後がんばってほしい(女性・40代・関東甲信地方)
特に無い(女性・50代・北海道地方)
天気予報が前日と当日で全く違う事が多い。当日の朝にならないと予定が立てられない。事前の予報の精度を上げて欲しい。(男性・50代・近畿地方)
特になし(男性・40代・関東甲信地方)
特に無い(男性・60代以上・関東甲信地方)
なし(女性・50代・北陸地方)
特になし(男性・60代以上・関東甲信地方)
予報の精度を高めてほしい(女性・60代以上・関東甲信地方)
いつも参考にさせていただいてます。(女性・40代・関東甲信地方)
よく仕事していると思う(男性・60代以上・近畿地方)
特になし(男性・40代・関東甲信地方)
「ハズレ」た時の非難などを怖がらずに早めに何らかの勧告を出して欲しい。(男性・60代以上・近畿地方)
特になし(女性・60代以上・近畿地方)
取り組みは大変だと思います。頑張ってくださいと。(男性・60代以上・関東甲信地方)
記者会見をする人のパフォーマンスの訓練。(女性・60代以上・関東甲信地方)
特にない(男性・60代以上・中国地方)
以前に比べて災害時の気象庁の発表の内容が詳しく、具体的になっていると思います。参考にしている。(女性・60代以上・関東甲信地方)
正確で詳細な情報を、いち早く提供してほしい。(女性・40代・北陸地方)
とくにない(男性・40代・北海道地方)
今まで以上に命を守る情報を提供願います。(男性・60代以上・東北地方)
スポット的なタイムリーな情報(男性・60代以上・近畿地方)
高齢者にもわかりやすい情報を。(女性・60代以上・中国地方)
特にありません。(女性・60代以上・関東甲信地方)
なんだか大仰だなあ(女性・60代以上・九州北部地方)
精度をもう一段ピンポイントで分かるようになると良い(男性・60代以上・関東甲信地方)
携帯を対象とする緊急地震速報は発信してほしい。(男性・60代以上・近畿地方)
特になし(女性・50代・関東甲信地方)

具体的な対応策を周知してほしい（女性・60代以上・関東甲信地方）
無い（男性・60代以上・東北地方）
地震や台風情報の速い情報を期待する（女性・60代以上・関東甲信地方）
豪雨、台風などに対する予報は精度が上がってきており、十分信頼できると思います。地震への対応は、まだ技術的に難しいところがあると思うが、なるべく早く予見体制を確立して欲しい。（男性・60代以上・関東甲信地方）
地震予知は未だに無理だけど、台風発生は少しは向上したが進路に関しては確率が低い。もう少し頑張ってもらいたい。（男性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・60代以上・関東甲信地方）
なし（男性・50代・中国地方）
これからも災害から人々を守ってほしい（女性・40代・東海地方）
特にありません（男性・60代以上・東海地方）
具体的な危険性（女性・60代以上・九州北部地方）
いろいろ研究、工夫されてるのでこれからも努力してください。（女性・60代以上・四国地方）
テレビが常に使える状態ではないことがあるので、避難情報をもっと早めに出すべきだと思った。（女性・60代以上・近畿地方）
精度をもっと上げてほしい（男性・60代以上・関東甲信地方）
当たり前にある予報や情報のようで、しかしなくてはならない情報です。ふだんの生活を快適に過ごすため、また災害時、自分や家族、周りの人の安全を守るため、必須の情報をありがとうございます。（女性・30代・関東甲信地方）
精度をあげる努力を（男性・30代・関東甲信地方）
ここ数十年の気象情報の正確さは非常に素晴らしいと考えております。（男性・30代・関東甲信地方）
特にありません（男性・40代・東海地方）
意味のない会見はしなくていい。（男性・50代・関東甲信地方）
特になし（女性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・60代以上・東北地方）
なるべく早く正確な情報を提供してほしい（女性・40代・関東甲信地方）
現状の良いと思います。地域での取り組みや個々での危機感が大事だと思います。独居老人や高齢者世帯が心配なので地域での取り組みをもっと緻密にしていければと思います。（女性・50代・中国地方）
出来るだけ早く伝えることが大事だと思います。特定の地域やその近くの地域も含めないと、避難する先が変わるからです。（女性・60代以上・関東甲信地方）
災害がおきても、少しでも被害が少なくなるよう、これからも頑張ってもらいたいです。よろしくお願いたします。（女性・50代・九州北部地方）
特になし（男性・60代以上・近畿地方）
広報担当者を女性にして絞切調のコメントを柔らかい聞きやすい言葉で広報するようにしてほしい。（男性・60代以上・近畿地方）
予測は難しい事かと思うが、更なる向上を、期待する。（女性・60代以上・中国地方）
地震予知の制度を上げて欲しい。（男性・50代・関東甲信地方）
本当に危険かの判断がわかりづらい（女性・60代以上・関東甲信地方）
早めに会見することで危機感を感じやすくなるので、大惨事になる前に早めに呼び掛けてほしいです。（男性・50代・中国地方）
制度が問題（男性・60代以上・四国地方）
ご苦労様です（女性・60代以上・東海地方）

Ⅲ. 巻末資料

早めの情報提供（男性・60代以上・東海地方）
台風等は、準備が出来ますが、地震に関しては、発生時の情報にして、来るぞ来るぞと、あまり、あおらないでください。（女性・60代以上・東海地方）
ない（男性・40代・関東甲信地方）
早めの情報開示は以前に比べると格段の差があるが、情報過多による混乱もある。後は、聞こえない方や外国の方に、どう知らせているのか？確認したい。（男性・50代・関東甲信地方）
京を超えるスーパーコンピューターを早く稼働させてほしい。（男性・50代・近畿地方）
頑張っていると思う（女性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・40代・近畿地方）
特にない（女性・50代・関東甲信地方）
細かいエリア毎の情報が欲しい（男性・40代・関東甲信地方）
特にありません。（男性・60代以上・九州北部地方）
どれほど危機感を持って避難の呼びかけでも、聞く耳を持たない人が一定割合いると思います。こういった人達を動かすには気象庁の説明とともに、強制力を持つ行政の対応も必要だろうと考えます。日頃の防災意識を高める努力を我々も含め努力したい。（女性・50代・東海地方）
予報の精度を上げてもらいたい。（男性・50代・関東甲信地方）
最近の気象情報はかなり精度が上がっていると思う（女性・60代以上・九州北部地方）
一番危険とされる場所と比較して、自分が今いる場所がどの程度危険なのか、より分かりやすくして欲しい（男性・40代・九州北部地方）
補償にお金を使え予知より被害者にお金を使え天降りにお金を使うな（男性・40代・近畿地方）
特になし（男性・40代・沖縄地方）
気象庁は経験に基づいて、台風襲来の事前告知を予め国民に注意喚起を促していたので、危機感を周知することはちゃんと出来ていました。とても良い仕事を当然のようにされていたと思います。無能、無責任で対応が非常に遅かった日本政府が足を引っ張っていたのが酷く気の毒です。（女性・40代・東北地方）
近年は気象庁が会見することが増え、危機感が伝わる。地球温暖化をますます身近に感じる。（女性・50代・関東甲信地方）
地震の予測は特に難しいと思うが、より正確な予測情報を期待している（女性・60代以上・関東甲信地方）
具体的な表現（男性・40代・九州北部地方）
まあまあ（男性・60代以上・九州北部地方）
なし（女性・40代・近畿地方）
特になし（男性・50代・東海地方）
もっと頻繁に情報を流してほしい（男性・60代以上・東海地方）
特にない（女性・60代以上・九州北部地方）
避難所の混みよう、入れるかどうか知りたい。（女性・60代以上・四国地方）
早く細かく除法提供して欲しい（男性・50代・関東甲信地方）
天気予報はよく当たる（女性・60代以上・関東甲信地方）
自治体等と連携して、災害を想定した避難訓練などを全員が体験できるように働きかけをした方がいいと思います。（女性・50代・北海道地方）
2011年のあれ以来テレビで警報が鳴るとドキドキしてしまうほど恐怖がよみがえってくるので必要以上の警戒心が生まれているかもしれませんが、警報音の検討をお願いしたい（女性・60代以上・関東甲信地方）
年々予報の精度が上がってきているので今後さらに精度が上がることを期待している（男性・60代以上・関東甲信地方）

これからもよろしくお願ひします（女性・60代以上・東北地方）
特になし（男性・60代以上・関東甲信地方）
わからん（男性・20代・東海地方）
特にない（男性・60代以上・東北地方）
特に無し（男性・60代以上・沖縄地方）
わかりやすい取り組みをお願いしたい（男性・60代以上・関東甲信地方）
気象庁の精度は上がっているが更なる発展向上してほしい（男性・60代以上・東海地方）
災害の多い国なので、いろいろな情報をこれからも知らせて欲しいです。（女性・40代・近畿地方）
これからも予報の精度向上に努めていただければ幸いです（男性・50代・関東甲信地方）
特になし（女性・40代・近畿地方）
天気予報を当てて下さい（女性・40代・近畿地方）
これからも、精度高い情報を期待する。（男性・50代・北陸地方）
被害予測のより精度アップを望みます（男性・60代以上・関東甲信地方）
なし（男性・50代・関東甲信地方）
予想精度をより一層高めてほしい（男性・50代・関東甲信地方）
別になし（女性・40代・東北地方）
よく頑張っていると思う。（女性・60代以上・九州南部・奄美地方）
特になし（男性・50代・関東甲信地方）
なし（女性・60代以上・東海地方）
直前で変えるのは予報とは言わない。朝見た予報が会社に着くと変わっていた。（男性・50代・近畿地方）
特になし（男性・40代・北海道地方）
誤報を恐れず警報を出して欲しい。（男性・60代以上・関東甲信地方）
身の安全のために早く知りたいです（女性・60代以上・中国地方）
台風の進路予想の制度は素晴らしい。一方で3ヶ月予報の精度の低さには唖然とする。ほぼ当てずっぽうにしか思えない。また先程も書いたが緊急地震速報はその原理からして被害を低減させることには役に立たない。むしろ鉄道が安全確認のため止まったりという損失が大きすぎる。緊急地震速報によって今までに助かった人は一人もいないのではないか？（男性・40代・近畿地方）
今年の台風19号の会見は緊急性がとてもよく伝わりました。避難の準備に役立ちました。（女性・60代以上・関東甲信地方）
大きな地震の予測をお願いしたい（男性・40代・近畿地方）
特になし（女性・50代・近畿地方）
すべての人のために役立つお仕事をされていると思いますのでありがとうございます。（女性・40代・関東甲信地方）
細かい地震情報が欲しい（女性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（女性・60代以上・四国地方）
可能な限り真摯に取り組んでいる姿勢は伺えるが、記者会見等の発表ははっきりした情報を伝えられていないように思う。（男性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・60代以上・関東甲信地方）
最近情報は多すぎてオオカミ少年の感がある。もう少し的確な情報が欲しい（女性・60代以上・東北地方）
特にない（女性・60代以上・近畿地方）
特になし（男性・60代以上・近畿地方）
特になし（女性・30代・九州北部地方）

Ⅲ. 巻末資料

精度の一斉の向上（男性・60代以上・北陸地方）
これからも精度の高い情報を期待している。（女性・60代以上・北海道地方）
危険のわかりやすい伝え方を工夫してほしい。（男性・60代以上・東海地方）
これからも気象庁に期待しています（女性・60代以上・四国地方）
特に無いです（男性・50代・関東甲信地方）
万が一を考えて、大げさすぎる発表が多い（男性・60代以上・関東甲信地方）
脅し過ぎない程度に現状を発表してほしい。（女性・60代以上・関東甲信地方）
ない（男性・40代・近畿地方）
国交省のXバンドレーダーの細かい降雨情報が欲しい。それに伴う河川水位上昇情報も。（男性・50代・近畿地方）
的確な情報をいち早く伝えて欲しい（女性・60代以上・関東甲信地方）
早め早めの予報（男性・60代以上・九州北部地方）
特になし（男性・60代以上・東海地方）
想定外の事態に対応するのは困難だと思いますが被害を最小限に抑えることができる情報をお願いします（女性・60代以上・四国地方）
特になし（男性・20代・中国地方）
マンネリ感をなくしてほしい（女性・60代以上・東北地方）
南海トラフに最も懸念しています。短時間で取れる最善の行動を教えてください。（男性・40代・近畿地方）
特になし（女性・60代以上・関東甲信地方）
予測が難しいとは思いますが、より正確に迅速に（女性・60代以上・関東甲信地方）
情報のとって（男性・30代・北陸地方）
特に無し（女性・60代以上・東海地方）
最近天気予報があたり、すごく役にたっています。ありがとうございます。大雨特別警報をよくきくので、大雨だったら出すように感じて、避難さなければならぬと思わない方が周りに沢山おられます。何か良い対策がないかなあと考えていますが、案が浮かびません。決壊予報のように水位があがっていることをしらせて下さるのはとてもたすかります。色々私たちを、災害から守るお仕事をしてくださりありがとうございます。これからも期待しております。（女性・30代・東海地方）
特にない（女性・40代・近畿地方）
生活において大変重要な事で、今迄大いに助かっていますしこれからも、期待していますのでよろしくお願いします。（女性・60代以上・近畿地方）
特にない（女性・30代・九州北部地方）
特になし（女性・40代・近畿地方）
特にありません（男性・50代・東北地方）
精度を高めて行って欲しい（男性・40代・東海地方）
特になし（男性・30代・関東甲信地方）
特になし（女性・40代・東海地方）
地震予知精度向上の推進。（男性・60代以上・関東甲信地方）
これからも精度の向上に頑張ってください（女性・60代以上・九州北部地方）
特になし（女性・60代以上・九州北部地方）
南海トラフは2035～8が最も可能性が高いとネットの情報で知りました。気象庁でももっと積極的な踏み込んだ予想を提示してほしい。（女性・60代以上・九州北部地方）
地震の予測精度を上げて欲しい。（男性・60代以上・近畿地方）
わかりません（女性・60代以上・東海地方）

事前にわかる範囲で早めに情報を流してほしい。(女性・60代以上・関東甲信地方)
もっと積極的に防災関係の取り組みを行ってほしい(男性・50代・関東甲信地方)
少しでも予報の精度を上げてほしい(男性・60代以上・九州北部地方)
特にありません(男性・60代以上・近畿地方)
事前の速報が出てただ身構えてしまって何をしたいかわからない(男性・60代以上・関東甲信地方)
以前に比べて会見の数も多くなり国民の為に頑張っていると思います。(男性・60代以上・関東甲信地方)
とにかく精度を上げてほしい(男性・50代・東海地方)
特になし(女性・60代以上・東海地方)
いつも助かっています(男性・30代・関東甲信地方)
いつも 参考にしている(女性・60代以上・東海地方)
必ず近いうちに起こりえる地震なので、対処に関する方法を住民にもっと徹底して指導や伝達する機会を増やしたり、TVでの呼びかけを行ってほしいと思う。(女性・60代以上・関東甲信地方)
がんばって下さい。(女性・60代以上・関東甲信地方)
特に無し(男性・60代以上・四国地方)
十分に対処していただいていると思うので、万が一の災害の時は気象庁の支持を待ってます なのでの的確な指示を待ってます。(女性・60代以上・九州北部地方)
正確性 迅速な対応に努めてほしい(男性・50代・北陸地方)
最近、精度向上を感じています。(男性・60代以上・東海地方)
家族に体にハンディある者、高齢者がいます。対処の仕方を知らせてほしいです。(女性・60代以上・九州北部地方)
なし(男性・60代以上・九州南部・奄美地方)
私の地域は地方なので、また災害区域ではありません。でも、わかりませんので警報のたびに。(男性・60代以上・関東甲信地方)
特にありません(男性・60代以上・東北地方)
とくになし(女性・60代以上・北海道地方)
大雨の地域情報では広すぎ、結果的には非難して良かった場所と必要でなかった場所があり、それぞれの場所の環境条件おも、取り入れた10kから20Kの細かな情報が市や町レベルでほしい。(男性・60代以上・九州北部地方)
特になし(男性・60代以上・中国地方)
今後も即時、正確な情報提供を願います(男性・60代以上・北海道地方)
特に無いなあ(女性・60代以上・東海地方)
特に無い(女性・60代以上・近畿地方)
これからますます、災害が激甚化すると思うので、頑張ってください。(女性・60代以上・近畿地方)
別段ない(男性・60代以上・関東甲信地方)
地球規模(特に北半球)での寒波や熱波の移動。例としては、ヨーロッパや北米で猛烈な寒波に襲われてから、日本には何日後にそれが来るのか?(男性・60代以上・北海道地方)
備えていきたいと思います(男性・40代・中国地方)
ない(女性・40代・関東甲信地方)
なし(女性・60代以上・関東甲信地方)
なかなか具体的に想像するのが、難しい。(女性・60代以上・近畿地方)
特に思いつかない。(男性・50代・関東甲信地方)
長い期間コツコツと精度向上のために頑張っていると思う。ネットができて情報発信も広くできてとても役立っている。このまま少しずつ前進して行ってほしい。(女性・40代・関東甲信地方)

Ⅲ. 巻末資料

組織が古い。考え方も古い。役所感丸出し。全然ダメ。(男性・50代・関東甲信地方)
特になし(男性・60代以上・関東甲信地方)
ありません(男性・50代・関東甲信地方)
特にない。(女性・60代以上・関東甲信地方)
緊迫した放送で、恐ろしさが伝わった。(女性・60代以上・関東甲信地方)
頑張っや(男性・60代以上・近畿地方)
今後一層の精度の向上を期待しております。(女性・50代・関東甲信地方)
特になし(男性・50代・関東甲信地方)
別になし(男性・60代以上・近畿地方)
特にない(男性・30代・関東甲信地方)
災害は増えるばかりで予防をいろんな視点で伝えて欲しい(男性・50代・沖縄地方)
災害の多い日本ですが、頼りにしています。(女性・50代・近畿地方)
特になし(女性・60代以上・九州北部地方)
特になし(男性・40代・九州北部地方)
特に無い(女性・60代以上・近畿地方)
慎重に対応する(男性・40代・九州北部地方)
努力が続いていることは知っているが、一人暮らしや高齢者が増えている中で、取りこぼしのないシステムを作っただけだとありがたい。もちろん、地域と協力体制のもとで。(女性・60代以上・東海地方)
特にない(男性・60代以上・関東甲信地方)
今のまま頑張っ欲しい(男性・40代・関東甲信地方)
今何をすべきかが判断できるような報道をしてほしい(女性・60代以上・東北地方)
今のままでいい(男性・60代以上・中国地方)
なし(女性・40代・関東甲信地方)
なし(男性・60代以上・北陸地方)
日夜努力をしていることを感じ、感謝しています。政治家がそのことを感じてほしいと思います。特に、○葉県知事森○氏や自民党の○階氏。(男性・60代以上・東海地方)
ゲリラ豪雨予報をたてて欲しい(女性・40代・関東甲信地方)
昔と比べて年々精度が上がっている事は実際の予報を見聞きしてよく分かりますが、もっともっと精度を上げて頂きたいと思います。テレビのチャンネル内に気象情報専門チャンネルを作っ欲しい。※以前は、CSにあったのでよく確認していたのですが、無くなってしまい残念です。(男性・50代・関東甲信地方)
特になし(男性・60代以上・関東甲信地方)
田舎の年寄りたちに、ネットや携帯、アプリで連絡を取ることを国を上げて理解させてほしい。(女性・50代・九州南部・奄美地方)
気象情報については、民間から主に得ている。気象庁の情報は網羅的(?)で面倒くさいイメージがある。ただし、かなり前の印象ですが(20世紀)。(男性・60代以上・四国地方)
特になし(男性・60代以上・東北地方)
今後も精度の高い情報をいち早く共有してほし(女性・40代・関東甲信地方)
良く取り組まれてると感謝します。(男性・60代以上・九州北部地方)
一所懸命に取り組んでくれているのは年々伝わってきます。これからも期待しています。(女性・50代・北海道地方)
災害情報のホームページの更新が早くてよい(男性・40代・関東甲信地方)
より精度の高い天気予報をのぞみます。(女性・30代・近畿地方)
特に無し。(女性・60代以上・関東甲信地方)

特にないです（女性・30代・関東甲信地方）
なし（女性・50代・関東甲信地方）
ない（女性・40代・九州北部地方）
すごい（男性・20代・九州北部地方）
別になし（男性・60代以上・東海地方）
もっと、いろいろな情報をだしているのであれば、みんなが理解できる方法で告知してほしい。また、その情報がでたら、すぐに、どうしたら良いか？また、一日単位？や一週間単位などでも、併記してほしい。気象庁の取りくみが一目でわかる冊子などがあったら良いとおもう（女性・40代・東海地方）
特になし（男性・60代以上・東海地方）
特になし（男性・60代以上・東海地方）
YouTubeで生発信（男性・30代・関東甲信地方）
早めに対処しないといけないことをわかりやすく情報を教えてほしい（女性・60代以上・北海道地方）
特になし（女性・60代以上・九州北部地方）
なし（男性・30代・近畿地方）
無し（男性・60代以上・東海地方）
特にない。（女性・60代以上・関東甲信地方）
限りなく100%に近い精度向上を願う（男性・50代・東北地方）
これからも安心して暮らしていけるように支えになって下さい（女性・50代・東海地方）
特別、意見は、ありませんが、今後とも気象庁の、天気予報精度が上がる事を、期待しています。（男性・60代以上・東海地方）
素晴らしい取り組みをたくさんされているのに、あまり知られてないような気がしたので、周知の方法を工夫された方がいいと思います。（女性・20代・関東甲信地方）
なし（男性・60代以上・東海地方）
特になし（女性・50代・中国地方）
なし（男性・20代・東北地方）
信頼できる（男性・60代以上・九州北部地方）
気象庁からの会見があることで、危険が迫っている状況がより強く伝えられると思います。異常気象が常態化している昨今なので、気象庁に期待することは大きいと思います。避難行動になかなか繋がらない実態がありますが、諦めずに続けることで国民の意識も向上すると思います。頑張ってください。（女性・60代以上・東海地方）
ホームページを拝見していますが、情報が多岐にわたり目的の情報にたどり着くのが難しい。分かりやすいアプリ等を配布していただきたい。（男性・40代・近畿地方）
地震の予知技術向上は、非常に難しいとは思いますが、現在予知の精度が高い専門家がいますので、タイアップして精度向上に努めてもらいたい。（男性・60代以上・九州北部地方）
特にない（女性・60代以上・関東甲信地方）
がんばっているとおもう、どだい予測が不可能でもし強いことを言っても言わなくっても訴えられたりするし・・・イタリアの地震学者はかわいそうだった（女性・40代・北陸地方）
最近、命を守る行動をとってください、とやたら強調して、責任のがれをしているように思われる（女性・60代以上・北陸地方）
特にはありません。（女性・60代以上・近畿地方）
なし（女性・40代・関東甲信地方）
とにかく情報の精度を上げて欲しい。（女性・60代以上・四国地方）
特にないですいつも有難うございます（女性・60代以上・関東甲信地方）

Ⅲ. 巻末資料

なし（女性・60代以上・近畿地方）
正確に伝えてほしい（女性・50代・関東甲信地方）
特になし（男性・20代・九州北部地方）
自然災害の予測は大変難しいと思います。自分が住んでいるところが隣接する市との境に当たり、いつも地震や、大雨洪水警報などで、避難してくださいの知らせが、携帯に届くのですが、自分の住んでいる市からは、一度も届いたことがありません。こういう場合の判断はとても難しいです。（女性・60代以上・近畿地方）
特にない（女性・60代以上・中国地方）
大変な仕事だと思います 近年被害が甚大で予測が難しいと思います 日頃から防災意識を高めるよう皆さんに伝えることが大切ではないでしょうか（女性・60代以上・中国地方）
なし（女性・50代・四国地方）
とくにない（女性・30代・近畿地方）
なし（男性・50代・近畿地方）
どういう取り組みをしているのか普段から、伝えるようにしてほしい（女性・60代以上・九州南部・奄美地方）
ない（女性・60代以上・近畿地方）
どんなお知らせでもより細かい地域での情報がほしい（男性・20代・中国地方）
もっと細かい地域、細かい時間の予報を増やしてほしい（男性・40代・関東甲信地方）
特になし（男性・30代・東北地方）
なし（女性・40代・北海道地方）
特になし（女性・50代・近畿地方）
特になし（男性・30代・関東甲信地方）
特になし（男性・60代以上・東北地方）
情報の正確さと精度と速度の向上をお願いします。（男性・40代・近畿地方）
市町村と対応を密にして停電などの時などの刑法に対処をお願いします（女性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・30代・北海道地方）
避難だけで具体的行動を教えてください（女性・60代以上・関東甲信地方）
色々行っていると思うが周知されていない（女性・50代・関東甲信地方）
「強い台風」については弱い台風だと認識してしまっている。災害等のレベルの度合いを、実感と実態で適切に把握できるような方法を検討してほしい。（男性・20代・中国地方）
よさそう（男性・60代以上・関東甲信地方）
分かりやすい情報提供に努めていると思う。（男性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・60代以上・近畿地方）
天気予報の精度が上がっていると感じます。（女性・40代・関東甲信地方）
特にありません（女性・60代以上・北海道地方）
特になし（女性・60代以上・関東甲信地方）
特に不満は無し（女性・60代以上・東海地方）
気象予測は生活の上で重要な情報なので気象庁の職員の方には感謝しているし、今後の取り組みにも期待している（男性・60代以上・九州北部地方）
確実な情報が欲しいです（男性・20代・関東甲信地方）
あたらなくても危険そうなときは大きめに広範囲に伝えてほしい（女性・30代・関東甲信地方）
なし（女性・50代・関東甲信地方）
災害の予測及び備えについての広報も強化してほしい。（女性・60代以上・東北地方）

天気予報（天気情報）はほとんど当たらない。気温はそこそこ当たるが天気はさっぱりである。（男性・60代以上・北海道地方）
警報が頻繁になると、慣れて危機感が薄れてきている自分を感じる。また小雨なのに大雨警報が度々鳴ったりすると、信頼感も薄れる。こうした問題にも取り組んでもらいたい。（女性・60代以上・近畿地方）
もっと正確な情報を求む（男性・40代・関東甲信地方）
なし（男性・30代・近畿地方）
特にない（男性・60代以上・中国地方）
もっと沢山の人が日頃から災害に備えるように啓発してほしい。（女性・60代以上・北陸地方）
ヤフーやNHKのアプリとの連携の精度や速さを改善してほしい（男性・30代・九州北部地方）
自身予想の制度は上げてほしい（女性・50代・北海道地方）
特になし（女性・60代以上・関東甲信地方）
地震・ゲリラ豪雨に対する知識があると備えが違う。実際に地震・ゲリラ豪雨を体験したからこそ思う。もっと番組・ニュース・ワイドショーなどで取り上げるべきだ。（女性・60代以上・近畿地方）
ない（女性・60代以上・東海地方）
より良い情報供給体制を取る事（男性・40代・関東甲信地方）
レベルは高い。（男性・60代以上・関東甲信地方）
正確な情報（女性・60代以上・関東甲信地方）
特にない（女性・50代・東海地方）
今まで通りでいい（女性・60代以上・関東甲信地方）
大雨も台風も今後ますます規模が大きくなるだろうから、今までの常識が通じないことを喚起して欲しいものです（女性・50代・沖縄地方）
特にない。（女性・60代以上・近畿地方）
頑張っていると思う（男性・60代以上・沖縄地方）
積極的に正確な情報を発信して欲しい。（男性・30代・四国地方）
特にありません（男性・40代・関東甲信地方）
分かりやすく伝えてくれているのでありがたい。（女性・40代・中国地方）
ありがとうございました。（男性・30代・中国地方）
テレビでの 天気予報の時間が長い。多い。余計な説明が多すぎる。（女性・60代以上・関東甲信地方）
最近の記者会見などで、危機が迫った状態であることを感じるのも、とても有意義だと思う。（女性・30代・九州北部地方）
予報能力が格段に高まっていると思う。科学技術の進歩による部分が大きいと思うが、何よりも人の判断が重要であろう。期待するのみである。（女性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・60代以上・関東甲信地方）
特にない（女性・50代・九州北部地方）
災害がおきたときの情報が、繰り返しがおおいので、出来るだけ新しい情報を提供してほしい。（女性・60代以上・東海地方）
よく取り組んでいる。（女性・60代以上・関東甲信地方）
敏速かつ正確な情報（男性・40代・関東甲信地方）
地震に対する備えを周知徹底してほしい（男性・50代・九州南部・奄美地方）
特にない（男性・30代・関東甲信地方）
非常に役立つ情報を迅速に提供いただいているので、大変ありがたい。特にNHKを介しての情報はとても役立っている。今後はより精度を高めてほしいと願っている。（男性・40代・東海地方）
台風の発生前後で人工的に消滅できないか研究してほしい。（男性・60代以上・北陸地方）

Ⅲ. 巻末資料

なし（男性・30代・九州北部地方）
地震の多くなり、地域も全国的で不安がつのりますが、まだ自分自身十分な備えができてはいないので、より分かりやすい情報や備えについて詳しく知ることができればと思っています。（女性・60代以上・近畿地方）
特になし（女性・60代以上・関東甲信地方）
正確な予測ができるよう努力してほしい。（男性・60代以上・関東甲信地方）
大変でしょうが、今後とも頑張してほしいと思います。（女性・60代以上・近畿地方）
情報が分かり難い（女性・60代以上・近畿地方）
いつも早急に対応していただいております（女性・30代・北陸地方）
ありません。（男性・40代・関東甲信地方）
どうしてよいのかわからない（女性・50代・関東甲信地方）
とくにない（男性・60代以上・九州北部地方）
予報予知を何とかして国民に伝えようとしている心意気を感じています。我々住人はそのことにとっても感謝すべきだと思いました。（男性・30代・東海地方）
特になし（男性・60代以上・東海地方）
わからない（女性・60代以上・近畿地方）
民間を見習うべき（男性・50代・関東甲信地方）
特にありません（女性・40代・関東甲信地方）
頑張っている（男性・60代以上・東北地方）
早急な情報。（男性・60代以上・中国地方）
「数十年に一度の大雨」といった類の表現がなされているが、危険度の高さを伝えたいがための表現であろうが、もう日本は温帯地域ではなく、亜熱帯化していると思われるので、大雨は来るものとしたほうがいいのでは・・・（男性・50代・東海地方）
タイムリーで豊富な情報提供に感謝している。深夜の速報の場合のボリュームを少し軽減して欲しい。情報提供の範囲・精度が増して技術の進歩を感じる。地図や情報が分かりやすく示されていて災害時には心強く思う。（女性・60代以上・東北地方）
特になし。（男性・60代以上・関東甲信地方）
記者会見の内容表現（文言、硬いなど）が専門的過ぎる！視聴者により分かり易い言い回しなどを意識して、その理解の浸透を図るべき。（男性・60代以上・関東甲信地方）
事前に対応策を知りたい。（女性・60代以上・関東甲信地方）
他分野との連携（女性・60代以上・東海地方）
予報の精度をもっともっと上げて欲しい（男性・60代以上・関東甲信地方）
難しいと思いますが、ゲリラ豪雨について予報精度を上げてほしい。（男性・60代以上・東海地方）
地震が来るまでのカウントダウンをしてほしい。（男性・50代・東北地方）
ナシ（男性・50代・関東甲信地方）
とにかく、精度を上げて欲しい。（男性・60代以上・関東甲信地方）
とくになし（女性・60代以上・近畿地方）
知らないことが結構あると思うのでもっと広報に力を入れて欲しい（男性・40代・九州北部地方）
ホームページをわかりやすくしてほしい。（男性・60代以上・東北地方）
民法ニュースも気象庁発表も特別な差は感じられない（男性・60代以上・近畿地方）
気象庁は色々対策を新しくしていると思います。（女性・40代・関東甲信地方）
これからもよろしくです（男性・40代・関東甲信地方）
観測地点を増やしてほしい、気温、雨量、地震計など住んでいる地域に観測機器がないのか、いつも近隣

地域の情報になるので予想温度とか実測温度などに誤差があり過ぎる（男性・60代以上・近畿地方）
特になし（男性・30代・関東甲信地方）
特にない（女性・60代以上・近畿地方）
特になし（女性・60代以上・中国地方）
天気予報の精度が悪すぎる。天気予報を見るよりはその地方の言い伝えのほうが天気予報より精度が高い。（男性・60代以上・中国地方）
様々な情報をありがとうございます（男性・20代・関東甲信地方）
いっそう正確な情報を得るための研究。（女性・60代以上・関東甲信地方）
地震の予知を出来るよう研究をよろしくお願い致します。（女性・50代・近畿地方）
とくになし（男性・40代・関東甲信地方）
地震・大雨など警報がオオカミ少年になっており、参考にするが具体的な行動にむすびつかない。（男性・60代以上・関東甲信地方）
ないです（男性・30代・関東甲信地方）
発信される情報が人々に最大限受信されるように発信の方法を考えてください。（男性・60代以上・近畿地方）
特にない（男性・40代・中国地方）
精度の向上を図って欲しい（男性・40代・北海道地方）
取り組みには関係ないのですが、いつも会見するのが男性ばかりで女性はいないのかと不思議に思う。（女性・40代・東海地方）
これからも感謝して・期待しています。（女性・60代以上・関東甲信地方）
特にありません（男性・40代・九州北部地方）
特にない（男性・40代・東海地方）
予報の精度を上げる。発表の早さ、タイミング。（男性・60代以上・関東甲信地方）
これからも正確な情報を伝えたい（男性・60代以上・中国地方）
とくにない（女性・40代・関東甲信地方）
特になし（男性・30代・関東甲信地方）
精度（女性・60代以上・東北地方）
特にない（女性・60代以上・北海道地方）
特にありません。（女性・60代以上・関東甲信地方）
特に無し（男性・20代・北陸地方）
特になし（男性・40代・東海地方）
特になし（男性・60代以上・近畿地方）
特になし（女性・30代・沖縄地方）
緊迫感が伝わるように、工夫しているのが良いと思う（女性・40代・東海地方）
精度を上げて欲しい。逃げられる時を、早めに教えて欲しい。（女性・60代以上・関東甲信地方）
命とかけがえのないものを守りたい（男性・50代・関東甲信地方）
事後報告的な会見は不要。（男性・50代・関東甲信地方）
時代が時代だからかも知れないが、あまりにもカテゴリー分け・レベル分けし過ぎていて、正直怒りを感じる。例えば「命の危険があります～」というアナウンスを聞いて、落ち着いて行動はとれないし、自身の選択如何によっては命を落としますという風に聞き取れる。（男性・40代・東北地方）
これからも頑張ってもらいたい（女性・40代・東海地方）
数字ではなくわかりやすい指標を（男性・30代・中国地方）
とくになし（女性・20代・関東甲信地方）

Ⅲ. 巻末資料

専門的な知識を備えつつ分かりやすく伝える広報が必要のように思う（男性・30代・関東甲信地方）
公共機関への事前対策要求、強制～推奨のレベル付き。法制化、違反に対する罰則。国家ぐるみの対応。（男性・60代以上・関東甲信地方）
的確に対応してほしい（女性・30代・東北地方）
特にはない（女性・60代以上・東北地方）
ない（女性・30代・九州北部地方）
これからさらに精度の高い情報をお願いしたいと思います。（女性・30代・関東甲信地方）
大変なお仕事と思うが、引き続き頑張って取り組んでほしい。（女性・60代以上・東海地方）
正確な情報を早く教えて欲しいです。（女性・60代以上・近畿地方）
特にない（男性・60代以上・近畿地方）
特になし（女性・60代以上・北海道地方）
特になし（男性・20代・近畿地方）
高齢化が進んでいる地方にとって出来る限り早い段階で予報をお願いしたいと思います。（男性・60代以上・関東甲信地方）
市町村のショボい対応に警告してほしい。（男性・40代・東海地方）
特にない（女性・30代・近畿地方）
なし（男性・50代・東北地方）
観測と既存データに基づく判断、予測とその普及に敬意を表します。観測システムの充実と携わる人材の充実について支持、応援するものです。（男性・50代・北海道地方）
専門ではないので特にないです。（女性・60代以上・関東甲信地方）
緊急地震速報や天気予報が生活の役に立っています。（女性・50代・近畿地方）
気象庁の取組は 大変役立っております。このまま よりわかりやすく お伝え いただきますよう お願いします。（女性・60代以上・関東甲信地方）
情報は早く正確に流してほしい。（男性・60代以上・東北地方）
早く正確な情報を提供してほしい（男性・60代以上・中国地方）
特になし（男性・60代以上・九州北部地方）
特にない（男性・60代以上・近畿地方）
テレビの警報の音が怖いので代えてほしい（特に地震）（女性・50代・関東甲信地方）
とくになし（女性・30代・関東甲信地方）
現在でも大変優れているのは、知っているが、これからも、精度を上げるよう努力してほしい。（男性・50代・近畿地方）
頑張って（男性・60代以上・東海地方）
警戒レベルの表示が本当に必要か適切か、そのことで一般の人が混乱しているのではないかと思います。数字で表すことは必要ではあるけれど、避難をする側には混乱の素になる危惧を考えるとちょっと違った方法があるのでは。（女性・60代以上・近畿地方）
なし（男性・40代・近畿地方）
より正確性を願う。（女性・60代以上・関東甲信地方）
応援しています。（女性・40代・東海地方）
なし（男性・60代以上・東海地方）
気象庁にだけ対しては無理があり過ぎる。地球温暖化対策が提言される中気象庁にだけ任せては、駄目。政府が説明責任を持つべきである。（男性・50代・四国地方）
特になし（女性・50代・九州北部地方）
災害の予見は困難な課題ですが、国民の安全のために努力されている姿を実感しています。これからもよ

ろしく願います。誤報を恐れる必要はないと思います。10のうち1の真実があるなら、積極的な予報を提供すべきだと私は思います。(男性・60代以上・東海地方)
特にない(女性・20代・九州北部地方)
ない(男性・30代・近畿地方)
日本に住んでいる以上仕方ないと思って、特に期待していなし(女性・40代・関東甲信地方)
日々の取り組みご苦労様です(男性・60代以上・関東甲信地方)
とくにない(男性・60代以上・東北地方)
災害予測の精度が上がっている事に感銘。関係各位のご努力に感謝。なお一層の精度アップを期待します。(男性・60代以上・関東甲信地方)
今後も正確な情報を出してほしいです(男性・40代・関東甲信地方)
特になし(女性・60代以上・近畿地方)
なし(女性・40代・四国地方)
とくなし(男性・30代・関東甲信地方)
特になし(女性・40代・九州北部地方)
兎に角、予想の精度を上げてほしいです(男性・50代・東海地方)
正確で速い情報をお願いします(女性・60代以上・近畿地方)
なし(男性・30代・関東甲信地方)
災害に弱い地域の地盤等の強化を早急にして欲しい。(女性・50代・中国地方)
地域の天気予報精度がそれ程高いとは思えない。精度を可能な限り高めて欲しい。(男性・60代以上・九州北部地方)
大雨や地震、自然災害の恐ろしさを実感する今日この頃。早い段階での速報を、少しでも正確な情報を期待したい(女性・50代・中国地方)
長期予報の精度向上(男性・40代・近畿地方)
なし(女性・20代・四国地方)
わからない(女性・60代以上・東海地方)
早い段階で正確な情報を教えて欲しい(女性・30代・関東甲信地方)
注意して気象情報を聞く。(男性・60代以上・九州北部地方)
特になし(男性・60代以上・関東甲信地方)
特になし(男性・50代・関東甲信地方)
予算や人員の育成に問題があると思う(男性・40代・関東甲信地方)
なし(男性・40代・近畿地方)
似たような表現が多いのでわかりやすくしてほしい。(女性・60代以上・沖縄地方)
より迅速に被害が少しでも小さくなる様情報を提供して欲しい(女性・60代以上・東海地方)
素早い対応(男性・40代・東北地方)
防災情報の危険度の予想される程度の発表の仕方によって受けてはその危険度がわが身にどの程度の危険が有るか推し量ります。今後スーパー台風等経験のしたことがない台風が迫ってくる時に家が吹き飛ばされるのか車が飛ばされるのか等、予想される被害などをより具体的にどのように逃げたらよいのか予想される程度よりけり危険度が大きめに発表した方が良いと思う。(男性・50代・東海地方)
力を入れているとは和思う。ただ予測精度はまだまだで大きく網をかけざるを得ないと思う。現時点ではやむを得ないと思うが実際には外れているエリアが多くなり狼少年的になってしまうこともあるように思う。(男性・60代以上・関東甲信地方)
少ない予算で頑張っていると感じます。これからも台風や大雨・地震等に対する取り組みに期待しています。(男性・60代以上・九州北部地方)

Ⅲ. 巻末資料

お天気番組は見ても、気象庁はあまりめにとまらない（女性・50代・九州南部・奄美地方）
ない（女性・20代・近畿地方）
なし（女性・40代・東北地方）
なし（女性・50代・東北地方）
科学的にももっと精度を上げてほしい（男性・60代以上・九州北部地方）
日中のうちに避難を呼びかけて欲しい（女性・40代・東北地方）
十分頑張っていると思う。（男性・50代・近畿地方）
なし（女性・60代以上・関東甲信地方）
特にないです（男性・60代以上・北海道地方）
なし（男性・60代以上・関東甲信地方）
特にありません（男性・30代・関東甲信地方）
東京の予報はやめて、八王子や新宿として欲しい。多摩と東京駅は離れてる。（男性・30代・関東甲信地方）
多くの努力は分かるが災害は自分の身に何か起きないと行動を起こしにくい、常に他人事と思っている、会見等でも常にけいけんしたことの無い・・・（男性・60代以上・北陸地方）
迅速正確な報道（女性・50代・北海道地方）
特にない（女性・50代・関東甲信地方）
各種装置の機能が高まり降雨予報なども細かくお知らせくださり感謝しております。先日も沖縄近辺の緊急地震速報に驚きを隠せません。予報の正確さなど神経を使われると思われませんが頑張ってください。（男性・60代以上・九州南部・奄美地方）
ありません（女性・30代・北陸地方）
特になし（男性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（女性・30代・中国地方）
特になし（男性・50代・関東甲信地方）
いつも適切な情報の開示ありがとうございます。今後も気象情報の正確性の確保に努めてください。（男性・40代・九州北部地方）
がんばってください（男性・20代・東北地方）
いつも懸命に取り組んでいただいております。特に津波に対する対策を自治体に働きかけてもらいたいです。被害が予想される沿岸部の対策がまだ不十分です。（女性・30代・関東甲信地方）
地震や大雨災害警報の精度が更に上がる事を期待しています。（男性・60代以上・東北地方）
堅苦しい会見は不要。多くの方が直感的に動ける通知がよい（男性・40代・関東甲信地方）
時間と揺れ、風速、雨量などの関係をどの地域にいても簡易に分かるようにして欲しい。（男性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（女性・40代・北海道地方）
スーパーコンピュータで地震の予測精度は上がらない、何故か？ソフトが悪いからですね。地球変動を考え捉えるのはどの様にしたら良いのかですね。（男性・60代以上・近畿地方）
今年の台風19号では住んでいる場所に避難指示が出たが、その時点では避難所に行くこと自体が危険で、実際に避難所に行っても鍵がかかっていてくれなかったという。これからどういう見通しなのかを、地域の状況と絡めて教えてほしい。（男性・50代・関東甲信地方）
特にない（女性・60代以上・中国地方）
特になし（男性・40代・東北地方）
頼りにしてます。（女性・50代・関東甲信地方）
色々な情報の発信（女性・50代・近畿地方）

基本的に天気と言うのは予測できるものではないと思うただ普段の危機管理が我々も大事だと思うし、大袈裟に伝えすぎもその日人が外から出なくなるので勘弁してほしい（男性・30代・関東甲信地方）
特にない。か（男性・40代・北海道地方）
なし（女性・40代・関東甲信地方）
発生後早く報道してほしい（女性・60代以上・近畿地方）
特になし（女性・60代以上・近畿地方）
狭い地域ごとの情報を伝えて欲しい（女性・40代・東北地方）
日々の予測精度向上の取組ご苦労様です（男性・50代・関東甲信地方）
なし（女性・40代・関東甲信地方）
よくはずれる（女性・30代・関東甲信地方）
毎日のお天気、天気予報とても重要で必ず確認します気象庁の会見も伝わりやすく分かりやすい内容で発表してほしいです（女性・50代・東海地方）
特になし（女性・40代・東海地方）
特にない（男性・30代・東海地方）
特になし（女性・50代・近畿地方）
なし（男性・20代・中国地方）
特になし（男性・60代以上・関東甲信地方）
地震の対応をもう少し分かりやすく伝えてほしい（女性・30代・近畿地方）
無し（男性・60代以上・東海地方）
今後も国民の生命、財産を守れるように活動を展開して欲しいの（男性・30代・九州北部地方）
頑張っている（男性・60代以上・関東甲信地方）
特にありません。（女性・60代以上・北陸地方）
気象庁の会見に緊迫感が感じられない。（男性・40代・東海地方）
特に無し（女性・60代以上・関東甲信地方）
それでも無い事を大袈裟に伝える事がある。備えるのは当然だが、緊迫過ぎるのは良くない。（女性・50代・九州北部地方）
今以上の取り組みをお願いします（女性・60代以上・近畿地方）
なし（女性・40代・東北地方）
情報は正確でよいと思います。（女性・60代以上・中国地方）
予報の精度などの向上に積極的に取り組んでいるという印象がある。これからも頑張ってもらいたい。（男性・60代以上・関東甲信地方）
特にありません（女性・60代以上・近畿地方）
精度向上（男性・30代・九州北部地方）
ない（女性・50代・近畿地方）
snsでもっと確認できるようになれば良い（男性・30代・中国地方）
地域ごとに細かく教えて欲しい（男性・40代・関東甲信地方）
最も要望したいのは予報精度の向上とできるだけ早い告知。台風や地震の場合はことさら。今年の例では台風15号、19号などが激甚被害をもたらしたが、進路予報、上陸予想などが直前まで示されずやきもきさせられた。欧米の予報だと進路予測計算が日本のものよりも先々分まで報道されているのを見ると、日本の予報はまるで「間違ったことを言って後で上げ足を取られることのないように」という保身姿勢が第一のようで、予報受け手側としては準備行動をとるべきか判断が中々できずにイライラ、ハラハラした。（男性・60代以上・関東甲信地方）
非常時の予想は当たるけど、普段があまり当たらないように思う（女性・40代・近畿地方）

Ⅲ. 巻末資料

特に思い当たらない（女性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・60代以上・関東甲信地方）
心配しました（男性・20代・九州北部地方）
特になし（女性・30代・近畿地方）
災害の恐れがある地方の細分化された情報をできるだけ詳しく TV やラジオやインターネットを通じて報道してほしい。（女性・60代以上・関東甲信地方）
地震の予報は難しいので出来ることをしてほしい。その他の気象の予報精度は上がってるのでとても役に立ててます。（女性・50代・九州北部地方）
昔に比べれば格段の進歩だが、事後報告になることが多い（女性・60代以上・近畿地方）
取るべき行動を詳しく教えてください。（女性・60代以上・九州北部地方）
気象庁が発表を早く出しすぎていて、何回も発表すると、信ぴょう性が無いように思えてしまう。何回か絞って発表の方が良いと思う。4時間おきとか、一日に3回発表するとか、決まった時間にしてほしい（女性・60代以上・関東甲信地方）
素晴らしい（男性・40代・関東甲信地方）
以前に比べると、災害の発生頻度が高くなっている気がする。そういう災害の被害が最小限で済むよう、力をつくしてほしい。期待している。（女性・40代・関東甲信地方）
特に（女性・40代・東北地方）
これからも頑張ってください！（男性・60代以上・九州南部・奄美地方）
災害の危険度をもっと上げさぐらいに発信した方が良いと思います。後方に崖地がある家が被害にあった映像を見るたびに思います。（女性・60代以上・関東甲信地方）
良いと思います（女性・30代・東海地方）
なし（女性・40代・北陸地方）
特にない（男性・60代以上・関東甲信地方）
がんばってね（男性・40代・関東甲信地方）
精度の向上（男性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・50代・中国地方）
とくにない（男性・20代・東北地方）
冷静な態度で記者会見されているので、良いと思います（女性・20代・関東甲信地方）
頼りにしています（男性・50代・関東甲信地方）
土砂災害危険区域に住んでいます。200mほどに一級河川で逃げ場が無いと知らされています。（女性・60代以上・近畿地方）
これからも頑張ってください。（男性・50代・中国地方）
特になし（男性・60代以上・近畿地方）
分かりやすく情報を教えてほしい（女性・50代・東海地方）
地域的に安全なんでも何でも良い。（男性・40代・中国地方）
特になし（女性・50代・関東甲信地方）
ない（男性・20代・沖縄地方）
気象庁の発表には、信じて行動します。（男性・60代以上・近畿地方）
地震予知についての専門性を向上させて欲しい。（女性・60代以上・東北地方）
大雨や大地震などわからなくても責任を取る人がいないのが不思議（女性・50代・関東甲信地方）
特になし（女性・30代・東海地方）
精度向上に尽きる（男性・60代以上・東北地方）
あまり期待し無い。（男性・60代以上・北海道地方）

特になし（女性・40代・東海地方）
特にない（女性・50代・中国地方）
熱心に仕事してくれていると思います（男性・40代・関東甲信地方）
特になし（男性・50代・北海道地方）
精度を上げてほしいが、何よりも今発表されている情報で、しなければならないことを教えてほしい。（男性・20代・近畿地方）
ない。（女性・50代・関東甲信地方）
天気予報は生活に大きく関わっているの、頼りにしています（女性・30代・近畿地方）
よく取り組んでいると思います。情報があるだけで安心します。（男性・60代以上・関東甲信地方）
解りやすい言葉を使ってほしい（女性・60代以上・中国地方）
とくにない（女性・40代・北海道地方）
特に（女性・50代・九州南部・奄美地方）
無し（男性・20代・東海地方）
特にありません（女性・60代以上・北陸地方）
より精度の高い情報をお願い申し上げます（男性・20代・近畿地方）
とくになし（男性・60代以上・関東甲信地方）
より精度の高い情報を流して欲しい（女性・60代以上・九州北部地方）
特にない（女性・60代以上・関東甲信地方）
有り難いです（女性・30代・関東甲信地方）
特にない（男性・20代・関東甲信地方）
地域の特定・狭義を追求して欲しい（女性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・60代以上・東海地方）
なし（女性・60代以上・近畿地方）
特になし（男性・30代・近畿地方）
特になし（男性・30代・北海道地方）
これまでの常識では考えられない災害が発生するような気がするの、将来の気象変動をわかりやすく説明する取り組みをして欲しい。（女性・60代以上・九州北部地方）
地元では高齢化が進んでいるので、緊急避難に要する時間を知りたいので、迅速な発表をお願いしたい。（女性・60代以上・近畿地方）
満足しております。（男性・20代・北陸地方）
特になし（女性・50代・北陸地方）
週間天気予報の確率を5段階ぐらいに示して欲しい。月曜日の晴れは信用度3とか。（女性・60代以上・関東甲信地方）
精度の向上あるのみ。決まり文句の注意は不要（男性・60代以上・関東甲信地方）
特になし。（男性・40代・関東甲信地方）
特に何も無いけど、（女性・60代以上・関東甲信地方）
別になし（男性・60代以上・九州北部地方）
交通安全教室のような、小学生の低学年を対象とした、天気教室のようなものがあれば、小さい時から天気に興味をもてると思う。気象の変動が大きい現在、避難のことも含め、知っておいたほうがよいかと思っています。（女性・40代・関東甲信地方）
会見で話をする担当者の育成(話下手な方が多いように感じるの)（男性・40代・近畿地方）
テレビ等で報道されることは、誰でもいえるような一般的なことで特段気象庁の職員が出てきて発表するようなものではない。もっと身近なものを言ってほしい。（男性・60代以上・関東甲信地方）

Ⅲ. 巻末資料

なし（女性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（女性・50代・関東甲信地方）
なし（男性・20代・関東甲信地方）
特にない（男性・20代・九州南部・奄美地方）
特になし（女性・60代以上・北陸地方）
地震速報の精度を上げてほしい速報が来ても大した揺れでない時もあり、本当に大きな地震の際にも、また大した事がないと思ってしまう（男性・40代・関東甲信地方）
以前に比べて、発表が解りやすくなった。（女性・60代以上・関東甲信地方）
今後も正確な情報を早く伝えられることを期待してます（男性・20代・近畿地方）
地震などは予想が難しいので、その中で対応される皆様に深く感謝します。引き継ぎ宜しくお願い致します。（男性・30代・九州北部地方）
とくになし（男性・40代・関東甲信地方）
なし（女性・40代・北海道地方）
災害時具体的な避難準備を知らせてほしい（女性・30代・関東甲信地方）
一人でも多くの方が災害から助かるように、災害予測や緊急災害速報以外にも、中心になって日々の災害対策や避難対策をも具体的に発信していただければありがたいと思う。（女性・40代・近畿地方）
大きな災害時、命を守る行動と繰り返し伝えられるが、もう少し方向性を支持した対策案を伝えてもらいたい（女性・50代・中国地方）
ない（女性・40代・北海道地方）
精度、予報確率の向上（男性・50代・九州北部地方）
とくになし（女性・20代・関東甲信地方）
オオカミが来たにならないようにと思うが、オオカミが来たを恐れないように。矛盾してますね。（女性・60代以上・関東甲信地方）
精度を上げて欲しい（男性・40代・関東甲信地方）
更なる予測精度の向上を期待しています（男性・40代・関東甲信地方）
特になし（女性・20代・関東甲信地方）
いつもありがとうございます。（男性・20代・東北地方）
より安全に過ごせる情報が欲しい（女性・40代・近畿地方）
情報の精度を上げてほしい（男性・60代以上・四国地方）
毎度台風や災害時に細かな情報を提供くださりありがとうございます。（男性・20代・関東甲信地方）
大雨特別警報って降り始める前に出さなきゃ逃げられないと思いますが違いますか？（男性・50代・東北地方）
今後とも精密な予報通知を期待します（女性・40代・近畿地方）
全てにおいて（特に台風情報）大げさすぎる。このままではオオカミ少年になってしまうだろう。（男性・60代以上・東海地方）
もっと身近で役立つ災害情報を期待したいです（男性・30代・北海道地方）
いつもありがとうございます（男性・20代・関東甲信地方）
住民末端までより早く伝わる制度の整備（男性・60代以上・九州北部地方）
とても参考になります（女性・60代以上・東北地方）
特に無し（女性・40代・近畿地方）
特にありません。これからも予報の精度向上に精進してください。（女性・50代・東北地方）
気象庁の予報や発表は、他の予報機関に比べてコンサバと言うか、ネガティブな予報になりすぎていて、見たくないものになってきていると思います。国民の防災意識や危機感を高めることは大事だと思います

が、前向きな情報発信をもっと増やしてほしいです。(男性・30代・関東甲信地方)
ない(女性・40代・関東甲信地方)
特にありません。(女性・50代・近畿地方)
天気予報が難しいときに曇りマークでごまかすのはやめてほしい。大体曇りにならず、晴れるか雨になるかである。(男性・50代・関東甲信地方)
地震の後の適切な対応を発信し続けてほしい(男性・30代・近畿地方)
とくに(女性・20代・北海道地方)
精度を高めて欲しい(女性・50代・近畿地方)
ない(男性・30代・関東甲信地方)
特に無し(男性・50代・関東甲信地方)
特にありません。(男性・60代以上・関東甲信地方)
なし(男性・40代・東海地方)
特になし(女性・40代・近畿地方)
特に無し。(女性・50代・近畿地方)
ない(女性・30代・関東甲信地方)
なし(男性・60代以上・北陸地方)
更に精度の確かな災害情報に取り組んで頂きたい。(男性・50代・関東甲信地方)
なし(女性・50代・関東甲信地方)
特にありません。(男性・40代・関東甲信地方)
特になし(男性・20代・近畿地方)
今後も正確な情報、速報を期待しています。昔に比べ正確になったことを実感しています。(男性・60代以上・関東甲信地方)
降雪に対する精度を上げてほしい(男性・60代以上・北陸地方)
精度余りにも良くないし、放送局によってもかなり異なり何を信じたら良いか解らない。(男性・60代以上・北陸地方)
特になし(女性・60代以上・東北地方)
予測の精度向上に取り組んでほしい。(男性・30代・東北地方)
昨年大阪の震災では気象庁のホームページで余震の情報等が出ているのが大変助かりました。しかし緊急地震速報は揺れが始まってから鳴って、その時点で既に最初の揺れで崩れた本棚の本にスマートホンが埋もれてしまっていて全く意味がなかったです。(女性・30代・近畿地方)
安全のためにもものすごく努力してくれている。が、最悪の事態を想定しての話ばかりでいつも結果なにも無かった。で、いくら緊急性を伝えてもあまり響かなくなってしまった。(気象庁の対応が誇大とかではない。)(女性・20代・関東甲信地方)
特に無し(女性・30代・関東甲信地方)
特にない(女性・50代・東海地方)
益々、正確な情報ももらいたい。(男性・60代以上・関東甲信地方)
無し(女性・60代以上・中国地方)
特にありません(女性・40代・関東甲信地方)
災害が発生するとの会見の際に、少し笑って話しているように感じて、非常に不愉快だ。(男性・50代・九州北部地方)
いつもありがとうございます(女性・30代・北海道地方)
なし(男性・30代・東海地方)
特にない(女性・50代・関東甲信地方)

Ⅲ. 巻末資料

より速く、より精度の高い気象情報を伝えて欲しい。(女性・60代以上・中国地方)
早めに行動するために、色々な人にわかるように、これからも、頑張ってください。(女性・40代・九州北部地方)
面白い(男性・20代・関東甲信地方)
とくにない(女性・20代・近畿地方)
災害発生に備えた警報等を会見してくれるようになって、備えなければいけないと実感するようになった。でも、地震速報は速報発表から地震発生までが短すぎて恐怖を感じることはできないのが困ったところ。(女性・30代・関東甲信地方)
予報が当たるようにがんばらー(女性・30代・関東甲信地方)
ない(女性・20代・関東甲信地方)
南海トラフ地震が何年も前から来るって言って来てないことがずっと気になること人工地震についてはどうなのかということ(男性・30代・東海地方)
迅速かつ丁寧に(男性・20代・関東甲信地方)
・最近の台風情報での、「命を守るための行動をとってください」という表現は、ダイレクトに危機感が伝わり良いと思った。・難しい気象用語も、最近はわかりやすく変えてくれるようになったので、判断しやすくなった。・身近に感じられるようになってきた。(女性・60代以上・関東甲信地方)
より事前に正確に情報を伝えてほしい(男性・40代・九州北部地方)
地震予測、正確になるといいなあ(女性・20代・関東甲信地方)
特になし(男性・40代・関東甲信地方)
特にない(女性・20代・近畿地方)
早めに詳しい情報を知らせて欲しい(女性・40代・東海地方)
正確な情報をお願い(女性・50代・東海地方)
日々 精度を上げるため 頑張ってください(女性・50代・近畿地方)
日々 情報の正確が高まっているので凄いです関係者の皆さんの努力に感謝(男性・50代・関東甲信地方)
特になし(女性・60代以上・近畿地方)
緊急避難勧告の時、車の中で亡くなった人が多くあったが、家にとどまった方がいいのか、一刻も早く外に出て避難した方がいいのか、判断情報をきめ細かく情報を発信して欲しい。(女性・60代以上・関東甲信地方)
災害は、予測のつかない面もあり、大変な事と、思いますが、気象衛星など、正確さが向上されていると思います、これから寄り迅速的対応を、期待します。(女性・60代以上・九州北部地方)
大雨が発生している地域と河川が氾濫する地域には、ズレがあるので、氾濫の可能性が高い地域についても詳細な情報が欲しい。(男性・60代以上・九州北部地方)
災害が起こるときになるべく早く、詳細に情報が受け取れるようにして下さると助かります。(男性・40代・関東甲信地方)
なし(男性・30代・四国地方)
特になし(男性・50代・北陸地方)
頑張ってください(女性・60代以上・関東甲信地方)
地震、台風、大雨など、細かく知らせてくれて助かる。台風19号の時は、避難したくても小さい子供がおり避難できずに困った。TV等で、避難の呼びかけは大切だが、自治体の受け皿が整ってないように感じた。(女性・30代・関東甲信地方)
警報を乱発しすぎているので警報の信憑性が薄れている気がする。広島のと砂災害の時にマスコミが行政のせいにしてすぎて批判して以降、注意報にもならないレベルで警報が出されるので警報や注意報に対して

鈍感になっている。(女性・50代・中国地方)
いつもありがとうございます(女性・20代・近畿地方)
天気予報で、1日のうちに雨が降るかどうかは分かるが、降り始めの時刻が外れていることが多い。精度をあげてほしい。(女性・60代以上・近畿地方)
特になし(男性・30代・関東甲信地方)
自然災害が多発し、気象庁の対応も深化していると感じる。普段からの心がけというか、普段から災害を意識した生活が必要ではないか？普段の日の意識改革を意識した取り組みをしてほしい。(男性・60代以上・関東甲信地方)
特になし(男性・40代・近畿地方)
引き続き取り組みを強化していただければと思います。(女性・20代・北陸地方)
より正確な情報を早く伝えて欲しい。高齢者や障害のある方、外国の方は避難が遅れてしまうので。(女性・30代・東海地方)
かわいちゃん(女性・20代・東海地方)
無し(女性・60代以上・関東甲信地方)
特にありません(女性・60代以上・関東甲信地方)
特になし(女性・20代・近畿地方)
精度が上がるのが安全につながると思うので頑張ってください。(女性・20代・九州北部地方)
なし(男性・30代・関東甲信地方)
わからない(男性・20代・近畿地方)
特になし(女性・60代以上・関東甲信地方)
特になし(男性・30代・関東甲信地方)
特になし(女性・50代・東北地方)
もっと情報の精度が上がることを期待したい。(男性・30代・関東甲信地方)
過去の経験則だけで判断しすぎ。わからないのに意地でわかったふりは見苦しい。(男性・50代・関東甲信地方)
インターネットで自分の地域を検索する方法を告知して欲しい(女性・40代・関東甲信地方)
特にない(女性・40代・九州北部地方)
いまいち頼りない。被害に遭うかもしれない地域への思いやりに欠けている。お役所仕事かな？(男性・60代以上・関東甲信地方)
特になし(女性・20代・近畿地方)
ない(女性・50代・北海道地方)
特になし(女性・20代・四国地方)
もっと気象情報全般の正確性をあげてほしい(男性・30代・九州北部地方)
南海トラフ地震は本当にくるのか疑問。(男性・30代・東海地方)
特にありません(男性・60代以上・近畿地方)
特になし(男性・20代・沖縄地方)
迅速的確な予想と発表を今後もお願いします。(男性・40代・九州北部地方)
無し(男性・30代・東海地方)
分からない(女性・40代・関東甲信地方)
なし(女性・50代・近畿地方)
特に不満はなく、取組には納得できる。天気予報がすぐわかることや精度の高さなど、満足できる点は多い。インターネットを活用して、十分な情報提供に努めていると思う。(男性・20代・関東甲信地方)
引き続き災害に対して常に我々に情報を与えてほしい。(女性・30代・近畿地方)

Ⅲ. 巻末資料

特になし（女性・60代以上・近畿地方）
天気予報は生活に密着した大切な情報なので、毎日欠かさず見えています！（女性・50代・関東甲信地方）
最近、地震も広範囲に報道するので揺れを感じない事もある。台風も進路の予想通りにならなくても修正しない事があるので予定が狂う。（女性・60代以上・九州南部・奄美地方）
特にない（女性・20代・九州南部・奄美地方）
災害時に不眠不休で対応して頂いていると感心しています。気象状況が厳しい方向になってきているので、とても大変だと思っています。（女性・60代以上・関東甲信地方）
なし（女性・60代以上・北海道地方）
いつも助かっています。ありがとうございます。（女性・30代・北陸地方）
とくになし（男性・20代・北海道地方）
特になし（男性・50代・九州北部地方）
数十年に一度とかの基準の他にも具体的な基準となる数値もお願いします。（男性・50代・近畿地方）
特になし（女性・50代・関東甲信地方）
なし（女性・60代以上・近畿地方）
天気予報の的中率がら高まっているようで、驚きました。災害時などしか取り上げられないので、ドキュメント番組などで組織のことも知りたいなと思った。（男性・30代・北陸地方）
なし（男性・20代・近畿地方）
特にない（女性・60代以上・近畿地方）
もっと細かく対象地域を知りたい。（女性・40代・関東甲信地方）
特にありません（女性・20代・九州北部地方）
特になし（男性・30代・九州北部地方）
天気精度を上げて欲しい（男性・40代・関東甲信地方）
災害が多くなったので、気象庁の重要性が大きくなりました。政府、マスコミにもっと協力してもらい、国民全員が防災意識を高め、どうしたら今後被害を最小限に押さえられるか、まずは、家族、職場、市町村、道府県、国、そして、世界の国々と環境問題を考えねばならないたいせつな時代になりました。日本だけではなく、地球規模で大きな人類の知恵協力で未来を考えていかなければなりません。小さな積み重ね大事です。災害時だけではなく、いつも防災に意識が向けるよう、宜しく願いいたします。（女性・60代以上・関東甲信地方）
HPが見辛い（男性・20代・東北地方）
最近、命に関わる情報を出して良い（男性・40代・関東甲信地方）
特になし（女性・40代・四国地方）
特に無し（男性・20代・東海地方）
もっと細かい地域密着の情報が必要。（男性・50代・近畿地方）
なし（女性・30代・東海地方）
発表をよりだいてきに放映してほしい（男性・20代・東海地方）
精密さを（女性・30代・関東甲信地方）
人が住むのには危険な土地を、安かろう悪かろうで売ったり買ったりするのを傍観してきたことが悪い。今すぐ退去させるべき。復興とか風評という言葉には違和感がある。早く危ない地盤から離れた生活圏へ引っ越すのを促すべきだ。土地にしがみついて危険に目をつぶっても、数年後数十年後に同様な自然災害が来るのは必須。気象庁にはそこまで突っ込んだ関与を希望する。（女性・50代・北陸地方）
年々情報の精度が上がっているのを実感しておりますが、具体的な行動についても教えてもらえると助かります。（女性・30代・近畿地方）
特になし（男性・30代・東北地方）

素人にもわかるような説明をお願いしたい。(女性・30代・関東甲信地方)
なし(男性・20代・関東甲信地方)
頑張ってください(男性・40代・関東甲信地方)
気象庁には引き続き頑張ってもらいたい(男性・30代・近畿地方)
特になし(女性・60代以上・関東甲信地方)
なし(男性・20代・関東甲信地方)
無し(女性・60代以上・近畿地方)
特にありません。(男性・20代・関東甲信地方)
予報の精度をもっと高めてほしい(男性・60代以上・関東甲信地方)
特になし(男性・60代以上・東北地方)
がんばってもらいたい(男性・60代以上・北陸地方)
情報助かります(女性・40代・関東甲信地方)
とくにありません(男性・30代・北陸地方)
無し(女性・40代・関東甲信地方)
テレビの、若い女子の天気予報はやめてほしい。(男性・60代以上・関東甲信地方)
段階的な速報の違いが分かりにくい(女性・60代以上・九州北部地方)
特にありません。これからも宜しくお願いします。(男性・20代・九州北部地方)
なし(男性・20代・関東甲信地方)
正確な情報をより早く(男性・50代・東海地方)
発令された警報に対して、備えるべき具体的な対策について、逐一情報提供してほしい。(男性・40代・近畿地方)
災害が増えてきているので、どんな些細な事でもいいのでどんどん情報を発信してほしい。災害に備えるための時間が必要なので、早めに情報を発信してほしい。身を守る為なら予報が外れても構わない。気象庁の緊急記者会見の時緊急地震速報のようにアプリで通知してほしい。仕事中にテレビなど見れないので。 (女性・40代・九州南部・奄美地方)
なし(女性・20代・関東甲信地方)
とくにない(女性・20代・東海地方)
頑張る(男性・30代・関東甲信地方)
とても良く努力されていると感じています。今後も頑張ってください。(男性・60代以上・関東甲信地方)
天気、地震予報に満足してます(男性・60代以上・中国地方)
特にありませんこれからも有用な情報をお願いします(女性・60代以上・関東甲信地方)
もっとわかりやすくしてあげて(男性・30代・関東甲信地方)
ありがとう。(男性・20代・四国地方)
個別の正確な情報を(男性・40代・四国地方)
特になし(男性・40代・関東甲信地方)
迅速に的確に早めの避難を出来る報道をして欲しいです(女性・60代以上・関東甲信地方)
気象の変化が激しいなか、気象庁はよくやってくれていると思う。今年の台風19号の時は、以前の台風被害を引き合いに出して、より緊張感を高める事に成功したが、一方で進路に対して誤ったメッセージと捉えられた一面もあった。あの時、台風の被害想定はこう、進路は必ずしもこうではない、と付け加えていただくと捉え方の精度があがるのかな、と思う。(女性・60代以上・東北地方)
なし(男性・30代・九州北部地方)
ない(男性・20代・近畿地方)
都会での詳細情報は精度が増して来ていますが地方への情報精度も良くなるようになればいいと期待しま

Ⅲ. 巻末資料

す（女性・60代以上・北海道地方）
最近の天気予報はわかりやすくよくあたると思う（女性・60代以上・九州北部地方）
天気予報の精度をもっとあげてほしいと思います。あと、地震の予想をしてほしい（女性・30代・関東甲信地方）
緊急地震速報は必ずしも地域に根差していないように思う時があります。時々拍子抜けすることがあります。何もなくて有難いのですが…。（女性・60代以上・関東甲信地方）
気象予報の精度は上がっており信頼度が増している、ただ近年は未曾有の気象災害が多くなっており対応に混乱が見られる。大変とは思いますがさらに安心のための努力をお願い致します。（女性・60代以上・北陸地方）
特になし（女性・60代以上・東海地方）
特になし（女性・20代・関東甲信地方）
今以上の精度の情報提供を願います。（男性・60代以上・近畿地方）
日頃から天気予報には気をつけているので、更なる精度向上を望む（男性・50代・九州北部地方）
台風の移動を1時間単位で分かるようにしてほしい（男性・30代・近畿地方）
命を守る行動という言い方は曖昧すぎる（女性・50代・関東甲信地方）
阪神淡路大震災を経験しました。緊急時パニックになり何も出来ない事が心配です。（女性・60代以上・近畿地方）
緊急地震速報の精度向上を目指してほしいです。自然の力には、まだまだ追いつかないのが現状ですが、地震国日本の精度向上をアップさせて海外の地震多発国に日本の精度向上技術を伝えてほしいです。（女性・60代以上・四国地方）
自然災害に100パーセントの確率はないが適切な対応、いつも助かっている。（女性・30代・北陸地方）
情報の正確さが、欲しいです。（男性・60代以上・関東甲信地方）
特になし（男性・20代・関東甲信地方）
頑張ってください（女性・60代以上・近畿地方）
早めにお願ひしまふ（男性・20代・中国地方）
いつもありがとうございます！（男性・30代・関東甲信地方）
いつも一般的な発言が多いと感じる。（男性・60代以上・関東甲信地方）
天候、台風、地震、特に地震の予想精度を高めてほしい。予想に期待できるようにしてほしい。（男性・20代・東海地方）
ない（女性・30代・関東甲信地方）
引き続き宜しくお願いします（女性・50代・関東甲信地方）
なし（男性・30代・関東甲信地方）
昔に比べて色々な経験から地震や台風などの災害に備えられるような情報は年々できてきていると思います。（女性・40代・近畿地方）
川などが、氾濫するとどうゆう、被害が出るか、教えてほしい（女性・60代以上・関東甲信地方）
生活に直結したメッセージは参考になっています。（男性・30代・関東甲信地方）
なし（男性・30代・近畿地方）
これからもよろしくお願ひします（男性・30代・近畿地方）
なし（女性・50代・関東甲信地方）
なし（男性・20代・四国地方）
避難の呼びかけ（女性・60代以上・東北地方）
早めに、報道を伝えて欲しい（女性・60代以上・九州北部地方）
会見が以前よりわかりやすくなった。（女性・40代・近畿地方）

細かく教えてくれて助かります。(男性・30代・東海地方)
特になし(男性・60代以上・関東甲信地方)
何事にも、正確に迅速な情報を流して欲しいと思います。(男性・60代以上・関東甲信地方)
不安を煽るだけの様な情報もたくさんあるので、気象庁が的確な情報を発信して欲しい(女性・50代・関東甲信地方)
特になし(女性・20代・近畿地方)
大変な仕事だと思います。近所に住んでいる方で勤めているかたがいて、頑張っていると思います。台風の時など意見を聞いたりするのでありがたいです。(女性・50代・関東甲信地方)
なし(女性・20代・九州北部地方)
地域別の情報を細かく知らせてほしい(女性・60代以上・関東甲信地方)
予測の精度を上げて欲しい(男性・50代・九州北部地方)
特になし(女性・60代以上・北海道地方)
もっと皆さんに危険度、避難等知らせる手段があればいいと思った(女性・50代・東北地方)
別段不満を感じることはありませんが、台風情報をもっとまめに更新されるといいかなと思います(女性・20代・中国地方)
いつ起こるかわからないので、起こった時の対応を明確にしておいてほしい(男性・20代・九州北部地方)
とてもありがたい(女性・60代以上・東海地方)
地震予測の研究により投資してほしい。(男性・30代・関東甲信地方)
より一層の研究をお願いします(男性・30代・北陸地方)
地震が起きた際、どのような救護活動が行われるのか?(男性・40代・近畿地方)
現状の取組に満足していますが、更により速くせいか(男性・60代以上・九州南部・奄美地方)
なし(女性・40代・関東甲信地方)
なし(女性・40代・北陸地方)
特にありません(男性・30代・沖縄地方)
特にありません非常に役立ってます(男性・20代・関東甲信地方)
特になし(男性・60代以上・近畿地方)
自然相手で大変な情報管理ではあるが、当地の被害を最小限で抑えられるよう、今後は自治体に対する強制力等を持つべきである。また、東京直下・噴火等ご当地地震・火山活動に対するさらなるサイクルの精度向上や、温暖化による日本が今後受けるであろう姿を映像化し、幅広い世代に伝えて国民一人一人が、いま何ができるか・すべきかを促してほしい。(男性・60代以上・九州北部地方)
精度向上を期待する(女性・40代・関東甲信地方)
正確な情報をお願いしたいです(男性・40代・近畿地方)
精度を上げ、確実な情報を期待します。(女性・60代以上・東北地方)
特にありません。(女性・20代・中国地方)
もっと知りたい(男性・20代・九州北部地方)
なし(女性・20代・四国地方)
1ヶ月先の予報をして欲しい(男性・30代・関東甲信地方)
国民が取るべき行動を第一に広報して欲しい。命を守る行動といった統括した表現ではなく、具体的な行動を日頃から広報するよう期待します(男性・40代・関東甲信地方)
特になし(女性・40代・関東甲信地方)
なし(女性・50代・関東甲信地方)
とにかく予報の精度をあげてほしい。(男性・40代・関東甲信地方)
特になし(女性・20代・沖縄地方)

Ⅲ. 巻末資料

特になし（男性・30代・九州北部地方）
特になし。（男性・40代・関東甲信地方）
特になし（男性・20代・関東甲信地方）
スパコンの威力を感じます。がんばってください。（男性・60代以上・関東甲信地方）
一人でも多くの命が助かるように、より早くより正確な予報をお願いします（女性・30代・関東甲信地方）
ない（女性・40代・東海地方）
震災が多いので、対応策と起こった後の対策をわかりやすくしてほしい（女性・20代・東海地方）
なし（女性・40代・四国地方）
特にありません。（男性・30代・関東甲信地方）
何もなし（男性・30代・中国地方）
名古屋地域の降雪情報は予測が外れて大雪になることやまったく降らないことがあり、なかなか判断が難しいこともわかりますが、何とか精度を上げていただけると助かります。（男性・20代・東海地方）
もっと正確な天気欲しい（男性・30代・関東甲信地方）
特にありません（男性・20代・近畿地方）
情報が大袈裟な気がします。危機感を知らせる為でしょうが不安感を煽るだけの様な気がします。（女性・60代以上・東海地方）
ありがとうございました（男性・20代・関東甲信地方）
特にない（女性・50代・北海道地方）
以前に比べるとかなり精巧な情報をいち早くテレビ等で確認できる様になって身の備えも出来るので有難い。（女性・50代・九州北部地方）
特になし（女性・30代・九州北部地方）
なし（女性・60代以上・近畿地方）
今年は台風が何度も日本を襲い、甚大な被害をおぼした。国民一人ひとりの生命を守るために、大変ですが大いに力を振り絞って、予報をお願いしたいとおもいます。（女性・60代以上・東海地方）
気象庁の情報をとても頼りにしています。今後も予報予測の制度を上げることに努めていただきたいと共に、少しでも危険な状況になる可能性がある場合は、例え予測がはずれたとしても、強い言葉を使ってでも避難等を促して欲しいと思います。（女性・20代・九州北部地方）
一週間後の精度を上げてほしい、予定が組みやすくなる（男性・40代・東北地方）
特になし（女性・40代・関東甲信地方）
もっと活動をアピールすべき（男性・40代・関東甲信地方）
特にない（女性・40代・東北地方）
地震予報は無理なのか、精度を上げられるのか、難しいとはおもいますが、少しでも向上できるよう願います。（女性・50代・近畿地方）
いつもありがとう（男性・20代・九州北部地方）
台風予想は狼少年だと思ってますもっと頑張ってください（男性・30代・関東甲信地方）
いかに迅速に地震などの災害を素早く知らせ、避難させるとが大事だと思います。（男性・60代以上・近畿地方）
特にない（女性・40代・近畿地方）
ネット情報の充実（男性・30代・関東甲信地方）
明日の予報はなるべく正確をお願いします。（女性・60代以上・関東甲信地方）
情報の提示が遅い、もっと精度を上げて早く正確に伝えてほしい。（男性・60代以上・関東甲信地方）
更に精度を上げて頂き、具体的行動に繋がるようはアナウンスを期待します（男性・60代以上・関東甲信地方）

いつもありがとうございます（女性・30代・関東甲信地方）
特になし（男性・20代・東海地方）
インターネットが普及してもテレビ、ラジオでの周知を続けて欲しい。（女性・50代・九州北部地方）
なし（女性・30代・関東甲信地方）
特にありません。（男性・30代・関東甲信地方）
詳しくわかる（男性・20代・九州北部地方）
予報は、大変かと思いますが。頑張って予報をお願いします。（女性・60代以上・関東甲信地方）
気象庁の発する災害への予想精度や速度を高めることが1番ありがたいです。ありがとうございます。（男性・20代・近畿地方）
いつも情報を提供していただきありがとうございます。気象庁さんのおかげでいざと言うときの行動がより判断しやすくなります。（女性・40代・九州北部地方）
なし（女性・50代・東北地方）
なし（女性・60代以上・九州南部・奄美地方）
1)衛星の気象データを公開して頂きたい。2)予報の間隔を短くして頂きたい。3)ピンポイント（半径50m程度）で降水確率を出して頂きたい。（男性・60代以上・中国地方）
なし（男性・20代・東海地方）
特になし（男性・40代・東海地方）
当たり前のように見ている天気予報ですが、たくさんの人の努力の上にあると感じました。ありがとうございます。（女性・30代・関東甲信地方）
情報を身近に手ほしい。実際は逃げるしか手がないがこの辺は年寄りが多いから逃げないと思う（女性・30代・近畿地方）
なし（女性・60代以上・北海道地方）
より精度の向上を（男性・20代・中国地方）
ない（女性・20代・中国地方）
天気予報はほとんど当たっていて、毎日とても活用しています。ありがとうございます。（女性・50代・関東甲信地方）
洗濯物を干して大丈夫か知りたいです（女性・20代・関東甲信地方）
わかりやすい言葉を使って、小学生でも分かる説明をしてほしい。今のままでは、つまり何がしたいのかをかりにくい。本当に伝えたいことを要約して分かりやすい説明を希望します。（女性・40代・近畿地方）
天気予報がはずれている事が多い（女性・20代・近畿地方）
特にありません（男性・30代・関東甲信地方）
なし（女性・20代・東海地方）
精度があがっていると思います。また、結果的に外れてもよいので、積極的な情報提供をお願い致します。（男性・40代・関東甲信地方）
早期通知をお願いします。（男性・60代以上・近畿地方）
発表がおそい（女性・20代・東海地方）
津波が来たときどのくらいの場所まで、来るかをしりたい（女性・60代以上・近畿地方）
今年の夏休みに西日本を超大型の台風が襲うと随分前から大騒ぎになっていて、電車は運休、高速道路は通行止め、商業施設は臨時休業となり、自分も年に一度しか行けない旅行を取りやめざるを得なくなったが、実際は雨がやや強かった程度で被害らしい被害は何もなかった。警戒はいいが、庶民を必要以上に煽り立てないように配慮してほしい。（男性・50代・東海地方）
緊急地震速報はとにかく正確差とスピードが重要（女性・60代以上・近畿地方）

Ⅲ. 巻末資料

なし（男性・60代以上・北陸地方）
台風や地震など、全員ができる避難・準備などを明確に伝えられるようになって欲しい（女性・20代・中国地方）
いっどこで地震や災害に遭うかわからないので、自助による日頃からのシミュレーションが大事だと思う。（女性・30代・東北地方）
特になし（女性・20代・東海地方）
天気予報の、精度向上をお願いします（男性・20代・東海地方）
正確な情報をお願いします。（男性・40代・東海地方）
地域の細やかな情報（男性・60代以上・関東甲信地方）
特にない（女性・20代・関東甲信地方）
台風の進路予想をできるだけ正確にしてほしい地震は予想は無理そうなので、運を天にまかせるしかないのかもしれないが、台風は何日か前に発生してるんだし（女性・50代・近畿地方）
なし（男性・30代・関東甲信地方）
今後も精度をあげていただき、防災に活用させていただきたいです。（男性・50代・近畿地方）
特にありません（男性・40代・近畿地方）
テレビ、ラジオ、インターネットなど以外でも緊急情報を伝達できる方法を色々と実施してほしい。（男性・50代・関東甲信地方）
会見が堅苦しく、緊張感はあるが、もう少し優しい言葉で会見して欲しい（女性・20代・関東甲信地方）
地震の予測はおいても、台風や大雨の予報は自治体を通して、正確に伝えて欲しい。どういう土地や場所が危険か(ex.氾濫する河川の近隣、下水から雨水が溢れる様な場所、等)普段から具体的に示しておく事が必要。（女性・40代・関東甲信地方）
特になし（男性・20代・関東甲信地方）
頑張ってください。（男性・30代・九州北部地方）
早めの対応を（女性・60代以上・九州北部地方）
特にはない（女性・60代以上・関東甲信地方）
愛知県は海外が少なくきつと近々大きな災害がこないように祈るだけです。（女性・60代以上・東海地方）
地震や台風などの災害がなるべく防げるような情報を発信して欲しい（女性・40代・関東甲信地方）
迅速、的確な情報をお願いします（女性・50代・九州北部地方）
地震があまりに多発しているため震度3以上の時地域限定の放送があれば嬉しい。（男性・60代以上・東北地方）
特になし（女性・40代・近畿地方）
事前にわかる被害、避難した方がよい場合は明るいうちに早めに勧告をだして欲しい（女性・60代以上・近畿地方）
とくになし（男性・50代・東海地方）
特になし（女性・30代・関東甲信地方）
特に無し（男性・30代・東海地方）
ない（男性・30代・関東甲信地方）
応援してます（男性・30代・関東甲信地方）
天気予報のサイトが多いので、どこのサイトを見るべきくの指針を出して欲しい（男性・30代・東海地方）
特にない（女性・60代以上・関東甲信地方）
精度を上げてよりよい物にしてってください（男性・20代・東海地方）
これまでこように大きな災害が起こりそうな時は会見で丁寧に説明してほしい。（女性・20代・関東甲信地方）

特になし（男性・60代以上・四国地方）
特にないです。（男性・60代以上・九州南部・奄美地方）
特になし（男性・60代以上・東海地方）
前もって、という対応は大変良いと思うが、最近慎重になりすぎていて交通の麻痺が起こりすぎているように思う。また解除が遅いと思う。（女性・40代・関東甲信地方）
気象庁が発表してくださる気象情報は、自身の行動を決めるのにとっても助かっています。（男性・30代・九州南部・奄美地方）
特になし。（女性・30代・九州南部・奄美地方）
早目の情報と避難勧告の通知を明確に伝えて欲しい。何事もなく終わったとしても命が大切だと思う。（女性・60代以上・九州北部地方）
各地域の放送で聞こえやすいように音質が良くなったら行動がしやすいと思います。何を言っているのか聞き取れないことが多いので、テレビやスマートフォンを持っていない人がいたら現状把握がしづらい場合が多いです。仕事中などの人も含めて危機感をより強める為に拡声器の音質を良くしていけたらと思います。（男性・20代・関東甲信地方）
特になし（女性・50代・関東甲信地方）
予報の精度が高く参考になります。（女性・60代以上・東海地方）
特になし（男性・20代・北海道地方）
特になし（男性・20代・関東甲信地方）
より情報を早く、知らせてほしい。（男性・60代以上・北海道地方）

----- < 調 査 票 > -----

気象情報に関する利活用状況調査

（全員）

■防災についての意識等についてお伺いします。

Q1. 大雨や台風などに伴い自分の住んでいる地域に災害リスクがあるかどうか知っていますか。あなたの状況に最も近いものを1つ選んでください。

1. 自分の住む地域の災害リスクを、ハザードマップなどを確認して把握している
2. 自分の住む地域の災害リスクを知人や周囲の人などから聞いてある程度把握している
3. 自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはあると思っている
4. 自分の住む地域の災害リスクを把握していないが、リスクはないと思っている
5. 自分の住む地域の災害リスクについて考えたことはない

（Q1=3~5）

Q2. あなたが自分の住む地域の災害リスクを把握していない・災害リスクについて考えたことはない理由は何か。あてはまるものを全て選んでください。

1. 災害は滅多に発生しないと思っているから
2. 自分の住む地域で災害を経験したことがないから
3. ハザードマップは当たらないと思っているから
4. 自分の住んでいる環境（崖や川の有無、低地か高地かなど）で何となく分かるから
5. 災害リスクの把握の仕方が分からないから
6. 災害リスクを把握する時間がないから
7. 特に理由はない
8. その他（具体的に理由を記入してください）

（全員）

Q3. あなたは、大雨や台風による災害から身を守るために気象庁から発表される防災気象情報を知っていますか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 警報、土砂災害警戒情報、特別警報
2. 台風情報
3. 全般、地方、府県の気象情報
4. 危険度分布（土砂災害、浸水害、洪水害）
5. 指定河川洪水予報（氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報）
6. 竜巻注意情報
7. その他（知っている防災気象情報を具体的に記入してください）
8. 全く知らない

（Q3=全く知らない以外）

Q4. あなたは、そのような防災気象情報があることをどのような機会を通じて知りましたか。あてはまるものを全て選んでください。

1. テレビ、ラジオ
2. インターネット（SNSを除く）
3. ツイッター、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）
4. パンフレット、リーフレット
5. 防災イベント
6. 講演会
7. ワークショップ
8. 学校の授業
9. 家族や知り合いとの会話
10. その他（知った手段を具体的に記入してください）

(Q3=全く知らない以外)

Q5. あなたが前質問で回答した機会の中で、気象庁が行っている防災に関する広報・普及に関する取り組みはありますか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 気象庁ホームページ
2. 気象庁ツイッター
3. 気象庁作成のパンフレット、リーフレット
4. 地方気象台などで開催しているお天気フェア
5. 防災気象講演会
6. 気象庁ワークショップ
7. その他（見聞きした取組を具体的に記入してください）
8. 気象庁が行っている防災に関する普及・啓発の取り組みで知った防災気象情報はない

(全員)

■天気予報についてお伺いします。

※ここでは、テレビやラジオ、新聞、インターネットなどで伝えられる晴れや雨、気温、降水確率などの予報を「天気予報」と呼びます。

Q6. あなたは、過去 1 年間に「天気予報」をどの程度見聞きしましたか。あてはまるものを 1 つ選んでください。

1. 1. 1日に2回以上
2. 1日に1回程度
3. 週に2~4回程度
4. 週に1回程度
5. 週に1回未満
6. 見聞きしなかった

(Q6=1~5)

Q7. あなたは、過去 1 年間に天気予報を見聞きした後にどのような行動をとりましたか。あてはまるものを全て選んでください。

1. テレビ、ラジオ等（インターネットを除く）から最新、詳細な気象情報を確認した
2. インターネットで最新、詳細な気象情報を確認した
3. 傘や長靴などの雨具を準備した
4. 暑さや寒さに備えた服装にした
5. 洗濯を行うかどうか決めた
6. レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決めた
7. 仕事の計画の変更又は継続を決めた
8. 熱中症に備えた
9. 家族や知り合いに見聞きした天気予報を伝えた
10. その他：(とった行動を具体的に記入してください)
11. 特段の行動はとらなかった

(Q7=1~10)

Q8. あなたが過去 1 年間に天気予報を見聞きした後にとった行動の結果から、天気予報はどの程度役立ちましたか。あなたの考えにもっとも近いものを 1 つ選んでください。

1. 役立った
2. やや役立った
3. あまり役立たなかった
4. 役立たなかった

(Q6=1~5)

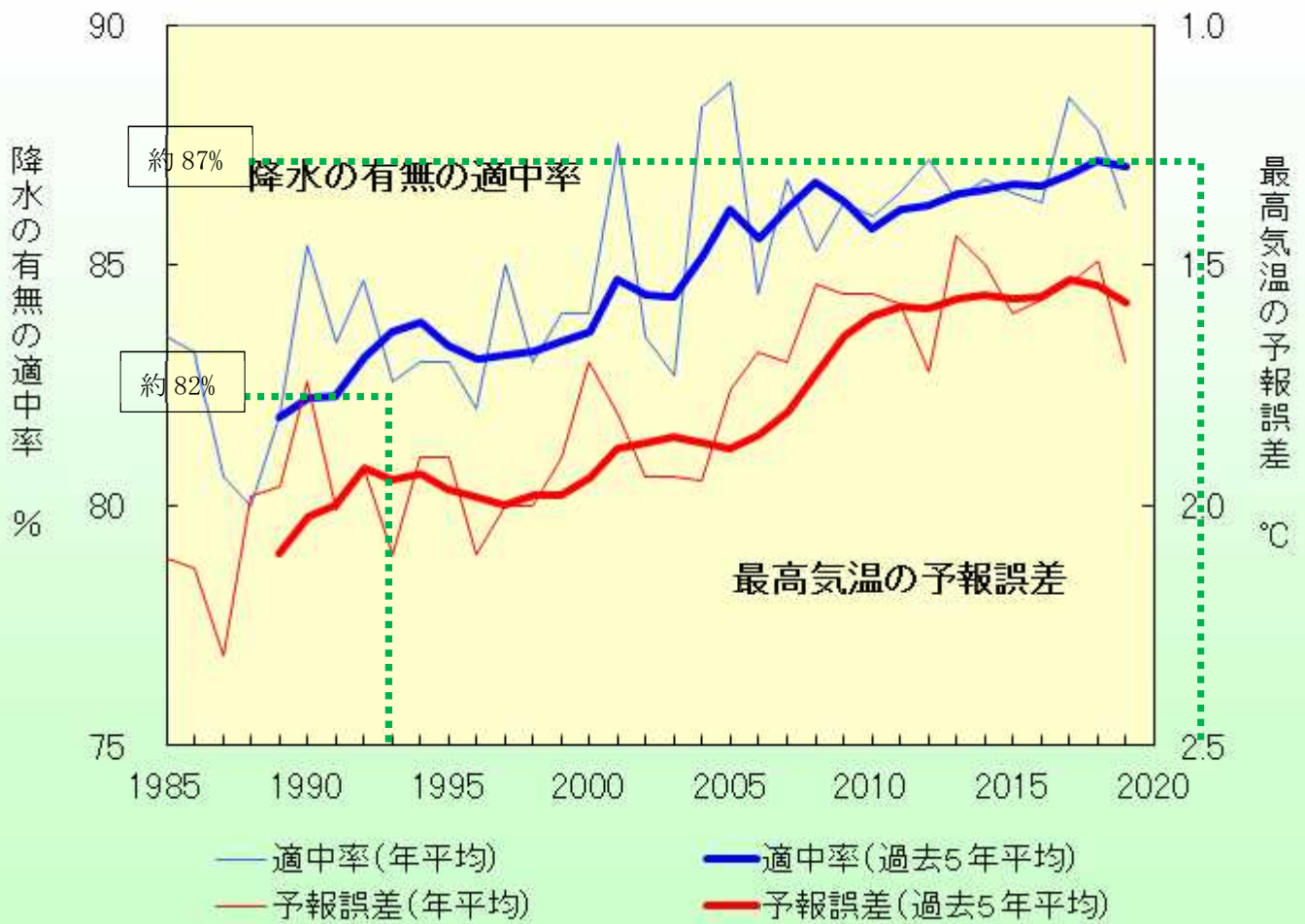
Q9. あなたが天気予報について期待することは何ですか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。

1. 最も期待すること
 2. 2番目に期待すること
 3. 3番目に期待すること
- 予測の精度向上
 - 時間的にきめ細かな予報
 - 空間的にきめ細かな予報
 - 天気予報で発表する情報の整理
 - 予報が変わったことを伝えてほしい
 - その他（期待することを具体的に記入ください）
 - 特になし

(全員)

Q10. 次の図は、気象庁が発表する天気予報の精度の年ごとの変化です。例えば、「降水の有無の適中率」は 1990 年は約 82 パーセントで 2018 年は約 87 パーセントであることを示しています（図中青太線）。この図を見てどのように感じますか。あなたの考えにもっとも近いものを 1 つ選んでください。

東京地方の予報精度(夕方発表の明日予報)



1. 天気予報の精度の向上を実感しており、現在の精度は十分であると感じる
2. 天気予報の精度の向上を実感しているが、現在の精度は十分ではないと感じる
3. 天気予報の精度が向上している実感は無いが、現在の精度は十分であると感じる
4. 天気予報の精度が向上している実感は無いし、現在の精度も十分ではないと感じる

(全員)

■台風に関する情報についてお伺いします。

※ここでは、テレビやラジオ、新聞、インターネットなどで伝えられる台風の実況、今後の進路や強度及び防災上の留意点に関する情報を「台風に関する情報」と呼びます。

(Q3=2)

Q11. あなたは、台風に関する情報を見聞きした際に、どのような行動をとりましたか。過去1年間に見聞きした場合の行動について、あてはまるものを全て選んでください。

1. テレビ、ラジオ等から最新、詳細な気象情報を確認した
2. インターネットから最新、詳細な気象情報を確認した
3. 市区町村による避難情報を確認した
4. 家族や知り合いに情報を伝えた
5. 外出を控えた
6. 通勤や通学ができるかどうかを確認した
7. レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決めた
8. 仕事の計画の変更又は継続を決めた
9. 避難又は避難の準備を行った
10. その他（とった行動を具体的に記入してください）
11. 特段の行動はとらなかった
12. 過去1年間は見聞きしたことがない

(Q11=1~10)

Q12. あなたが過去1年間に台風情報を見聞きした後にとった行動の結果から、台風情報はどの程度役立ちましたか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

1. 役立った
2. やや役立った
3. あまり役立たなかった
4. 役立たなかった

(Q3=2)

Q13. あなたが、台風情報に期待することは何ですか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。

1. 台風の発生前から台風の発生や進路についての予報
2. 台風の進路や強度の予測精度向上
3. 台風の進路予報で台風が進む範囲の詳細な表現（現在は円で表現しているが楕円やメッシュで示すなど）
4. 自分のいる地域での危険な状況（程度）がわかりやすい情報
5. 予想時間の延長（現在は5日先までの予報）
6. 進路予報の図において、予報円の時間間隔をもっと短くした情報（現在、1日より先の予報は1日間隔）
7. 台風の大きさの予報（現在は強さの予報のみ）
8. 台風が温帯低気圧や熱帯低気圧に変わった後の進路や強度の予報の継続
9. どのように行動したらよいか判断できる情報
10. その他（期待することを具体的に記入してください）
11. 特になし

(Q3=2)

Q14. あなたは、台風の発生前から台風の発生や進路の予報があった場合、何に活用したいですか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 避難の準備や台風に対する備えを行う
2. レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決める
3. 仕事の計画の変更又は継続を決める
4. その他（活用したいことを具体的に記入してください）
5. 活用しないと思う

■大雨警報等についてお伺いします。

(全員)

※ここでは、大雨に伴い土砂災害や浸水害などの災害が発生するおそれが高まったときに気象庁から発表される大雨注意報、大雨警報、土砂災害警戒情報、大雨特別警報を「大雨警報等」と呼びます。また、土砂災害、浸水害及び洪水災害の危険度が高まっている場所を一目で把握できるよう、危険度を地図上で色分けした情報を「危険度分布」といい、気象庁ホームページ等で公開しています。

Q15. あなたは、「大雨警報等」を知っていますか。また、過去1年間に自分のいる地域に発表された大雨警報等を見聞きしたことはありましたか。

1. 知っており、自分のいる地域の大雨警報等を見聞きしたことがある。
2. 知っているが、自分のいる地域の大雨警報等を見聞きしたことはなかった。
3. 知らない

Q16. あなたは、「危険度分布」を知っていますか。

1. 名前を知っており、内容も理解していた
2. 名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた
3. 名前は知っていたが、このような情報は知らなかった
4. 全く知らなかった

(Q15=1)

Q17. あなたは、昨年1年間に自分のいる地域を対象とした大雨警報等を見聞きした後に、どんな行動をとりましたか。あてはまるものを全て選んでください。

1. テレビ、ラジオ等から最新、詳細な気象情報を確認した
2. インターネットから最新、詳細な気象情報を確認した
3. 自分のいる市区町村のどこが危険な状況となっているか「危険度分布」を地図で確認した
4. 自分のいる地域のハザードマップを確認した
5. 自分のいる地域の市区町村による避難情報を確認した
6. 家族や知り合いに情報を伝えた
7. 外出を控えた
8. 通勤や通学をするかどうかを決めた
9. レジャーや旅行の計画の変更又は継続を決めた
10. 仕事の計画の変更又は継続を決めた
11. 避難又は避難の準備を行った
12. その他(とった行動を具体的に記入してください)
13. 特段の行動はとらなかった

(Q17=1~12)

Q18. あなたが前の質問で回答した状況の時にとった行動の結果から、これらの防災気象情報はどの程度役立ちましたか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

1. 役立った
2. やや役立った
3. あまり役立たなかった
4. 役立たなかった

(Q15=1 or Q16=1)

Q19. あなたは、大雨警報等や危険度分布といった防災気象情報について、どのように思いますか。あなたの考えにもっとも近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

<項目>

- 災害発生の予測精度を上げてほしい
- 明るいうちから早めの対応がとれるよう発表のタイミングを早くしてほしい
- 自分のいる地域での危険な状況（程度）をわかりやすくしてほしい
- どのように行動したらよいか判断できるようにしてほしい

(全員)

Q20. あなたは、今後、大雨警報等や危険度分布といった防災気象情報を参考にして行動したいと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

1. 参考にして行動したいと思う
2. どちらかといえば参考にして行動したいと思う
3. どちらかといえば参考にして行動したいと思わない
4. 参考にして行動したいと思わない

(全員)

■ 気象庁では、大雨警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害が発生するおそれが著しく大きい場合に「大雨特別警報」を発表しています。

Q21. 大雨特別警報という情報があることを知っていましたか

1. 知っていた
2. 知らなかった

(Q21=1)

Q22. ハザードマップで示された浸水想定域や土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、特別警報が発表される前の段階で、安全な場所への避難を終えておく必要があるとされています。このことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

今年から自治体や気象庁等から発表される防災情報を用いて住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されることとなりました。

(全員)

Q23. あなたは、気象庁が危険度分布や大雨警報等を発表した際、それらが5段階の「警戒レベル」のどのレベルにあたるのに対応づけられていることを知っていましたか。(例えば、大雨警報はレベル3相当等)

1. 知っていた
2. 警戒レベルのことは知っていたが、大雨警報等が対応づけられていることは知らなかった
3. 警戒レベルのことも自体を知らなかった

(Q21=1)

Q24. 気象庁の「大雨特別警報」は、5段階の「警戒レベル」(数が大きくなるにつれて警戒度が高くなります。)のどのレベルに対応していると思いますか。

1. 警戒レベル1
2. 警戒レベル2
3. 警戒レベル3
4. 警戒レベル4
5. 警戒レベル5
6. 「大雨特別警報」は警戒レベルの範囲外でレベルには対応していない

(全員)

■緊急地震速報についてお伺いします。

※緊急地震速報には「警報」と「予報」がありますが、ここでは両方合わせて、「緊急地震速報」と呼びます。
 ※緊急地震速報は、テレビやラジオ、携帯電話（緊急速報メール）、スマートフォン、防災行政無線などによって伝えられます。

※緊急地震速報は、地震が発生した直後、地震による強い揺れが伝わる前に発表される予測情報で、地震の揺れが伝わった後に各地の詳細な震度が伝えられる「地震情報」とは異なります。

Q25. あなたは、「緊急地震速報※」を知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

(Q25=1)

Q26. あなたは、日頃から緊急地震速報を見聞きしたときにとるべき行動をあらかじめ決めてありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. とるべき行動をあらかじめ決めている ※1
2. ある程度は意識しているが、具体的な行動は決めていない ※2
3. とるべき行動は何も決めていない

《とるべき行動をあらかじめ決めている ※1 (例)》

- ・机の下などにもぐる
- ・家具や棚（たな）などから離れる
- ・家具や棚（たな）などを押さえる
- ・周りの人に地震が来ることを知らせる
- ・近くの安全な場所に移動する
- ・安全な場所なら揺れに備えて身構える
- ・ドアなどを開けて逃げ道を確保する
- ・外に出る

《ある程度は意識しているが、具体的には決めていない ※2 (例)》

- ・周囲の状況認識をしようと思う
- ・安全な場所を探そうと思う

(Q25=1)

Q27. あなたは、自分のいる地域を対象とした緊急地震速報を見聞きしたことがありますか。

1. 見聞きしたことがある
2. 見聞きしたことがない

(Q27=1)

Q28. あなたは、自分のいる地域を対象とした緊急地震速報をどのような手段で見聞きしましたか。あてはまるものを全て選んでください。

1. テレビ
2. ラジオ
3. 携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール
4. スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ
5. パソコンの緊急地震速報受信ソフト
6. 緊急地震速報の専用受信装置（専用端末、CATVのオプション端末など）
7. 学校や職場、ショッピングセンターや病院等での呼びかけや放送など
8. 市区町村の防災行政無線
9. その他（見聞きした手段を具体的に記入してください）

(Q27=1)

Q29. あなたは、自分のいる地域を対象とした緊急地震速報を見聞きして、どのような行動をとったことがありますか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 揺れに備えて身構えた
2. 周りの人に地震が来ることを知らせた
3. 頭を守る、机の下に身を隠すなどその場で身を守った
4. 子どもや家族など身のまわりの人を守った
5. 棚などの家具が倒れないように押さえた
6. 火を消した
7. ドアなどを開けて逃げ道を確認した
8. 屋内から屋外へ出た
9. テレビやラジオ、携帯電話などで最新、詳細な地震情報を知ろうとした
10. その他（とったことがある行動を具体的に記入してください）
11. 特段の行動はとらなかった（できなかった）

(Q29=1~10)

Q30. あなたが、緊急地震速報を見聞きしてとった行動の結果、緊急地震速報はどの程度役立ったと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

1. 役立った
2. やや役立った
3. あまり役立たなかった
4. 役立たなかった

(Q30=3~4)

Q31. 緊急地震速報を見聞きしてとった行動の結果は、あなたにとって、どのような点で「あまり役立たなかった」または「役立たなかった」と思いましたか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 緊急地震速報を見聞きしたときは、急なことで何をしたらいいか分からなかったから
2. 緊急地震速報を見聞きしたときには、すでに揺れが始まっていたから
3. 強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかった（あるいは、全く揺れなかった）から
4. 自分のいた場所は揺れても安全だったから
5. 自分のいた場所は身を守るのに適切な場所がなかったから
6. その他：

(Q25=1)

Q32. あなたは、緊急地震速報について、何を期待しますか。最も期待すること、2番目に期待すること、3番目に期待することまで選んでください。

4. 最も期待すること
 5. 2番目に期待すること
 6. 3番目に期待すること
- 緊急地震速報の発表から強い揺れが到達するまでの時間（猶予時間）を長くしてほしい
 - 震度（地震の揺れの強さ）の予測精度を上げてほしい・現状より小さい地震の予測も伝えてほしい
 - 外国人や高齢の方、耳や目が不自由な方に伝わりやすくする工夫をしてほしい
 - 地震の揺れが来るまでの短時間で何ができるのかを周知・広報してほしい
 - 緊急地震速報を使って日頃から訓練できる仕組みを作ってほしい
 - より手軽に緊急地震速報が受けられるようにしてほしい※具体的な手段の提案があれば記入してください：
 - その他：
 - 特にない

(全員)

■南海トラフ地震についてお伺いします。

Q33. あなたは、「南海トラフ地震」を知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

(Q33=1)

Q34. 「南海トラフ地震」が発生した時に、お住まいの地域で懸念される被害は何でしょうか。

1. 地震の揺れによる被害
2. 津波による被害
3. 特に懸念される被害はない
4. わからない

(Q33=1)

Q35. あなたは、気象庁が発表する南海トラフ地震に関する情報（「南海トラフ地震臨時情報」）を知っていますか。

1. どのような情報が知っている
2. 聞いたことはあるが、どのような情報かは知らない
3. 知らない

(Q35=1~2)

Q36. 「南海トラフ地震臨時情報」が発表された際に、あなた自身がどのような行動をとるとよいか知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

(全員)

Q37. 気象庁では、大雨や台風などによって重大な災害が発生するおそれが高まっている時に、そのことをお知らせするために緊急記者会見を行います。あなたがお住まいの地方を対象にした緊急記者会見をご覧になったときにどのように感じましたか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください

1. 気象庁がもっている危機感を感じた
2. 気象庁がもっている危機感を感じなかった
3. 自分が住んでいる地方を対象にした緊急記者会見を見たことがない
4. 緊急記者会見自体を知らなかった

(全員)

Q38. 気象庁の取組に対してご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。(自由記載)

以上